

MC-Smart XML 仕様書

Version 1.30

マイナ

商標と著作権に関する注意

MC-Smart ソフトウェアの著作権は株式会社モリサワが所有し、MC-Smart は株式会社モリサワの商標です。「MORISAWA ソフトウェア エンドユーザライセンス契約書」に基づいた使用をお願いします。

記載された社名、各製品名は各社の登録商標または商標です。

変更履歴

バージョン	日付	変更内容
1.1	2014.05	2-2-1 一時的情報 属性名の変更(組版単位) /mc-smartx/temporary/environmentSetting/unit/nCompositon → nComposition
		2-2-4 段落スタイル管理 属性名の変更(段抜き位置補正チェック) /mc-smartx/paragStyleMan/paragStyleDef/psHeadForm/psHeadDannuki/ bAjustPosition → bAdjustPosition
		2-2-4 段落スタイル管理 属性名の変更(見出し後の本文を揃えるチェック) /mc-smartx/paragStyleMan/paragStyleDef/psHeadForm/psHeadDannuki/ bAjustBodyText → bAdjustBodyText
		2-2-4 段落スタイル管理 要素名の変更(字詰め方向こまサイズの設定) /mc-smartx/paragStyleMan/paragStyleDef/psTableForm/psTableCellList/ psTabletCell → psTableCell
		2-3-1 オブジェクト管理 オブジェクト名称についての説明を修正
		2-3-2 図形 属性名の変更(絶対指定/相対指定チェック) /mc-smartx/docPageObjectDef/objectDef/objectAttr/lineAttr/ bAllowWidthHeightSetting → bArrowWidthHeightSetting
1.2	2014.12	2-3-3 画像ボックス 属性の追加(PDF ページ番号) /mc-smartx/docPageObjectDef/objectDef/imageBoxDef/imageInfo/numPdfPage
		2-3-5 線組 属性名の変更(行頭行末位置) /mc-smartx/docPageObjectDef/objectDef/sengumiDef/sengumiBaseAttr/ nAjustPosition → nAdjustPosition
1.3	2015.05	2-3-2 図形 要素の追加(オブジェクトの透明属性) /mc-smartx/docPageObjectDef/objectDef/objectAttr/transparencyAttr/
		2-3-2 図形 要素の追加(オブジェクトのドロップシャドウ属性) /mc-smartx/docPageObjectDef/objectDef/objectAttr/dropShadowAttr/
		2-3-3 画像ボックス 要素の追加(モノクロ画像の背景透過設定) /mc-smartx/docPageObjectDef/objectDef/imageBoxDef/imageTransparency/
		2-3-3 画像ボックス 属性の追加(画像配置の揃え) /mc-smartx/docPageObjectDef/objectDef/imageBoxDef/imageFit/nHorzAlign /mc-smartx/docPageObjectDef/objectDef/imageBoxDef/imageFit/nVertAlign

目次

変更履歴	3
第1章 はじめに	5
1-1 構成の概要	6
1-2 XML スキーマ	7
1-3 用語について	8
1-4 MC-Smart 文書との関係	9
1-5 データの相互関係	10
1-6 XML エクスポート時の属性出力順	11
1-7 値について	12
第2章 XML の要素と属性	13
2-1 XML 宣言	14
2-1-1 mc-smartx	14
2-1-2 MC-SmartXML の概要図	16
2-2 文書情報	17
2-2-1 一時的情報	17
2-2-2 書誌情報	21
2-2-3 ドキュメント情報	22
2-2-4 段落スタイル管理	23
2-2-5 文字スタイル管理	46
2-2-6 マクロスタイル管理	47
2-3 オブジェクト	48
2-3-1 オブジェクト管理	48
2-3-2 図形	52
2-3-4 テキストボックス	57
2-3-3 画像ボックス	61
2-3-5 線組	63
2-3-6 表組	64
2-4 テキスト	72
2-4-1 テキスト管理	72
2-4-2 段落	74
2-4-3 文字スタイル	75
2-4-4 マクロスタイル	76
2-4-5 文字	77
2-4-6 MCL コマンド	79
2-4-7 数式コマンド	101
2-4-8 その他のコマンド	110
2-4-9 MCL コマンド仮終了	112

第1章

はじめに

1 構成の概要

MC-SmartXML は、MC-Smart データ形式とユーザー形式のデータとの相互変換の際に扱いやすい中間のデータとして用意した XML フォーマット形式で、

- 組版済みデータの二次利用 (電子書籍、Web、他メディアなど)
- XML データを利用した自動組版

などの利用のための形式です。

本書では、この MC-SmartXML の XML フォーマット仕様について説明しています。

MC-SmartXML 形式の XML データは、書誌情報、ドキュメント情報やスタイル (段落、文字、マクロ) 情報などの文書情報、オブジェクト (図形、画像/テキストボックス、表、線組) 情報、およびテキスト情報で構成されます。

利用単位系や本文を組版するためのマスターページの書体などの基本体裁情報、セクション情報は「一時的情報」として XML エクスポートデータに含まれます。

カラー/地紋/パターン、線種、組合せ書体、組版モード、詰め文字定義、置換文字定義などの名称で管理する各種設定、脚注設定、印刷設定などは XML データに含まれません。これらの情報を含んでいる MC-Smart 文書をテンプレートとして利用し、使用する画像情報を合わせることで、MC-Smart で表現できるほぼすべてのことが表現できます。

一時的情報

MC-Smart で文書を作成した場合、本文テキストやスタイルでは単位の省略や本文属性の参照などで、環境設定や基本体裁情報を利用します。二次加工用として必要とする場合があるため、これらの情報を XML エクスポートします。

XML インポートでは、これらのデータがあっても無視され、インポートする MC-Smart 文書で定義されている情報を利用します。



補足

- 本書では、XML の基礎技術および
- 利用技術をお持ちの方を対象とし
- て説明しています。
- また、MC-Smart で決定されてい
- るデータ仕様までは、この資料で
- は説明していませんので、
- MC-Smart ユーザーズガイド他
- を参照してください。



注意

インポートする MC-Smart 文書には、左記の説明内容のほかに、セクション、ページ、テキストボックス連結の状態も必要です。エクスポート XML データから書き戻すには、元の MC-Smart 文書もしくは同等の情報を含んだ文書にインポートしてください。

2 XML スキーマ

お客様で作成された MC-SmartXML が正しいかを検証していただけるように、XML スキーマを公開しています。XML スキーマはインストール DVD にも含まれますが、最新版をモリスワホームページで公開しています。

また、MC-Smart のバージョンと XML 仕様、XML スキーマの各バージョンの対応表もモリスワホームページで公開しています。

各バージョンに対応した最新版をご使用ください。

モリスワホームページ内 (<http://www.morisawa.co.jp>) の MC-Smart サポートページを参照してください。

この XML スキーマは、MC-SmartXML の XML 構文規則に適合しているかをチェックしますが、MC-Smart の組版データとして適合しているかのチェックはしません。

正しく組版されるかは、MC-Smart に XML インポート後に再組版を実行して、組版情報を確認してください。

3 用語について

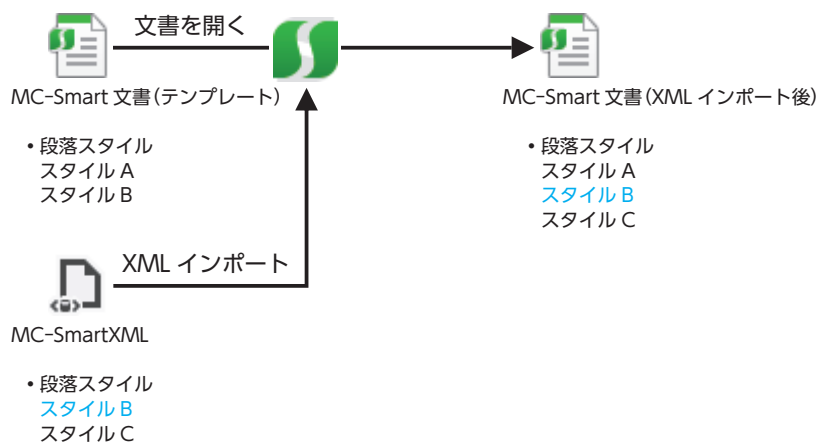
この仕様書では、要素名や属性名に「object」など XML 技術でも使用される用語を使用していますが、MC-Smart の機能を表現している用語です。

説明文中でもこのような用語を使用していますが、特に「XML の」などの前置きが無い限り MC-Smart の機能として表現しています。

4 MC-Smart 文書との関係

下図に示すように、テンプレートとなる MC-Smart 文書を開いて、MC-SmartXML で表現された XML データをインポートします。

- テンプレートでしか定義されていない「スタイル A」は影響を受けません。
- XML データにしかない「スタイル C」は、インポート後の MC-Smart 文書に追加されます。
- テンプレートと、XML データに同一名称で定義された「スタイル B」「**スタイル B**」がある場合、XML データで定義された「**スタイル B**」に上書きされます。



同一名称で複数定義された XML データをインポートした場合は、最初に定義されているものが有効となります。後から定義されたものはエラーとし、その情報がログファイルに出力されます。ログファイルについては、ユーザーズガイド「12-1-6 XML のインポート」を参照してください。

段落スタイルなどのスタイル情報だけでなく、オブジェクトやテキストにおいても同様です。この仕様書で定義する要素を、全て XML データとして用意する必要はなく、MC-Smart 文書の定義を利用するという運用も可能です。

5 データの相互関係

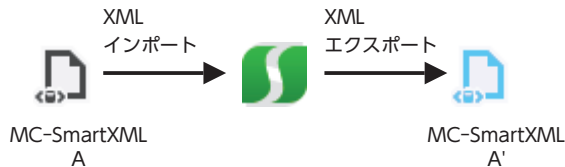
MC-SmartXML 形式の XML データは、基本的には対象の MC-Smart 文書から形式を置き換えたものです。それぞれの要素データの特性は、MC-Smart と同様の動きとなります。

テキストおよびテキストとして表現できる段落スタイルなどのスタイル類は、構造を変えことなく MC-SmartXML 形式の表現に変換したのになっています。各データの意味については、ユーザズガイドを参照してください。

図版やページ情報などの各データは、MC-Smart 上では編集作業に適した構造を取るのに対して、MC-SmartXML 形式では XML の構文上でデータの相互関係を把握しやすいものになっています。データの相互関係についてはこの仕様書で説明しています。

6 XML エクスポート時の属性出力順

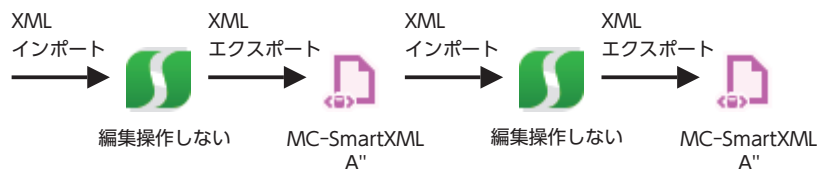
MC-Smart 文書から XML エクスポートした各属性の出力順は、インポートした XML のデータ順になるとは限りません。これは、MC-Smart 文書では各データを MC-Smart 内部形式のデータに変換しているためです。



XML エクスポートした XML データを MC-Smart へインポートし、そのまま XML エクスポートした場合にも、すべてが元の順番と同じとは限りません。上記の MC-Smart 内部形式に変換しているものは同じ順番になりますが、文字属性などの一部の情報で XML インポート時に一旦 XML インポート時の内部形式に変換して検証した後に再テキスト化するために、順番が変わります。



再インポートしたものから、MC-Smart 上での編集操作を行わずにエクスポート/インポートを繰り返した場合には、属性の出力が同じ順番となります。



7 値について

XML 要素の属性で使用する値の種類は次の通りです。

値の種類	内容
int	整数で表します。
decimal	小数値で表します。
string	文字列で表します。
boolean	真偽値(true, false)で表します。
STAR	1/10000 mm の整数値を表します。単位は付加しません。 0.1 mm=1000
ANGLE	角度を 1/10000 度の整数で表します。単位は付加しません。 30 度=300000
STRANGLE	角度を文字列で表し、単位 do を付加します。小数指定もできます。 30 度=30 do
PERCENT	パーセントを 1/10% の 0 以上の整数で表します。単位は付加しません。 100%=1000
STRPER	パーセントを文字列で表し、単位 % を付加します。小数指定もできます。 100%=100%
STRNUM	単位や演算子を含む実数値を文字列で表します。単位は省略できます。 単位には、pt、q(級数)、mm、in(インチ)、%、ji、gyo などを使用します。使用できる単位については、ユーザーズガイド「13-3 MCL コマンド」を参照してください。
EnumValue	定義された文字列で表します。

XML 要素の属性で 사용되는共通の文字定数は次の通りです。

文字定数	内容
body-text	設定項目の「本文属性」(本文エリアのテキストの属性)の値を設定します。「本文属性」については、ユーザーズガイド「10-7-8 段落スタイル設定」を参照してください。



注意

string で指定するカラー名、線種名などの名前の文字列の長さは MC-Smart で編集する場合、40 文字までに制限されます。



ワンポイント

級数 [Q、q] は印刷業界で文字サイズに利用される単位です。
1 Q=1/4 mm で、STAR の 32500 は、13 Q を表します。

第 2 章

XML 要素と属性

1 XML 宣言

XML 宣言では、XML 文書であることを示すため、XML のバージョン、文字コードを指定します。

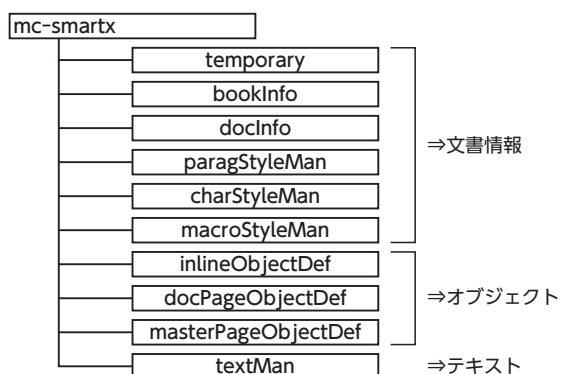
- XML サンプル

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
```

2-1-1 mc-smartx

要素が MC-Smart 文書であることを示します。

以下のように、文書情報、オブジェクト、テキストの3つのブロックで構成されます。



▶ 要素 <mc-smartx>

MC-SmartXML のバージョンを指定します。

- XML サンプル

```
<mc-smartx version="1.3">
</mc-smartx>
```

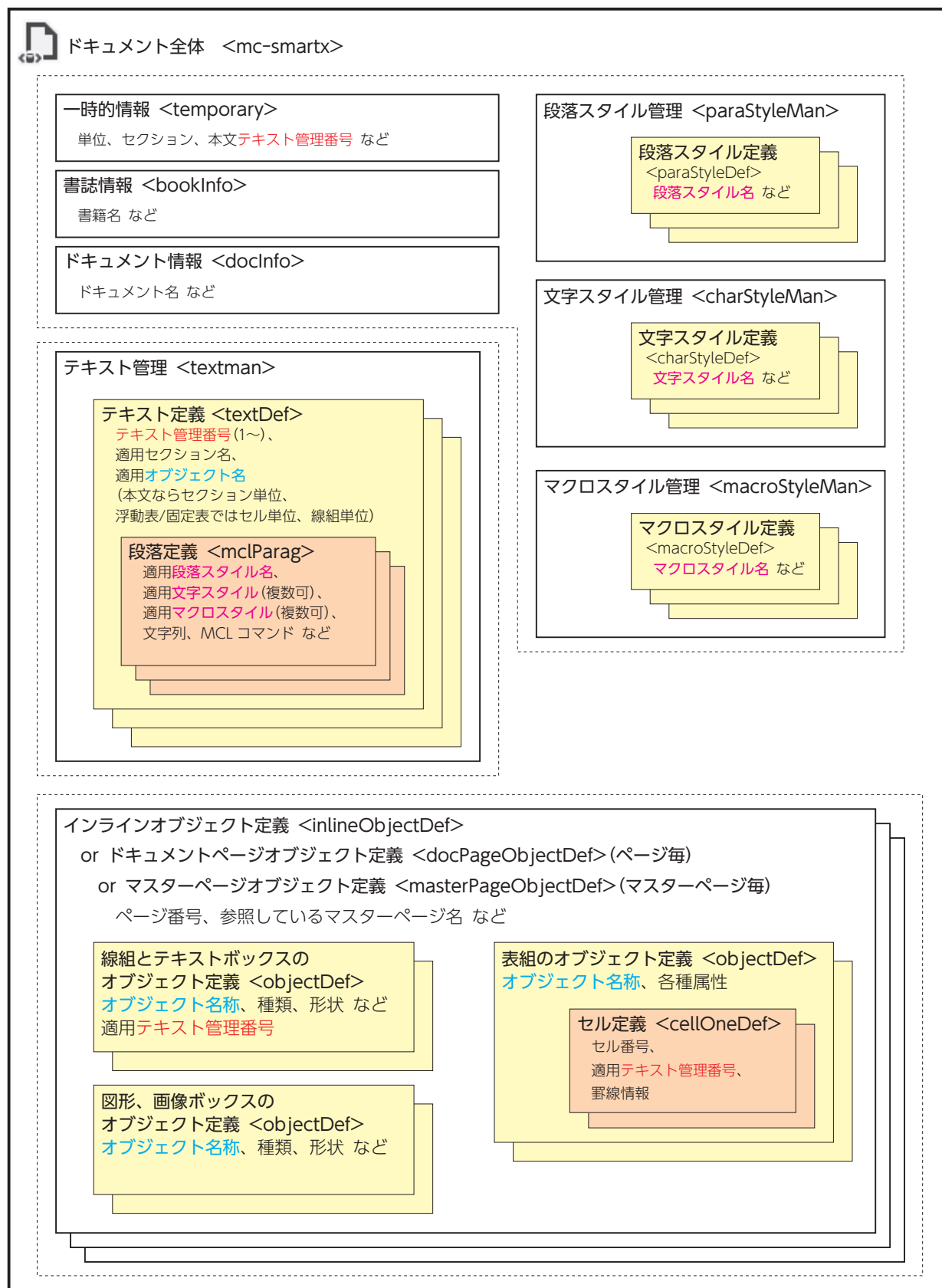
No.	属性名	属性値	省略	説明
1	version	string	不可	MC-SmartXML のバージョン。最新は 1.3 です。

注意 MC-Smart でエクスポート、インポートできる MC-SmartXML は、バージョン毎に異なります。

MC-Smart バージョン	エクスポート	インポート
3.0	MC-SmartXML 1.3	MC-SmartXML 1.0~1.3
2.2	MC-SmartXML 1.2	MC-SmartXML 1.0~1.2
2.1	MC-SmartXML 1.1	MC-SmartXML 1.0~1.1
2.01	MC-SmartXML 1.0	MC-SmartXML 1.0

No.	要素名	値	省略	説明
1	temporary		可	一時的情報
2	bookInfo		不可	文書情報(書誌情報)
3	docInfo		可	文書情報(ドキュメント情報)
4	paragStyleMan		可	段落スタイル管理
5	charStyleMan		可	文字スタイル管理
6	macroStyleMan		可	マクロスタイル管理
7	inlineObjectDef		可	インラインオブジェクト定義
8	docPageObjectDef		可	ドキュメントページオブジェクト定義
9	masterPageObjectDef		可	マスターページオブジェクト定義
10	textMan		可	テキスト管理

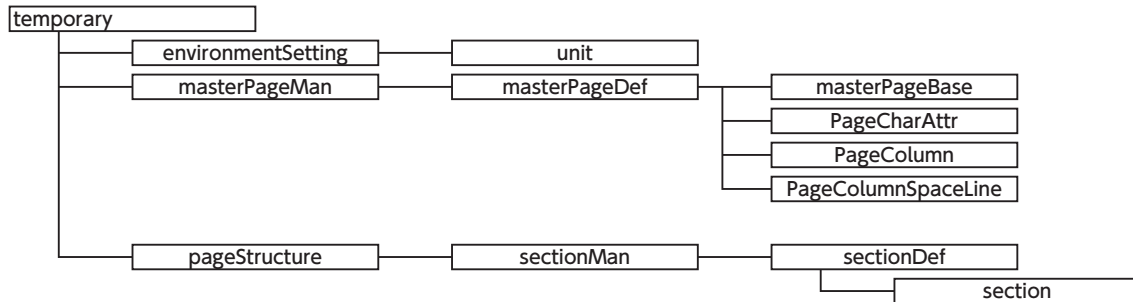
2-1-2 MC-SmartXML の概要図



2 文書情報

2-2-1 一時的情報

一時的情報<temporary>は、単位省略などで参照される環境設定や、基本体裁情報などの二次加工の際に利用するデータのXMLエクスポートでの出力先です。XMLインポートでは無視されるため、作成する必要はありません。



親要素 <temporary> 一時的情報

No.	要素名	値	省略	説明
1	environmentSetting		—	環境設定
2	masterPageMan		—	マスターページ管理
3	pageStructure		—	ページ構成

◆親要素 <environmentSetting> 環境設定

•XML サンプル

```
<environmentSetting>
```

```
  <unit nPositionLength="mm" nCharSize="q" nComposition="q" nLineWidth="mm" nPointType="0"/>
```

```
</environmentSetting>
```

No.	要素名	値	省略	説明
1	unit		—	環境設定の単位 ユーザズガイド「2-2-2 単位と移動量」を参照

◆要素 <unit> 単位

No.	属性名	属性値	省略	説明
1	nPositionLength	EnumValue	—	位置・長さ単位。mm, q, point, inch
2	nCharSize	EnumValue	—	文字サイズ単位。mm, q, point, inch
3	nComposition	EnumValue	—	組版単位。mm, q, point, inch
4	nLineWidth	EnumValue	—	線幅単位。mm, q, point, inch
5	nPointType	EnumValue	—	1 ポイントが JIS 単位か 0=JIS (0.3514 mm), 1=DTP (1/72 インチ)

◆親要素 <masterPageMan> マスターページ管理

• XML サンプル

```

<masterPageMan>
  <masterPageDef>
    <masterPageBase name="A 標準マスター" nSpread="spread" nWritingDirection="horizontal" nHanmen="margin"
      marginTop="150000" marginBottom="150000" marginLeftOrIn="150000" marginRightOrOut="150000"
      nMarginSetVertical="top" nMarginSetHorizontal="left" bMarginCenterVertical="false" bMarginCenterHorizontal="false"/>
    <pageCharAttr fontName="A-OTF リュウミン Pr6 L-KL" charSize="32500" bAbsHeightWidth="false" height="1000"
      width="1000" nCharPitchType="beta" nLineFeedType="line-feed" lineFeed="60000" nameCompMode="標準組版モード"/>
    <pageColumn numColumn="2" spaceColumnGap="50000" width="875000" depth="2670000"/>
    <columnGapLine nameLine="実線" widthLine="1000" nameLineColor="ブラック" shadeLineColor="1000" minLength="0"
      spaceBefore="0" spaceAfter="0" spaceObject="0" spaceHead="0"/>
  </masterPageDef>
</masterPageMan>

```

No.	要素名	値	省略	説明
1	masterPageDef		—	マスターページ定義 ユーザズガイド「2-1-2 新しい文書の作成」を参照

◆親要素 <masterPageDef> マスターページ定義

No.	要素名	値	省略	説明
1	masterPageBase		—	マスターページ基本設定
2	pageCharAttr		—	文字属性
3	pageColumn		—	段組設定
4	columnGapLine		—	段間罫設定。省略時：設定なし

◆要素 <masterPageBase> マスターページ基本設定

No.	属性名	属性値	省略	説明
1	name	string	—	マスターページ名
2	nSpread	EnumValue	—	見開き状態。none(なし), spread(あり)
3	nWritingDirection	EnumValue	—	組方向。horizontal(横組), vertical(縦組)
4	nHanmen	EnumValue	—	版面指定。margin(マージン), char-num(字数と行数), column-size(段サイズ)
5	marginTop	STAR	—	天アキ
6	marginBottom	STAR	—	地アキ
7	marginLeftOrIn	STAR	—	左(内)アキ
8	marginRightOrOut	STAR	—	右(外)アキ
9	nMarginSetVertical	EnumValue	—	天地アキ指定。top(天アキ), bottom(地アキ)
10	nMarginSetHorizontal	EnumValue	—	左右(内外)アキ指定 left(左アキ), in(内アキ), right(右アキ), out(外アキ)
11	bMarginCenterVertical	boolean	—	天地中央チェック nHanmen が「margin」の場合は、無効
12	bMarginCenterHorizontal	boolean	—	左右(内外)中央チェック nHanmen が「margin」の場合は、無効

◆要素 <pageCharAttr> 文字属性

No.	属性名	属性値	省略	説明
1	fontName	string	—	書体名
2	charSize	STAR	—	文字サイズ
3	bAbsHeightWidth	boolean	—	文字幅・文字高チェック。true(文字幅・文字高), false(比率)
4	height	STAR PERCENT	—	文字高サイズ 文字高比率
5	width	STAR PERCENT	—	文字幅サイズ 文字幅比率
6	nCharPitchType	EnumValue	—	字間タイプ。beta(ベタ), jjiokuri(字送り)
7	charPitch	STAR	—	字送り量 nCharPitchType が「jjiokuri」の場合、有効
8	nLineFeedType	EnumValue	—	行間タイプ。line-feed(行送り), line-gap(行間), line-gap-eject(段末追い出し)
9	lineFeed	STAR	—	行間(行送り)量 nLineFeedType が「省略」の場合、無効
10	nameCompMode	string	—	組版モード名

◆要素 <pageColumn> 段組設定

No.	属性名	属性値	省略	説明
1	numColumn	int	—	段数。1以上の整数
2	numCharColumnGap	decimal	—	段間(字数)。0~1000までの小数値 <masterPageBase nHanmen="">が「char-num」の場合のみ、有効
3	spaceColumnGap	STAR	—	段間(長さ) <masterPageBase nHanmen="">が「margin」, 「column-size」の場合のみ、有効
4	numChar	int	—	字数。1以上の整数 <masterPageBase nHanmen="">が「char-num」の場合のみ、有効
5	numLine	int	—	行数。1以上の整数 <masterPageBase nHanmen="">が「char-num」の場合のみ、有効
6	width	STAR	—	段幅
7	depth	STAR	—	段深さ

◆要素 <columnGapLine> 段間罫設定

No.	属性名	属性値	省略	説明
1	nameLine	string	—	線種名
2	widthLine	STAR	—	線幅
3	nameLineColor	string	—	カラー名
4	shadeLineColor	PERCENT	—	カラー濃度
5	minLength	STAR	—	最小長さ
6	spaceBefore	STAR	—	版面前とのアキ量
7	spaceAfter	STAR	—	版面後とのアキ量
8	spaceObject	STAR	—	オブジェクトとのアキ量
9	spaceHead	STAR	—	見出しとのアキ量

◆親要素 <pageStructure> ページ構成

• XML サンプル

```

<pageStructure>
  <sectionMan>
    <sectionDef>
      <section name="S1" numStartPage="1" numEndPage="1" nameMainMasterPage="A 標準マスター" idBodyText="1"/>
    </sectionDef>
    <sectionDef>
      <section name="S2" numStartPage="2" numEndPage="2" nameMainMasterPage="B 新規マスター" idBodyText="2"/>
    </sectionDef>
  </sectionMan>
</pageStructure>

```

No.	要素名	値	省略	説明
1	sectionMan		—	セクション管理

◆親要素 <sectionMan> セクション管理

No.	要素名	値	省略	説明
1	sectionDef		—	セクション定義 ユーザーズガイド「3-6-4 セクション」を参照

◆親要素 <sectionDef> セクション定義

No.	要素名	値	省略	説明
1	section		—	セクション

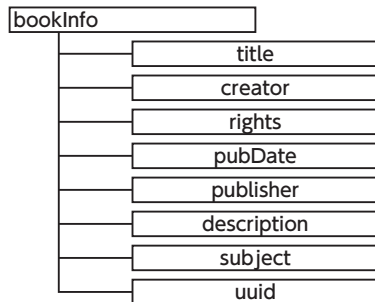
◆要素 <section>

No.	属性名	属性値	省略	説明
1	name	string	—	セクション名
2	numStartPage	int	—	開始ページ番号
3	numEndPage	int	—	終了ページ番号
4	nameMainMasterPage	string	—	本文属性マスター名
5	idBodyText	int	—	適用する本文テキスト管理番号 (textMan で定義された値)

2-2-2 書誌情報

<bookInfo>は、文書情報(書誌情報)を設定します。

ユーザズガイド「12-2-7 EPUB のエクスポート」のファイル情報を参照してください。



▶ 親要素 <bookInfo>

• XML サンプル

```

<bookInfo>
  <title reading="だいめい">題名</title>
  <uuid>ecc90435-0d22-4c7c-8f3f-5883d1e4533a</uuid>
</bookInfo>

```

No.	要素名	値	省略	説明
1	title	string	不可	書籍名
2	creator	string	可	著者名
3	rights	string	可	著作権
4	pubDate	string	可	出版年月日(YYYYMMDD)
5	publisher	string	可	出版社名
6	description	string	可	概要
7	subject	string	可	キーワード
8	uuid	string	可	Universally Unique Identifier 32 桁の英数字

◆ 要素 <title> 書籍名

No.	属性名	属性値	省略	説明
1	reading	string	可	よみがな。現在未使用

◆ 要素 <creator> 著者名

No.	属性名	属性値	省略	説明
1	reading	string	可	よみがな。現在未使用
2	role	string	可	著作の種類。著、訳、監修、編、画 現在未使用

◆ 要素 <publisher> 出版社名

No.	属性名	属性値	省略	説明
1	code	string	可	日本出版取次協会制定の取引コード。4 桁の数字 現在未使用

2-2-3 ドキュメント情報

<docInfo>は、XML エクスポートで出力される文書情報(ドキュメント情報)です。

<docInfo>は、XML インポートでは無視されます。

- XML サンプル

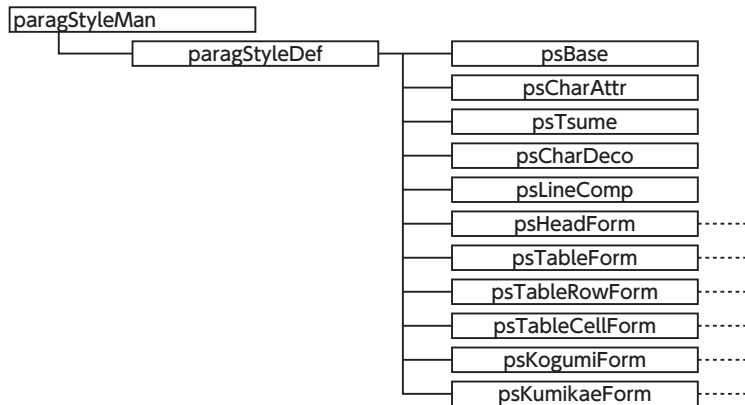
```
<docInfo nameApplication="MORISAWA MC-Smart" version="3.00" nameDocument="C:¥doc¥sample.smd"/>
```

▶ 要素 <docInfo>

No.	属性名	属性値	省略	説明
1	nameApplication	string	－	アプリケーション名
2	version	string	－	アプリケーションバージョン
3	nameDocument	string	－	フルパス/ドキュメント名

2-2-4 段落スタイル管理

<paragStyleMan>は、段落スタイル管理を設定します。



親要素 <paragStyleMan>

• XML サンプル

```

<paragStyleMan>
  <paragStyleDef>
    <psBase name="見出し" nType="head" level="1" nameRefParagStyle="標準" nameNextParagStyle="標準" numRepeat="2"/>
  </paragStyleDef>
  <paragStyleDef>
    <psBase name="本文" nType="normal" nameRefParagStyle="標準" nameNextParagStyle="本文"/>
  </paragStyleDef>
</paragStyleMan>
  
```

No.	要素名	値	省略	説明
1	paragStyleDef		可	段落スタイル定義 ユーザズガイド「10-7 段落スタイルパレット」を参照

◆ 親要素 <paragStyleDef> 段落スタイル定義

No.	要素名	値	省略	説明
1	psBase		不可	段落スタイル
2	psCharAttr		可	文字属性
3	psTsume		可	文字詰め
4	psCharDeco		可	文字修飾
5	psLineComp		可	行設定
6	psHeadForm		可	見出しスタイル設定
7	psTableForm		可	表開始スタイル設定
8	psTableRowForm		—	表行スタイル設定 表行、表ヘッダー行スタイルでは省略不可
9	psTableCellForm		可	こまスタイル設定
10	psKogumiForm		可	小組スタイル設定
11	psKumikaeForm		可	組替えスタイル設定

◆子要素 <paragStyleDef> 段落スタイル定義 段落スタイルの種類(psBase 要素の nType 属性)

No.	段落スタイルの種類	使用できる要素	省略
1	通常 継続	(共通要素群)	—
2	見出し 小見出し 同行見出し 段抜き見出し	(共通要素群) psHeadForm	— 可
3	表開始	(共通要素群) psTableForm	— 可
4	表ヘッダー行 表行	(共通要素群) psTableRowForm	— 不可
5	こま	(共通要素群) psTableCellForm	— 可
6	小組	(共通要素群) psKogumiForm	— 可
7	組替え	(共通要素群) psKumikaeForm	— 可
8	コメント	psBase	不可

◆要素 <psBase> 段落スタイル

No.	属性名	属性値	省略	初期値	説明
1	name	string	不可	—	段落スタイル名
2	nType	EnumValue	不可	—	段落スタイルの種類。 normal(通常), continue(継続), head(見出し), head-sub(小見出し), head-dogyo(同行見出し), head-dannuki(段抜き見出し), kogumi(小組), table(表開始), table-row-h(表ヘッダー行), table-row(表行), table-cell(こま), kumikae(組替え), comment(コメント)
3	level	int	可	0	段落レベル。0(設定なし)～9の整数
4	nameRefParagStyle	string	不可	—	参照段落スタイル名
5	nameNextParagStyle	string	不可	—	次のスタイル名
6	numRepeat	int	可	1	繰り返し数。1～100の整数

◆要素 <psCharAttr> 文字属性

属性省略時は省略状態で XML インポートされ、組版時に参照段落の値を参照するなどの処理が実行されます。

• XML サンプル

```
<paragStyleDef>
  <psBase name="本文" nType="normal" nameRefParagStyle="標準" nameNextParagStyle="本文"/>
  <psCharAttr fontName="body-text" charSize="10Q" bAbsHeightWidth="false" height="100%" width="100%"
    nCharPitchType="beta" emPitch="0" nBaseLine="center" nameColor="ブラック" shadeColor="100%" angleSlant="0do"
    angleRotate="0do"/>
</paragStyleDef>
```

No.	属性名	属性値	省略	説明
1	fontName	string	可	書体名。または、body-text (本文属性)
2	charSize	STRNUM	可	基本文字サイズ。または、body-text (本文属性)。 文字幅・文字高チェックが「true」の場合は、指定不可
3	bAbsHeightWidth	boolean		文字幅・文字高チェック。true (文字幅・文字高), false (比率)
4	height	STRNUM STRPER		文字高サイズ。または、body-text (本文属性) 文字高比率
5	width	STRNUM STRPER		文字幅サイズ。または、body-text (本文属性) 文字幅比率
6	nCharPitchType	EnumValue		字間タイプ。beta (ベタ), jiokuri (字送り)
7	charPitch	STRNUM		字送り量。または、body-text (本文属性) 字間タイプが「beta」の場合は、無効
8	emPitch	int		字間 (EM 比) 量。-500~500 までの整数
9	nBaseLine	EnumValue	可	基準点 top (上), center (中), baseline (ベースライン), bottom (下)
10	nameColor	string	可	カラー名。または、body-text (本文属性)
11	shadeColor	STRPER		カラー濃度
12	angleSlant	STRANGLE	可	斜体角度
13	angleRotate	STRANGLE	可	回転角度

補足 No.2~8 のグループで省略可

No.10~11 のグループで省略可

◆要素 <psTsume> 文字詰め

要素省略時は、参照段落の値を参照します。

• XML サンプル

```
<paragStyleDef>
  <psBase name="本文" nType="normal" nameRefParagStyle="標準" nameNextParagStyle="本文"/>
  <psTsume bTsumeOtf="true" bTsumeFace="true" tsume="10%" bFullWidthKana="true" bFullWidthAlphanum="true"
    nFullWidthPunc="hwid" nameTsumeMoji="新規セット"/>
</paragStyleDef>
```

No.	属性名	属性値	省略	説明
1	bTsumeOtf	boolean	不可	OpenType の情報で詰めをするチェック
2	bTsumeFace	boolean	可	字面詰めをするチェック
3	tsume	STRPER		字面詰め量。字面詰めをするが「false」の場合、無効
4	bFullWidthKana	boolean		全角かな詰めチェック
5	bFullWidthAlphanum	boolean		全角英数字詰めチェック
6	nFullWidthPunc	EnumValue		全角約物処理。none(なし), hwid(2分), hqwid(2分4分), wid(プロポーショナル)
7	nameTsumeMoji	string		字詰め設定名

補足 No.2～7 のグループで省略可

◆要素 <psCharDeco> 文字修飾

要素省略時は、参照段落の値を参照します。

• XML サンプル

```
<paragStyleDef>
  <psBase name="本文" nType="normal" nameRefParagStyle="標準" nameNextParagStyle="本文"/>
  <psCharDeco bOutline="true" nameColorOutline="ブラック" shadeColorOutline="100%" widthOutline="0Q"
    nShadowType="shadow" nameColorShadow="ブラック" shadeColorShadow="100%" lengthShadow="0Q"
    angleShadow="0do"/>
</paragStyleDef>
```

No.	属性名	属性値	省略	説明
1	bOutline	boolean	不可	袋文字チェック
2	nameColorOutline	string	可	袋文字のカラー名 bOutline が「false」の場合、無効
3	shadeColorOutline	STRPER		袋文字のカラー濃度 bOutline が「false」の場合、無効
4	widthOutline	STRNUM		袋文字の幅 bOutline が「false」の場合、無効
5	nShadowType	EnumValue	不可	影の種類。none(なし), shadow(影), solid(立体)
6	nameColorShadow	string	可	影のカラー名 nShadowType が「none」の場合、無効
7	shadeColorShadow	STRPER		影のカラー濃度 nShadowType が「none」の場合、無効
8	lengthShadow	STRNUM		影の距離 nShadowType が「none」の場合、無効
9	angleShadow	STRANGLE		影の角度 nShadowType が「none」の場合、無効

補足 No.2～4 のグループで省略可

No.6～9 のグループで省略可

◆要素 <psLineComp> 行設定

属性省略時は省略状態で XML インポートされ、組版時に参照段落の値を参照するなどの処理が実行されます。

• XML サンプル

```
<paragStyleDef>
```

```
  <psBase name="本文" nType="normal" nameRefParagStyle="標準" nameNextParagStyle="本文"/>
```

```
  <psLineComp indentLineStart="0Q" indentLineEnd="0Q" indentTopLine="0Q" indentMondo="0Q" indentPosLineStart="0"
    indentPosLineEnd="0" nJustification="head" nameCompMode="body-text" nLineFeedType="line-feed"
```

```
    lineFeed="body-text" bAdjustPosition="false" spaceRomanMax="778" spaceRomanStd="333" spaceRomanMin="222"/>
```

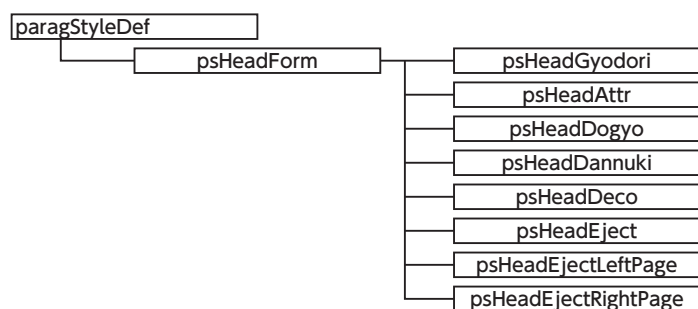
```
</paragStyleDef>
```

No.	属性名	属性値	省略	説明
1	indentLineStart	STRNUM	可	左／上インデント
2	indentLineEnd	STRNUM	可	右／下インデント
3	indentTopLine	STRNUM	可	先頭行インデント
4	indentMondo	STRNUM	可	問答インデント
5	indentPosLineStart	int	可	位置指定字下げ。0～10 の整数
6	indentPosLineEnd	int	可	位置指定字上げ。0～10 の整数
7	nJustification	EnumValue	可	文字の揃え head (最終行行頭揃え), center (最終行中央揃え), end (最終行行末揃え), justify (最終行均等揃え)
8	nameCompMode	string	可	組版モード名。または、body-text (本文属性)
9	nLineFeedType	EnumValue	可	行間タイプ。line-feed (行送り), line-gap (行間), line-gap-eject (段末追い出し)
10	lineFeed	STRNUM		行間 (行送り) 量。または、body-text (本文属性)
11	bAdjustPosition	boolean	可	行方向の位置補正
12	spaceRomanMax	int	可	最大欧文スペース量。1～1000 の整数
13	spaceRomanStd	int		標準欧文スペース量。1～1000 の整数
14	spaceRomanMin	int		最小欧文スペース量。1～1000 の整数

補足 No.9～10 のグループで省略可

No.12～14 のグループで省略可

◆親要素 <psHeadForm> 見出しスタイル設定



No.	要素名	値	省略	説明
1	psHeadGyodori		可	行取り
2	psHeadAttr		可	見出し体裁属性
3	psHeadDogyo		可	同行見出し体裁
4	psHeadDannuki		可	段抜き見出し体裁
5	psHeadDeco		可	見出し飾り
6	psHeadEject		可	追い出し 左右同じ No.6～8 が設定されている場合、No.6 が有効
7	psHeadEjectLeftPage		可	追い出し 左ページ
8	psHeadEjectRightPage		可	追い出し 右ページ

補足 追い出し定義は、「No.6」、「No.7 と 8」 のどちらかを定義する。

◆要素 <psHeadGyodori> 行取り

要素省略時は、参照段落の値を参照します。

• XML サンプル

```

<paragStyleDef>
  <psBase name="見出し" nType="head" nameRefParagStyle="標準" nameNextParagStyle="標準"/>
  <psHeadForm>
    <psHeadGyodori nGyodori="line" numLine="1" bVariable="true" spaceBefore="0Q" spaceAfter="0Q"/>
    <psHeadAttr nVertJustification="0Q" nHeaderNo="0" bTextWrap="false" bLockSplit="false"/>
  </psHeadForm>
</paragStyleDef>

```

No.	属性名	属性値	省略	説明
1	nGyodori	EnumValue	不可	行数・深さ指定。depth(深さ), line(行数)
2	numLine	int	—	行数。0以上の整数 nGyodori が「depth」の場合は、無効
3	depth	STRNUM		深さ nGyodori が「line」の場合は、無効
4	bVariable	boolean	可	行方向浮動チェック
5	spaceBefore	STRNUM		前アキ量 行方向浮動が「false」の場合は、無効
6	spaceAfter	STRNUM		後アキ量 行方向浮動が「false」の場合は、無効

補足 No.2～3のいずれか1つは必須

No.4～6のグループで省略可

No.4～6は、<psBase nType="">が「head(見出し)」, 「head-dannuki(段抜き見出し)」の場合、有効

◆要素 <psHeadAttr> 見出し体裁属性

属性省略時は省略状態で XML インポートされ、組版時に参照段落の値を参照するなどの処理が実行されます。

No.	属性名	属性値	省略	説明
1	nVertJustification	STRNUM EnumValue	可	行方向の配置 数値(指定値), または、center-line1(中心), head(頭揃え), center(中央揃え), end(末揃え), justify(均等揃え)
2	nHeaderNo	int	可	柱番号。0～20の整数(0は柱番号なし)
3	bTextWrap	boolean	可	見出しの回り込み
4	bLockSplit	boolean	可	見出し分割禁止 <psBase nType="">が「head」, 「head-dannuki」の場合、有効

◆要素 <psHeadDogyo> 同行見出し体裁

この要素は、同行見出しスタイルのみ有効です。要素省略時は、参照段落の値を参照します。

•XML サンプル

```

<paragStyleDef>
  <psBase name="同行見出し" nType="head-dogyo" nameRefParagStyle="標準" nameNextParagStyle="標準"/>
  <psHeadForm>
    <psHeadDogyo nLineLength="backspace" spaceAfter="0Q" bVariable="true"/>
  </psHeadForm>
</paragStyleDef>

```

No.	属性名	属性値	省略	説明
1	nLineLength	EnumValue	不可	行長。jidori(字取り), backspace(後アキ)
2	numCharLineLength	int	—	行長字取り数。1～100の整数 nLineLengthが「backspace」の場合は、無効
3	spaceAfter	STRNUM		後アキ量 nLineLengthが「jidori」の場合は、無効
4	bVariable	boolean	可	見出し文字列幅を行長にするチェック

補足 No.2～3のいずれか1つは必須

◆要素 <psHeadDannuki> 段抜き見出し体裁

この要素は、段抜き見出しスタイルのみ有効です。属性省略時は省略状態で XML インポートされ、組版時に参照段落の値を参照するなどの処理が実行されます。

• XML サンプル

```
<paragStyleDef>
  <psBase name="段抜き見出し" nType="head-dannuki" nameRefParagStyle="標準" nameNextParagStyle="標準"/>
  <psHeadForm>
    <psHeadDannuki numStartColumn="0" numColumn="2" bTurnText="false" bAdjustPosition="false"
      bAdjustBodyText="false"/>
  </psHeadForm>
</paragStyleDef>
```

No.	属性名	属性値	省略	説明
1	numStartColumn	int	可	段抜き開始段。0～50 の整数
2	bAllSpan	boolean	—	全段抜き指定。true (全段抜き), false (段数指定)
3	numColumn	int		段抜き指定段数。2～50 の整数 bAllSpan が「true」の場合は、無効 bAllSpan が「false」の場合は、省略不可
4	bTurnText	boolean	可	段抜き折り返しチェック
5	bAdjustPosition	boolean		段抜き位置補正チェック
6	bAdjustBodyText	boolean		見出し後の本文を揃えるチェック
7	spaceAfter	STRNUM	—	段抜き見出し後のアキ量 bAdjustBodyText が「true」の場合は、省略不可

補足 No.2～3 のいずれか 1 つは必須
No.4～6 のグループで省略可

◆要素 <psHeadDeco> 見出し飾り

要素省略時は、参照段落の値を参照します。

• XML サンプル

```
<paragStyleDef>
  <psBase name="見出し" nType="head" nameRefParagStyle="標準" nameNextParagStyle="標準"/>
  <psHeadForm>
    <psHeadDeco nType="none" nPosCharDir="head" posCharDir="0Q" nPosLineDir="head" posLineDir="0Q"
      bFitHead="false" bFitDepth="false" length="0Q" depth="0Q" nameLine="実線" widthLine="0.1mm"
      nameLineColor="ブラック" shadeLineColor="100%" nPaintType="color" namePaintColor="なし" shadePaintColor="100%"/>
  </psHeadForm>
</paragStyleDef>
```

No.	属性名	属性値	省略	説明
1	nType	EnumValue	不可	種類。none(なし), line(直線), rect(長方形), round(角丸長方形), ellips(楕円)
2	nPosCharDir	EnumValue	不可	字詰め方向位置 head(頭揃え), center(中央揃え), end(末揃え)
3	posCharDir	STRNUM	不可	字詰め方向調整値
4	nPosLineDir	EnumValue	不可	行方向位置 head(頭揃え), center(中央揃え), end(末揃え)
5	posLineDir	STRNUM	不可	行方向調整値
6	bFitHead	boolean	不可	サイズを見出しに合わせるチェック
7	bFitDepth	boolean	不可	深さを見出しに合わせるチェック bFitHead が「true」の場合は、無効
8	length	STRNUM	不可	長さ bFitHead が「true」の場合は、無効
9	depth	STRNUM	不可	深さ
10	nRoundType	EnumValue	-	角の種類。none(なし), normal(丸(外側)), reverse(丸(内側)), slant(斜め), square(角) nType が「round」の場合、No.10~12 は省略不可
11	bSameTopLeftRadius	boolean		左上と同じ半径(左上チェック)
12	rTopLeftCorner	STRNUM		左上の角丸半径
13	rTopRightCorner	STRNUM	-	右上の角丸半径
14	rBottomRightCorner	STRNUM		右下の角丸半径
15	rBottomLeftCorner	STRNUM		左下の角丸半径
16	nameLine	string	不可	線種名
17	widthLine	STRNUM	不可	線幅
18	nameLineColor	string	不可	カラー名
19	shadeLineColor	STRPER	不可	カラー濃度
20	nPaintType	EnumValue	不可	塗り、パターン種別。color(カラー), pattern(パターン)
21	namePaintColor	string	不可	塗リカラー(パターン)名
22	shadePaintColor	STRPER	不可	塗リカラー(パターン)濃度

補足 No. 10~12 のグループで省略可

No. 13~15 のグループで省略可

No. 10~12 のグループが省略時は、No. 13~15 も省略

- ◆要素 <psHeadEject> 追い出し 左右同じ
- ◆要素 <psHeadEjectLeftPage> 追い出し 左ページ
- ◆要素 <psHeadEjectRightPage> 追い出し 右ページ

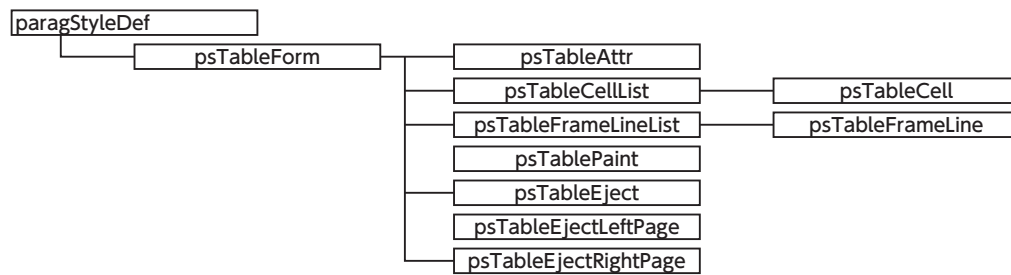
要素省略時は、参照段落の値を参照します。

• XML サンプル

```
<paragStyleDef>
  <psBase name="見出し" nType="head" nameRefParagStyle="標準" nameNextParagStyle="標準"/>
  <psHeadForm>
    <psHeadEject nType="10Q" bVisibleHeader="true" bVisibleNombre="true" posStart="0Q"/>
  </psHeadForm>
</paragStyleDef>
```

No.	属性名	属性値	省略	説明
1	nType	STRNUM EnumValue	不可	種類 単位付き数値(残り深さ)、または none(なし), new-column(改段), new-page(改頁), new-recto(改丁), new-spread(見開き起こし)
2	bVisibleHeader	boolean	不可	柱を表示チェック
3	bVisibleNombre	boolean	不可	ノンブルを表示チェック
4	posStart	STRNUM	不可	追い出し後の位置

◆親要素 <psTableForm> 表開始スタイル設定



• XML サンプル

```

<paragStyleDef>
  <psBase name="表開始" nType="table" nameRefParagStyle="標準" nameNextParagStyle="標準"/>
  <psTableForm>
    <psTableAttr posStartChar="0Q" posStartLine="0Q" posNextBodyText="0Q" bAdjustLastLine="true" adjustLastLine="0Q"
      bHyoHeader="true"/>
    <psTableCellList count="2">
      <psTableCell size="50pt"/>
      <psTableCell size="50pt"/>
    </psTableCellList>
    <psTablePaint nPaintType="color" namePaintColor="なし" shadePaintColor="100%"/>
  </psTableForm>
</paragStyleDef>

```

No.	要素名	値	省略	説明
1	psTableAttr		可	表開始基本属性
2	psTableCellList		可	字詰方向こまサイズリスト
3	psTableFrameLineList		可	外枠罫線設定リスト
4	psTablePaint		可	表塗り設定
5	psTableEject		可	追い出し 左右同じ No.5～7 が設定されている場合、No.5 が有効
6	psTableEjectLeftPage		可	追い出し 左ページ
7	psTableEjectRightPage		可	追い出し 右ページ

補足 追い出し定義指定時は、「No.5」、「No.6 と 7」のどちらかを定義する。

「psTableAttr」の No.4～6 と「psTableCellList」「psTableFrameLineList」「psTablePaint」のグループで省略可

◆要素 <psTableAttr> 表開始基本属性

属性省略時は省略状態で XML インポートされ、組版時に参照段落の値を参照するなどの処理が実行されます。

No.	属性名	属性値	省略	説明
1	posStartChar	STRNUM	可	字詰方向の開始位置
2	posStartLine	STRNUM		行方向の開始位置
3	posNextBodyText	STRNUM		表組後の本文位置
4	bAdjustLastLine	boolean	可	最終表行は調整しないチェック
5	adjustLastLine	STRNUM		段末からの長さ。0 は設定なし
6	bHyoHeader	boolean	可	表ヘッダーチェック

補足 No.1～3 のグループで省略可

No.4～5 のグループで省略可

No.4～6 と「psTableCellList」「psTableFrameLineList」「psTablePaint」のグループで省略可

◆親要素 <psTableCellList> 字詰め方向こまサイズリスト

属性省略時は省略状態で XML インポートされ、組版時に参照段落の値を参照するなどの処理が実行されます。

No.	属性名	属性値	省略	説明
1	count	int	不可	字詰め方向のこま数。1 以上の整数

No.	要素名	値	省略	説明
1	psTableCell		不可	字詰め方向こまサイズの設定。count の数分、定義する

補足 「psTableAttr」の No.4~6 と「psTableCellList」「psTableFrameLineList」「psTablePaint」のグループで省略可

◆要素 <psTableCell> 字詰め方向こまサイズの設定

属性省略時は、参照段落の値を参照します。

No.	属性名	属性値	省略	説明
1	size	STRNUM	不可	字詰め方向こまサイズ

補足 「psTableAttr」の No.4~6 と「psTableCellList」「psTableFrameLineList」「psTablePaint」のグループで省略可

◆親要素 <psTableFrameLineList> 外枠罫線設定リスト

属性省略時は省略状態で XML インポートされ、組版時に参照段落の値を参照するなどの処理が実行されます。

• XML サンプル

```
<psTableFrameLineList count="2">
  <psTableFrameLine nType="top" nameLine="実線" widthLine="0.1mm" nameLineColor="ブラック" shadeLineColor="100%"/>
  <psTableFrameLine nType="bottom" nameLine="実線" widthLine="0.1mm" nameLineColor="ブラック"
    shadeLineColor="100%"/>
</psTableFrameLineList>
```

No.	属性名	属性値	省略	説明
1	count	int	可	外枠情報数。0~4 の整数

No.	要素名	値	省略	説明
1	psTableFrameLine		可	外枠罫線の設定。count の数分、定義する

補足 「psTableAttr」の No.4~6 と「psTableCellList」「psTableFrameLineList」「psTablePaint」のグループで省略可

◆要素 <psTableFrameLine> 外枠罫線の設定

<psTableFrameLine>要素は複数個定義可能ですが、nType の値が同じ要素を複数定義することはできません。
また、nType が「box」の要素を定義する場合、<psTableFrameLine>要素は1つだけしか定義できません。

No.	属性名	属性値	省略	説明
1	nType	EnumValue	不可	種類。top(上線), bottom(下線), left(左線), right(右線), box(長方形)
2	nameLine	string	不可	線種名
3	widthLine	STRNUM	不可	線幅
4	nameLineColor	string	不可	カラー名
5	shadeLineColor	STRPER	不可	濃度
6	nRoundType	EnumValue	-	角の種類。none(なし), normal(丸(外側)), reverse(丸(内側)), slant(斜め), square(角) nType が「box」の場合は、省略不可
7	bSameTopLeftRadius	boolean		左上と同じ半径(左上チェック)
8	rTopLeftCorner	STRNUM		左上の角丸半径
9	rTopRightCorner	STRNUM		右上の角丸半径
10	rBottomRightCorner	STRNUM		右下の角丸半径
11	rBottomLeftCorner	STRNUM		左下の角丸半径

補足 No.6~11 のグループで省略可

「psTableAttr」のNo.4~6と「psTableCellList」「psTableFrameLineList」「psTablePaint」のグループで省略可

◆要素 <psTablePaint> 表塗り設定

No.	属性名	属性値	省略	説明
1	nPaintType	EnumValue	不可	塗り、パターン種別。color(カラー), pattern(パターン)
2	namePaintColor	string	不可	塗りカラー(パターン)名
3	shadePaintColor	STRPER	不可	塗りカラー(パターン)濃度

◆要素 <psTableEject> 追い出し 左右同じ

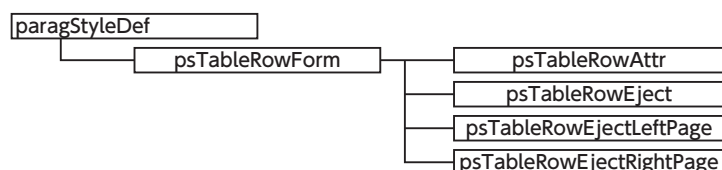
◆要素 <psTableEjectLeftPage> 追い出し 左ページ

◆要素 <psTableEjectRightPage> 追い出し 右ページ

要素省略時は、参照段落の値を参照します。

No.	属性名	属性値	省略	説明
1	nType	STRNUM EnumValue	不可	追い出しの種類 単位付き数値(指定深さ)、または none(なし), new-column(改段), new-page(改ページ), new-recto(改丁), new-spread(見開き起こし)
2	bWrap	boolean	不可	段頭で回り込みするチェック
3	posStart	STRNUM	不可	行方向位置

◆親要素 <psTableRowForm> 表行スタイル設定



• XML サンプル

```

<parastyleDef>
  <psBase name="表行" nType="table-row" nameRefParagStyle="標準" nameNextParagStyle="標準"/>
  <psTableRowForm bHeader="false">
    <psTableRowAttr heightRow="1gyo" nameLine="実線" widthLine="0.1mm" nameLineColor="なし" shadeLineColor="100%"
      nPaintType="color" namePaintColor="なし" shadePaintColor="100%" />
    <psTableRowEject bMidSplit="false" depthSplit="0Q" hangingSplit="0Q" posStart="0Q" bWrap="false"
      bGenerateHeader="false" />
  </psTableRowForm>
</parastyleDef>

```

No.	属性名	属性値	省略	説明
1	bHeader	boolean	不可	表ヘッダー行 スタイル true (表ヘッダー行), false (表行)

No.	要素名	値	省略	説明
1	psTableRowAttr		可	表行基本属性
2	psTableRowEject		可	追い出し 左右同じ No.2～4 が設定されている場合、No.2 が有効
3	psTableRowEjectLeftPage		可	追い出し 左ページ
4	psTableRowEjectRightPage		可	追い出し 右ページ

補足 追い出し定義は、「No.2」、「No.3 と 4」 のどちらかを定義する。

◆要素 <psTableRowAttr> 表行基本属性

属性省略時は省略状態で XML インポートされ、組版時に参照段落の値を参照するなどの処理が実行されます。

No.	属性名	属性値	省略	説明
1	heightRow	STRNUM	可	行方向サイズ
2	nameLine	string	可	線種名
3	widthLine	STRNUM		線幅
4	nameLineColor	string		罫線カラー名
5	shadeLineColor	STRPER		罫線カラー濃度
6	nPaintType	EnumValue		塗り、パターン種別。color (カラー), pattern (パターン)
7	namePaintColor	string		塗りカラー (パターン) 名
8	shadePaintColor	STRPER		塗りカラー (パターン) 濃度

補足 No.2～8 のグループで省略可

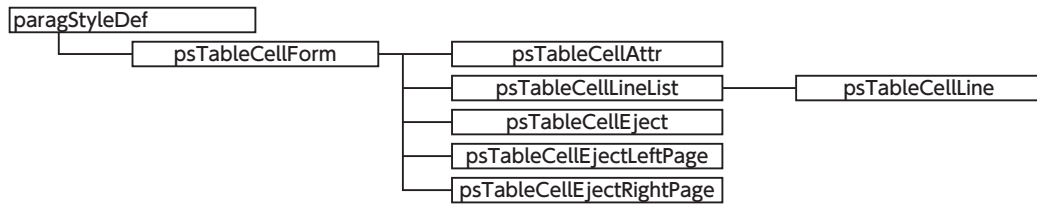
- ◆要素 <psTableRowEject> 追い出し 左右同じ
- ◆要素 <psTableRowEjectLeftPage> 追い出し 左ページ
- ◆要素 <psTableRowEjectRightPage> 追い出し 右ページ

要素省略時は、参照段落の値を参照します。

No.	属性名	属性値	省略	説明
1	bMidSplit	boolean	不可	途中分割チェック。depthSplit、hangingSplit が省略、または値なしの場合は、無効
2	depthSplit	STRNUM	可	段深さ。No.2～3 をグループで省略すると、分割の設定なし
3	hangingSplit	STRNUM		ぶら下げ
4	posStart	STRNUM	不可	行方向位置
5	bWrap	boolean	不可	段頭で回り込みするチェック
6	bGenerateHeader	boolean	－	表ヘッダー自動発生チェック。 <psTableRowForm bHeader="">が「false (表行)」の場合、省略不可
7	nameStartLine	string	可	開始罫線種名 No.7～10 をグループで省略すると、開始罫の設定なし
8	widthStartLine	STRNUM		開始罫線幅
9	nameStartLineColor	string		開始罫カラー名
10	shadeStartLineColor	STRPER		開始罫濃度
11	nameEndLine	string	可	終了罫線種名 No.11～14 をグループで省略すると、終了罫の設定なし
12	widthEndLine	STRNUM		終了罫線幅
13	nameEndLineColor	string		終了罫カラー名
14	shadeEndLineColor	STRPER		終了罫濃度

- 補足** No.2～3 のグループで省略可
 No.7～10 のグループで省略可
 No.11～14 のグループで省略可

◆親要素 <psTableCellForm> こまスタイル設定



No.	要素名	値	省略	説明
1	psTableCellAttr		可	こま基本属性
2	psTableCellLineList		可	こま罫線リスト
3	psTableCellEject		可	こま追い出し 左右同じ No.3～5 が設定されている場合、No.3 が有効
4	psTableCellEjectLeftPage		可	こま追い出し 左ページ
5	psTableCellEjectRightPage		可	こま追い出し 右ページ

補足 追い出し定義は、「No.3」、「No.4 と 5」のどちらかを定義する。

◆要素 <psTableCellAttr> こま基本属性

属性省略時は省略状態で XML インポートされ、組版時に参照段落の値を参照するなどの処理が実行されます。

No.	属性名	属性値	省略	説明
1	nWritingDirection	EnumValue	可	組方向。horizontal (横組), vertical (縦組)
2	spaceBefore	STRNUM	可	行方向の前アキ
3	spaceAfter	STRNUM		行方向の後アキ
4	nVertJustification	EnumValue	可	行方向の配置。head (頭揃え), center (中央揃え), end (末揃え), justify (均等揃え)
5	bAutoSize	boolean	可	浮動サイズチェック
6	bAutoAdvance	boolean	可	自動アドバンスチェック
7	numJoinCol	int	可	こま合成字詰方向。1～100 までの整数
8	numJoinRow	int		こま合成行方向。1～100 までの整数
9	bAutoAdjust	boolean	可	自動変形チェック
10	rateStepAutoScaleText	int		変形率単位。1～20 の整数
11	rateMaxAutoScaleText	int		最大変形率。1～90 の整数
12	bTurnAutoScaleText	boolean		折り返しチェック
13	nameLine	string	可	こま間罫線種名
14	widthLine	STRNUM		こま間罫線幅
15	nameLineColor	string		こま間罫カラー名
16	shadeLineColor	STRNUM		こま間罫カラー濃度
17	nPaintType	EnumValue		塗り、パターン種別。color (カラー), pattern (パターン)
18	namePaintColor	string		塗りカラー (パターン) 名
19	shadePaintColor	STRPER		塗りカラー (パターン) 濃度

補足 No.2～3 のグループで省略可
 No.7～8 のグループで省略可
 No.9～12 のグループで省略可
 No.13～19 のグループで省略可

◆親要素 <psTableCellLineList> こま罫線リスト

psTableCellLineList 配下の属性・要素すべてをグループとして省略可。省略時は、参照段落の値を参照します。

•XML サンプル

```
<psTableCellForm>
  <psTableCellLineList count="2">
    <psTableCellLine nType="line-gap" nameLine="実線" widthLine="0.1mm" nameLineColor="なし" shadeLineColor="100%"/>
    <psTableCellLine nType="rev-slant" nameLine="実線" widthLine="0.1mm" nameLineColor="なし" shadeLineColor="100%"
      numCol="1" numRows="1"/>
  </psTableCellLineList>
  <psTableCellEject posAfter="0Q"/>
</psTableCellForm>
```

No.	属性名	属性値	省略	説明
1	count	int	不可	こま罫線数。0～4 の整数

No.	要素名	値	省略	説明
1	psTableCellLine		—	こま罫線。count の数分、定義する

◆要素 <psTableCellLine> こま罫線

psTableCellLine 要素は複数個定義可能ですが、nType の値が同じ要素を複数定義することはできません。

No.	属性名	属性値	省略	説明
1	nType	EnumValue	不可	種類。line-gap (行間罫), slant (斜線), rev-slant (逆斜線), box (罫罫)
2	nameLine	string	不可	線種名
3	widthLine	STRNUM	不可	線幅
4	nameLineColor	string	不可	カラー名
5	shadeLineColor	STRPER	不可	カラー濃度
6	numCol	int	—	こま罫罫字詰め方向サイズ nType が「line-gap」以外の場合は、省略不可 nType が「slant」, 「rev-slant」には、同じ値を設定する。異なる場合は、先優先
7	numRow	int		こま罫罫行方向サイズ nType が「line-gap」以外の場合は、省略不可 nType が「slant」, 「rev-slant」には、同じ値を設定する。異なる場合は、先優先
8	nRoundType	EnumValue	—	角の種類。none (なし), normal (丸 (外側)), reverse (丸 (内側)), slant (斜め), square (角) nType が「box」の場合は、省略不可
9	bSameTopLeftRadius	boolean		左上と同じ半径 (左上チェック)
10	rTopLeftCorner	STRNUM		左上の角丸半径
11	rTopRightCorner	STRNUM		右上の角丸半径
12	rBottomRightCorner	STRNUM		右下の角丸半径
13	rBottomLeftCorner	STRNUM		左下の角丸半径

補足 No.1～5 のグループで省略不可

No.6～7 のグループで省略可

No.8～13 のグループで省略可

- ◆要素 <psTableCellEject> こま追い出し 左右同じ
- ◆要素 <psTableCellEjectLeftPage> こま追い出し 左ページ
- ◆要素 <psTableCellEjectRightPage> こま追い出し 右ページ

要素省略時は、参照段落の値を参照します。

No.	属性名	属性値	省略	説明
1	posAfter	STRNUM	可	途中分割後の位置

- ◆親要素 <psKogumiForm> 小組スタイル設定



No.	要素名	値	省略	説明
1	psKogumiAttr		可	小組基本属性
2	psKogumiFrame		可	小組外枠

- ◆要素 <psKogumiAttr> 小組基本属性

属性省略時は省略状態で XML インポートされ、組版時に参照段落の値を参照するなどの処理が実行されます。

- XML サンプル

```

<parastyleDef>
  <psBase name="小組" nType="kogumi" nameRefParagStyle="標準" nameNextParagStyle="標準"/>
  <psKogumiForm>
    <psKogumiAttr nWritingDirection="horizontal" nBase="hanmen" posStartCharDir="0Q" posStartLineDir="0Q"
      nPosition="left" marginTop="0mm" marginBottom="0mm" marginLeft="0mm" marginRight="0mm" bColumnWidth="false"
      numChar="1" bColumnDepth="false" numLine="1" numColumn="1" bColumnGap="false" numCharColumnGap="0"/>
  </psKogumiForm>
</parastyleDef>
  
```

No.	属性名	属性値	省略	説明
1	nWritingDirection	EnumValue	可	組方向。horizontal(横組), vertical(縦組)
2	nBase	EnumValue	可	基準。hanmen(版面), paper(用紙), position(位置)
3	posStartCharDir	STRNUM		字詰め方向量
4	posStartLineDir	STRNUM		行方向量
5	nPosition	EnumValue		配置 nBase が「hanmen」, 「paper」の場合、left(左側), right(右側), outside(外側), inside(内側) nBase が「position」の場合、head(行頭), end(行末), outside(外側), inside(内側)
6	marginTop	STRNUM	可	天マージン量
7	marginBottom	STRNUM		地マージン量
8	marginLeft	STRNUM		左マージン量
9	marginRight	STRNUM		右マージン量

No.	属性名	属性値	省略	説明
10	bColumnWidth	boolean	可	段幅数値指定。true(数値), false(字数)
11	numChar	decimal		段幅、字数。0～1000 までの小数值 bColumnWidth が「true」の場合、無効
12	width	STRNUM		段幅、数値 bColumnWidth が「false」の場合、無効
13	bColumnDepth	boolean		深さ数値指定。true(数値), false(行数)
14	numLine	decimal		深さ、行数。0～1000 までの小数值 bColumnDepth が「true」の場合、無効
15	depth	STRNUM		深さ、数値 bColumnDepth が「false」の場合、無効
16	numColumn	int		段数。1～50 まの整数
17	bColumnGap	boolean		段間数値指定。true(数値), false(字数)
18	numCharColumnGap	decimal		段間、字数。0～1000 までの小数值 bColumnGap が「true」の場合、無効
19	spaceColumnGap	STRNUM		段間、数値 bColumnGap が「false」の場合、無効
20	bColumnGapLine	boolean		段間罫チェック
21	nameLine	string		段間罫の線種名 No.21～29 は bColumnGapLine が「false」の場合、無効
22	widthLine	STRNUM		段間罫の線幅
23	nameLineColor	string		段間罫のカラー名
24	shadeLineColor	STRPER		段間罫のカラー濃度
25	minLength	STRNUM		段間罫の最小長さ
26	spaceBefore	STRNUM		段間罫の前のアキ量
27	spaceAfter	STRNUM		段間罫の後のアキ量
28	spaceObject	STRNUM		段間罫のオブジェクトとのアキ
29	spaceHead	STRNUM		段間罫の見出しとのアキ

補足 No.2～5 のグループで省略可
No.6～9 のグループで省略可
No.10～29 のグループで省略可

◆要素 <psKogumiFrame> 小組外枠

属性省略時は省略状態で XML インポートされ、組版時に参照段落の値を参照するなどの処理が実行されます。

• XML サンプル

```
<paragStyleDef>
  <psBase name="小組" nType="kogumi" nameRefParagStyle="標準" nameNextParagStyle="標準"/>
  <psKogumiForm>
    <psKogumiFrame nameLine="実線" widthLine="0.1mm" nameLineColor="ブラック" shadeLineColor="100%"
      nPaintType="color" namePaintColor="なし" shadePaintColor="100%" nRoundType="none" nTextWrap="none"
      bSpreadSpace="false" spaceTop="0" spaceBottom="0" spaceLeft="0" spaceRight="0"/>
  </psKogumiForm>
</paragStyleDef>
```

No.	属性名	属性値	省略	説明
1	nameLine	string	可	外枠野の線種名
2	widthLine	STRNUM		外枠野の線幅
3	nameLineColor	string		外枠野のカラー名
4	shadeLineColor	STRPER		外枠野のカラー濃度
5	nPaintType	EnumValue		塗り、パターン種別。color (カラー), pattern (パターン)
6	namePaintColor	string		塗りカラー (パターン) 名
7	shadePaintColor	STRPER		塗りカラー (パターン) 濃度
8	nRoundType	EnumValue		角の種類。none (なし), normal (丸 (外側)), reverse (丸 (内側)), slant (斜め), square (角)
9	bSameTopLeftRadius	boolean		左上と同じ半径 (左上チェック) No.9~13 は、nRoundType が「none」の場合、無効
10	rTopLeftCorner	STRNUM		左上の角丸半径
11	rTopRightCorner	STRNUM		右上の角丸半径
12	rBottomRightCorner	STRNUM		右下の角丸半径
13	rBottomLeftCorner	STRNUM		左下の角丸半径
14	nTextWrap	EnumValue	可	回り込みの種類と折り返し none (なし), both (四角の両端), left (四角の左側), right (四角の右側), top-bottom (上下)
15	bSpreadSpace	boolean		見開きアキチェック
16	spaceTop	STRNUM		上アキ量
17	spaceBottom	STRNUM		下アキ量
18	spaceLeft	STRNUM		左、外アキ量
19	spaceRight	STRNUM		右、内アキ量

補足 No.1~13 のグループで省略可
No.14~19 のグループで省略可

◆親要素 <psKumikaeForm> 組替えスタイル設定



No.	要素名	値	省略	説明
1	psKumikaeAttr		可	組替え基本属性
2	psKumikaeFrame		可	組替え外枠

◆要素 <psKumikaeAttr> 組替え基本属性

属性省略時は省略状態で XML インポートされ、組版時に参照段落の値を参照するなどの処理が実行されます。

• XML サンプル

```

<paragStyleDef>
  <psBase name="組替え" nType="kumikae" nameRefParagStyle="標準" nameNextParagStyle="標準"/>
  <psKumikaeForm>
    <psKumikaeAttr nHanmen="margin" bMargin="false" nMarginSetVertical="top" marginTop="0mm" marginBottom="0mm"
      nMarginSetHorizontal="left" marginLeftOrIn="0mm" marginRightOrOut="0mm" bColumnWidth="false" numChar="1"
      bColumnDepth="false" numLine="1" numColumn="1" bColumnGap="false" numCharColumnGap="0"
      bColumnGapLine="false"/>
  </psKumikaeForm>
</paragStyleDef>

```

No.	属性名	属性値	省略	説明
1	nHanmen	EnumValue	可	版面指定。 margin (マージン), column-size (段サイズ)
2	bMargin	boolean	可	現在ページのマージンチェック nHanmen が「column-size」の場合、「false」を指定する
3	nMarginSetVertical	EnumValue		天地マージン指定。top (天), bottom (地) nHanmen が「margin」または、nHanmen の定義が省略されている場合、「top」を指定する
4	marginTop	STRNUM		天マージン値。「0」は設定なしを意味します。 nHanmen が「column-size」で、 nMarginSetVertical が「bottom」の場合、「0」を指定する
5	marginBottom	STRNUM		地マージン値。「0」は設定なしを意味します。 nHanmen が「column-size」で、 nMarginSetVertical が「top」の場合、「0」を指定する
6	nMarginSetHorizontal	EnumValue		左右マージン指定。left (左 (内)), right (右 (外)) nHanmen が「margin」または、nHanmen の定義が省略されている場合、「left」を指定する
7	marginLeftOrIn	STRNUM	可	左 (内) マージン値。「0」は設定なしを意味します。 nHanmen が「column-size」で、 nMarginSetHorizontal が「right」の場合、「0」を指定する
8	marginRightOrOut	STRNUM		右 (外) マージン値。「0」は設定なしを意味します。 nHanmen が「column-size」で、 nMarginSetHorizontal が「left」の場合、「0」を指定する

No.	属性名	属性値	省略	説明
9	bColumnWidth	boolean	可	段幅数値指定。true (数値), false (字数) nHanmen が「margin」または、nHanmen の定義が省略されている場合、「false」を指定する
10	numChar	decimal		段幅、字数。0～1000 までの小数値 bColumnWidth が「true」の場合、無効
11	width	STRNUM		段幅、数値 bColumnWidth が「false」の場合、無効
12	bColumnDepth	boolean		深さ数値指定。true (数値), false (行数) nHanmen が「margin」または、nHanmen の定義が省略されている場合、「false」を指定する
13	numLine	decimal		深さ、行数。0～1000 までの小数値 bColumnDepth が「true」の場合、無効
14	depth	STRNUM		深さ、数値 bColumnDepth が「false」の場合、無効
15	numColumn	int		段数。1～50 まの整数
16	bColumnGap	boolean		段間数値指定。true (数値), false (字数)
17	numCharColumnGap	decimal		段間、字数。0～1000 までの小数値 bColumnGap が「true」の場合、無効
18	spaceColumnGap	STRNUM		段間、数値 bColumnGap が「false」の場合、無効
19	bColumnGapLine	boolean		段間野チェック
20	nameLine	string		段間野の線種名 No.20～28 は bColumnGapLine が「false」の場合、無効
21	widthLine	STRNUM		段間野の線幅
22	nameLineColor	string		段間野のカラー名
23	shadeLineColor	STRPER		段間野のカラー濃度
24	minLength	STRNUM		段間野の最小長さ
25	spaceBefore	STRNUM		段間野の前のアキ量
26	spaceAfter	STRNUM		段間野の後のアキ量
27	spaceObject	STRNUM		段間野のオブジェクトとのアキ
28	spaceHead	STRNUM		段間野の見出しとのアキ

補足 No.2～8 のグループで省略可

No.9～28 のグループで省略可

◆要素 <psKumikaeFrame> 組替え外枠

要素省略時は、参照段落の値を参照します。

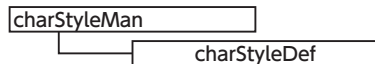
• XML サンプル

```
<paragStyleDef>
  <psBase name="組替え" nType="kumikae" nameRefParagStyle="標準" nameNextParagStyle="標準"/>
  <psKumikaeForm>
    <psKumikaeFrame bLineTop="true" bLineBottom="true" bLineLeft="false" bLineRight="false" spaceTop="0mm"
      spaceBottom="0mm" bLineJoin="false" nameLine="実線" widthLine="0.1mm" nameLineColor="ブラック"
      shadeLineColor="100%" nPaintType="color" namePaintColor="なし" shadePaintColor="100%" nRoundType="none"/>
  </psKumikaeForm>
</paragStyleDef>
```

No.	属性名	属性値	省略	説明
1	bLineTop	boolean	不可	上線
2	bLineBottom	boolean	不可	下線
3	bLineLeft	boolean	不可	左線
4	bLineRight	boolean	不可	右線
5	spaceTop	STRNUM	—	組替え版面上アキ量。上線が「false」の場合、無効
6	spaceBottom	STRNUM	—	組替え版面下アキ量。下線が「false」の場合、無効
7	spaceLeft	STRNUM	—	組替え版面左アキ量。左線が「false」の場合、無効
8	spaceRight	STRNUM	—	組替え版面右アキ量。右線が「false」の場合、無効
9	bLineJoin	boolean	不可	ページ端で野線を結合するチェック
10	hanging	STRNUM	可	ページ端ぶら下げ量
11	nameLine	string	不可	外枠野の線種名
12	widthLine	STRNUM	不可	外枠野の線幅
13	nameLineColor	string	不可	外枠野のカラー名
14	shadeLineColor	STRPER	不可	外枠野のカラー濃度
15	nPaintType	EnumValue	不可	塗り、パターン種別。color(カラー), pattern(パターン)
16	namePaintColor	string	不可	塗りカラー(パターン)名
17	shadePaintColor	STRPER	不可	塗りカラー(パターン)濃度
18	nRoundType	EnumValue	—	角の種類。none(なし), normal(丸(外側)), reverse(丸(内側)), slant(斜め), square(角)
19	bSameTopLeftRadius	boolean		左上と同じ半径(左上チェック) No.19~23は、nRoundTypeが「none」の場合、無効
20	rTopLeftCorner	STRNUM		左上の角丸半径
21	rTopRightCorner	STRNUM		右上の角丸半径
22	rBottomRightCorner	STRNUM	—	右下の角丸半径
23	rBottomLeftCorner	STRNUM		左下の角丸半径

2-2-5 文字スタイル管理

<charStyleMan>は、文字スタイル管理を設定します。



• XML サンプル

```

<charStyleMan>
  <charStyleDef name="青 R">
    <mcl class="j" fontName="A-OTF UD 新ゴ Pro R" nameColor="青" shadeColor="100%"/>
  </charStyleDef>
  <charStyleDef name="ミン H">
    <mcl class="j" fontName="A-OTF リュウミン Pr6 H-KL"/>
  </charStyleDef>
</charStyleMan>
  
```

▶ 親要素 <charStyleMan> 文字スタイル管理

No.	要素名	値	省略	説明
1	charStyleDef		可	文字スタイル定義 ユーザーズガイド「10-8 文字スタイルパレット」を参照

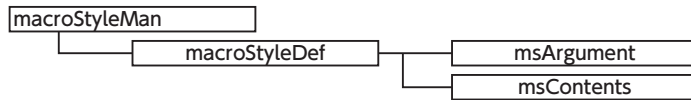
◆ 要素 <charStyleDef> 文字スタイル定義

No.	属性名	属性値	省略	説明
1	name	string	不可	文字スタイル名。「2-4 テキスト」参照

No.	要素名	値	省略	説明
1	mcl		可	MCL テキスト (XML 書式)

2-2-6 マクロスタイル管理

<macroStyleMan>は、マクロスタイル管理を設定します。



• XML サンプル

```

<macroStyleMan>
  <macroStyleDef name="0 sp">
    <msContents>
      <![CDATA[ <em wid=0> ]]>
    </msContents>
  </macroStyleDef>
  <macroStyleDef name="項目">
    <msArgument name="問答">0</msArgument>
    <msContents>
      <![CDATA[ <G ind_l=1ji ind_h=@ 問答;ji> ]]>
    </msContents>
  </macroStyleDef>
</macroStyleMan>
  
```

▶ 親要素 <macroStyleMan> マクロスタイル管理

No.	要素名	値	省略	説明
1	macroStyleDef	—	可	マクロスタイル定義 ユーザーズガイド「10-9 マクロスタイルパレット」を参照

◆ 要素 <macroStyleDef> マクロスタイル定義

No.	属性名	属性値	省略	説明
1	name	string	不可	マクロスタイル名

No.	要素名	値	省略	説明
1	msArgument	string	可	マクロ引数構成。引数の初期値
2	msContents	string	不可	マクロ内容。MCL テキスト(タグ付きテキスト書式) <![CDATA[~]]>で囲む

◆ 要素 <msArgument> マクロ引数構成

No.	属性名	属性値	省略	説明
1	name	string	不可	引数名

3 オブジェクト

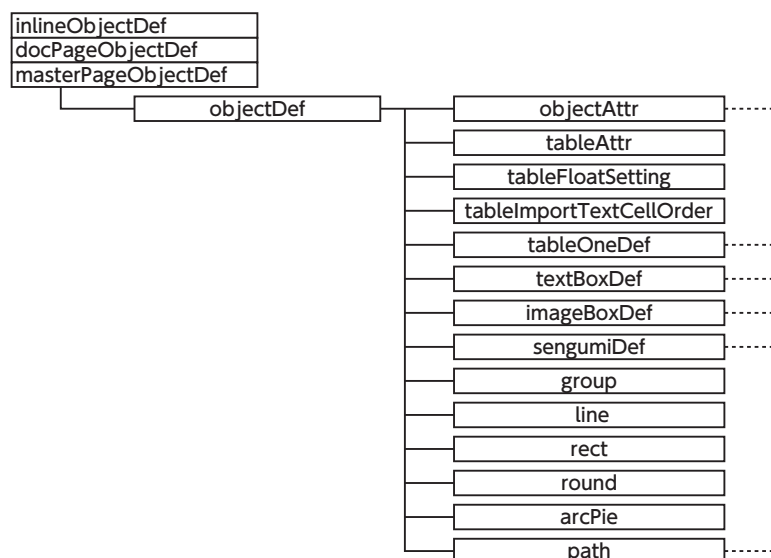
2-3-1 オブジェクト管理

オブジェクト定義リストを設定します。

ドキュメントページに配置されているオブジェクトは、その該当ページの<docPageObjectDef>に定義します。

マスターページに配置されているオブジェクトは、その該当マスターページの<masterPageObjectDef>に定義します。

レイアウトインラインや浮動表のように配置されるページが組版で決定されるオブジェクトは、<inlinePageObjectDef>に定義します。



▶ <inlineObjectDef> インラインオブジェクト定義

No.	要素名	値	省略	説明
1	objectDef		可	オブジェクト定義 レイアウトインライン、浮動表のオブジェクト定義

▶ <docPageObjectDef> ドキュメントページオブジェクト定義

No.	属性名	属性値	省略	説明
1	numPage	int	不可	ページ番号。レイアウトページ

No.	要素名	値	省略	説明
1	objectDef		可	オブジェクト定義 ドキュメントページで作成された図形、テキスト/画像ボックス、線組、固定表のオブジェクト定義

▶ <masterPageObjectDef> マスターページオブジェクト定義

No.	属性名	属性値	省略	説明
1	name	string	不可	マスターページ名。マスターページ

No.	要素名	値	省略	説明
1	objectDef		可	オブジェクト定義 ドキュメントページで作成された図形、テキスト/画像ボックス、線組、固定表のオブジェクト定義

注意 XML エクスポートで出力されるマスターページオブジェクトの並び順は、文書の編集状態によって変わります。

マスターページオブジェクト定義を、二次加工する場合はご注意ください。

◆要素 <objectDef> オブジェクト定義

• XML サンプル

```

<docPageObjectDef numPage="1">
  <objectDef nContentType="shape" nObjectType="rect" nameObject="Shape1" nameLayer="本文レイヤー" bGroup="false"
    bClosed="true">
    <objectAttr angleRotate="0" nTextWrap="none" bLock="false" bNonPrint="false" bNumCharLine="false">
      <lineAttr nameLine="実線" widthLine="1000" nameLineColor="ブラック" shadeLineColor="1000" nLineAlignment="center"
        nLineJoin="miter" nLineCap="flat" bOverprint="false"/>
    </objectAttr>
    <rect posTopLeftX="0" posTopLeftY="0" posBottomRightX="100000" posBottomRightY="250000"/>
    <round nRoundType="none"/>
  </objectDef>
</docPageObjectDef>

```

No.	属性名	属性値	省略	初期値	説明
1	nContentType	EnumValue	不可	—	オブジェクトのタイプ shape(図形), text-box(テキストボックス), image-box(画像ボックス), table(表), sengumi(線組), group(グループ)
2	nObjectType	EnumValue	不可	—	オブジェクト形状の種類 line(直線), bezier(ベジエ、多角形), rect(長方形), ellipse(円・楕円), arc(円弧・楕円弧), pie(扇型), chord(弓型), table(表), group(グループ)
3	nameObject	string	可	shape###	オブジェクト名称 省略した場合は、自動で割り当てます
4	nameLayer	string	可	本文 レイヤー	レイヤー名
5	bGroup	boolean	可	false	グループ化フラグ true(グループ化), false(非グループ化)
6	bRegistName	boolean	可	false	名称登録フラグ。 true(名称あり), false(名称なし) 親要素が masterPageObjectDef の場合のみ指定 する
7	bInline	boolean	可	false	インラインオブジェクトフラグ true(レイアウトインライン), false(浮動表) 親要素が inlineObjectDef の場合のみ指定する
8	bFloatingTable	boolean	可	false	浮動表フラグ true(浮動表あり), false(なし)
9	bClosed	boolean	可	false	閉領域オブジェクトフラグ true(閉領域あり), false(なし) 閉領域オブジェクトを含むグループオブジェクト、 パスが閉じているベジエオブジェクトの場合、true を指定する

No.	要素名	値	説明
1	objectAttr		オブジェクト基本属性(表以外)
2	tableAttr		表基本属性
3	tableFloatSetting		浮動表設定
4	tableImportTextCellOrder		表テキストの取り込み順序
5	tableOneDef		1 表組ブロックの定義
6	textBoxDef		テキストボックス定義
7	imageBoxDef		画像ボックス定義
8	sengumiDef		線組定義
9	group	string	グループオブジェクト。オブジェクト名称を半角 SP 区切り
10	line		オブジェクト形状(直線)
11	rect		オブジェクト形状(長方形・楕円・表・グループ)
12	round		長方形オブジェクト角丸形状
13	arcPie		オブジェクト形状(扇形・楕円弧・弓)
14	path		オブジェクト形状(ベジェ・多角形)

No.	オブジェクトのタイプ	使用できる要素	省略
1	図形	objectAttr	不可
		形状(すべての形状)	不可
2	テキストボックス	objectAttr	不可
		textBoxDef	不可
		形状(長方形)	不可
3	画像ボックス	objectAttr	不可
		imageBoxDef	不可
		形状(長方形, 円・楕円, ベジェ)	不可
4	線組	objectAttr	不可
		sengumiDef	不可
		形状(すべての形状)	不可
5	表組	tableAttr	不可
		tableFloatSetting	可
		tableImportTextCellOrder	可
		tableOneDef	不可
		形状(長方形領域)	不可
6	グループ	group	不可
		形状(長方形領域)	不可

No.	オブジェクトの形状の種類	要素	省略
1	直線	line	不可
2	長方形	rect	不可
		round	可
3	円・楕円	rect	不可
4	円弧・楕円弧	arcPie	不可
5	扇型	arcPie	不可
6	弓型	arcPie	不可
7	ベジェ	path	不可
8	長方形領域	rect	不可

補足 「長方形領域」は、「すべての形状」に含みません。

◆「オブジェクト名称」と「オブジェクト管理名称」

objectDef 要素の nameObject 属性の「オブジェクト名称」は、MC-Smart のオブジェクト名称パレットに登録する「オブジェクト管理名称」とは異なります。

オブジェクト名称パレットに登録できるのは、マスターページに配置されているオブジェクトのみで、「オブジェクト管理名称」はオブジェクト名称パレットに登録されたマスターページオブジェクトにのみ与えられます。オブジェクト名称パレットに登録されたオブジェクトは、インラインオブジェクト、ページ基準浮動枠、段基準浮動枠で使用できます。「オブジェクト管理名称」は、これら MCL コマンドでオブジェクトを指定する場合に利用されます。

「オブジェクト名称」は文書内のすべてのオブジェクトに設定される名称で、オブジェクトを識別するために与えられます。オブジェクト名称パレットに登録されているオブジェクトを識別するためにも利用されています。

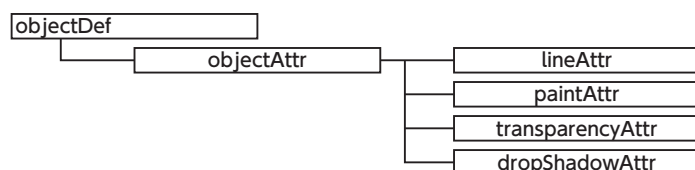
	オブジェクト名称	オブジェクト管理名称
対象	すべてのオブジェクト	オブジェクト名称パレットに登録されているマスターページオブジェクト
定義位置	各オブジェクト	オブジェクト名称パレット管理データ
用途	オブジェクトの識別	インラインオブジェクト、浮動枠コマンドでのオブジェクト指定
利用	MC-Smart 内部利用	MCL コマンド入力(ユーザー編集)

注意 現在、「オブジェクト管理名称」の登録は、MC-Smart 上の操作でのみ可能です。MC-SmartXML では、これを参照する利用ができます。

2-3-2 図形

◆要素 <objectAttr> オブジェクト属性

ユーザズガイド「4-4-9 オブジェクト設定」を参照してください。



No.	属性名	属性値	省略	初期値	説明
1	angleRotate	ANGLE	可	0	回転角度
2	nTextWrap	EnumValue	可	none	テキスト回り込みタイプ none (無し), both (両端), left (左), right (右), top-bottom (上下)
3	spaceTextWrapTop	STAR	可	0	上アキ量
4	spaceTextWrapBottom	STAR	可	0	下アキ量
5	spaceTextWrapLeft	STAR	可	0	左アキ量
6	spaceTextWrapRight	STAR	可	0	右アキ量
7	bLock	boolean	可	false	ロック状態。true (ロック), false (非ロック)
8	bNonPrint	boolean	可	false	印刷属性 (印刷しない) チェック true (印刷禁止), false (印刷)
9	bNumCharLine	boolean	可	false	字数と行数チェック true (字数・行数), false (数値)

No.	要素名	値	省略	説明
1	lineAttr		可	罫線属性
2	paintAttr		可	塗り属性
3	transparencyAttr		可	透明属性
4	dropShadowAttr		可	ドロップシャドウ属性

◆要素 <lineAttr> 罫線属性

No.	属性名	属性値	省略	初期値	説明
1	nameLine	string	可	実線	罫線名
2	widthLine	STAR	可	1000	線幅
3	nameLineColor	string	可	ブラック	罫線カラー名
4	shadeLineColor	PERCENT	可	1000	罫線カラー濃度
5	nLineAlignment	EnumValue	可	center	線幅の位置 center (中心), inside (内側), outside (外側)
6	nLineJoin	EnumValue	可	miter	結合点タイプ miter (マイター), round (丸), bevel (ベベル, 斜め)
7	nLineCap	EnumValue	可	flat	端点タイプ flat (平ら), round (丸), square (四角)
8	nArrowStartType	EnumValue	可	none	始点矢印タイプ none (無し), arrow1 (矢 1), arrow2 (矢 2), arrow3 (矢 3), square (■四角 1), diamond (◆四角 2), circle (●丸 1)
9	nArrowEndType	EnumValue	可	none	終点矢印タイプ none (無し), arrow1 (矢 1), arrow2 (矢 2), arrow3 (矢 3), square (■四角 1), diamond (◆四角 2), circle (●丸 1)

No.	属性名	属性値	省略	初期値	説明
10	bArrowWidthHeightSetting	boolean	可	false	絶対指定/相対指定チェック true(絶対指定), false(相対指定)
11	nArrowStartShapeSize	EnumValue	可	0	始点矢印形状変形サイズ(相対指定) 0(30度), 1(60度), 2(90度)
12	nArrowEndShapeSize	EnumValue	可	0	終点矢印形状変形サイズ(相対指定) 0(30度), 1(60度), 2(90度)
13	nArrowStartTotalSize	EnumValue	可	3	始点矢印サイズ(相対指定) 0(極小), 1~5(サイズ1~サイズ5), 6(特大)
14	nArrowEndTotalSize	EnumValue	可	3	終点矢印サイズ(相対指定) 0(極小), 1~5(サイズ1~サイズ5), 6(特大)
15	widthArrowStart	STAR	可	10000	始点矢印幅(絶対指定)
16	heightArrowStart	STAR	可	10000	始点矢印高さ(絶対指定)
17	widthArrowEnd	STAR	可	10000	終点矢印幅(絶対指定)
18	heightArrowEnd	STAR	可	10000	終点矢印高さ(絶対指定)
19	bOverprint	boolean	可	false	オーバープリント。true(する), false(しない)

補足 No.8~18は、直線(objectDef要素のnObjectType属性がline)の場合のみ有効

◆要素 <paintAttr> 塗り属性

•XML サンプル

```
<objectAttr>
  <paintAttr namePaintColor="ホワイト" shadePaintColor="1000" nPaintType="color" bOverprint="false"/>
</objectAttr>
```

No.	属性名	属性値	省略	初期値	説明
1	namePaintColor	string	可	なし	塗りカラー名
2	shadePaintColor	PERCENT	可	1000	塗りカラー濃度
3	nPaintType	EnumValue	可	color	塗り、パターン種別。 color(カラー), pattern(パターン)
4	bOverprint	boolean	可	false	オーバープリント。true(する), false(しない)

◆要素 <transparencyAttr> 透明属性

•XML サンプル

```
<objectAttr>
  <transparencyAttr opacityLine="1000" opacityPaint="500" opacityText="500" opacityImage="500" />
</objectAttr>
```

No.	属性名	属性値	省略	初期値	説明
1	opacity	PERCENT	可	1000	オブジェクトの不透明度
2	opacityLine	PERCENT	可	1000	オブジェクトの線の不透明度 opacityの指定がある場合、無効
3	opacityPaint	PERCENT	可	1000	オブジェクトの塗りの不透明度 opacityの指定がある場合、無効
4	opacityText	PERCENT	可	1000	オブジェクトのテキストの不透明度 opacityの指定がある場合、無効
5	opacityImage	PERCENT	可	1000	オブジェクトの画像の不透明度 opacityの指定がある場合、無効

◆要素 <dropShadowAttr> ドロップシャドウ属性

• XML サンプル

```

<objectAttr>
  <dropShadowAttr bDropShadow="true" bShadowLine="true" bShadowPaint="true" bShadowText="true"
    nameColorShadow="ブラック" shadeColorShadow="1000" opacityShadow="1000" angleLight="1350000"
    lengthShadow="42426" widthBlur="15000" rateSize="1000" bShadowOverprint="false" />
</objectAttr>

```

No.	属性名	属性値	省略	初期値	説明
1	bDropShadow	boolean	可	false	ドロップシャドウを発生 true(する), false(しない)
2	bShadowLine	boolean	可	true	線のシャドウを発生。true(する), false(しない)
3	bShadowPaint	boolean	可	true	塗りのシャドウを発生。true(する), false(しない)
4	bShadowText	boolean	可	true	テキストのシャドウを発生 true(する), false(しない)
5	nameColorShadow	string	可	ブラック	シャドウのカラー名
6	shadeColorShadow	PERCENT	可	1000	シャドウのカラー濃度
7	opacityShadow	PERCENT	可	1000	シャドウの不透明度
8	angleLight	ANGLE	可	1350000	シャドウの光源の角度
9	lengthShadow	STAR	可	42426	シャドウとオブジェクトの距離
10	widthBlur	STAR	可	15000	シャドウの縁のぼかし幅
11	rateSize	PERCENT	可	1000	シャドウの相対サイズ
12	bShadowOverprint	boolean	可	false	シャドウをオーバープリント true(する), false(しない)

◆要素 <line> オブジェクト形状(直線)

• XML サンプル

```

<objectDef>
  <line posStartX="0" posStartY="0" posEndX="100000" posEndY="0"/>
</objectDef>

```

No.	属性名	属性値	省略	初期値	説明
1	posStartX	STAR	不可	—	始点横座標
2	posStartY	STAR	不可	—	始点縦座標
3	posEndX	STAR	不可	—	終点横座標
4	posEndY	STAR	不可	—	終点縦座標

◆要素 <rect> オブジェクト形状(長方形・楕円・表・グループ)

• XML サンプル

```

<objectDef>
  <rect posTopLeftX="0" posTopLeftY="0" posBottomRightX="100000" posBottomRightY="100000"/>
</objectDef>

```

No.	属性名	属性値	省略	初期値	説明
1	posTopLeftX	STAR	不可	—	左上横座標
2	posTopLeftY	STAR	不可	—	左上縦座標
3	posBottomRightX	STAR	不可	—	右下横座標
4	posBottomRightY	STAR	不可	—	右下縦座標

◆要素 <round> 長方形オブジェクト角丸形状

• XML サンプル

```
<objectDef>
  <round nRoundType="normal" rTopLeftCorner="10000" rTopRightCorner="10000" rBottomRightCorner="10000"
    rBottomLeftCorner="10000"/>
</objectDef>
```

No.	属性名	属性値	省略	初期値	説明
1	nRoundType	EnumValue	可	none	角の種類。none (なし), normal (丸 (外側)), reverse (丸 (内側)), slant (斜め), square (角)
2	rTopLeftCorner	STAR	可	0	左上の角丸半径
3	rTopRightCorner	STAR	可	0	右上の角丸半径
4	rBottomRightCorner	STAR	可	0	右下の角丸半径
5	rBottomLeftCorner	STAR	可	0	左下の角丸半径

◆要素 <arcPie> オブジェクト形状 (扇形・楕円弧・弓)

• XML サンプル

```
<objectDef>
  <arcPie posTopLeftX="0" posTopLeftY="0" posBottomRightX="100000" posBottomRightY="50000" angleStart="0"
    angleSweep="900000"/>
</objectDef>
```

No.	属性名	属性値	省略	初期値	説明
1	posTopLeftX	STAR	不可	—	左上横座標
2	posTopLeftY	STAR	不可	—	左上縦座標
3	posBottomRightX	STAR	不可	—	右下横座標
4	posBottomRightY	STAR	不可	—	右下縦座標
5	angleStart	ANGLE	不可	—	開始角度
6	angleSweep	ANGLE	不可	—	中心角度

◆要素 <path> オブジェクト形状(ベジェ・多角形)



• XML サンプル

```

<objectDef>
  <path numPath="2">
    <pathPoint blIndependence="false" posFirstDirX="0" posFirstDirY="0" posAnchorX="0" posAnchorY="0" posSecondDirX="0"
    posSecondDirY="0"/>
    <pathPoint blIndependence="false" posFirstDirX="100000" posFirstDirY="0" posAnchorX="100000" posAnchorY="0"
    posSecondDirX="100000" posSecondDirY="0"/>
  </path>
</objectDef>

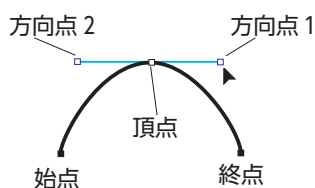
```

No.	属性名	属性値	省略	説明
1	numPath	int	不可	ベジェのパス数

No.	要素名	値	省略	説明
1	pathPoint		不可	ベジェのパス要素

◆要素 <pathPoint> ベジェのパス要素

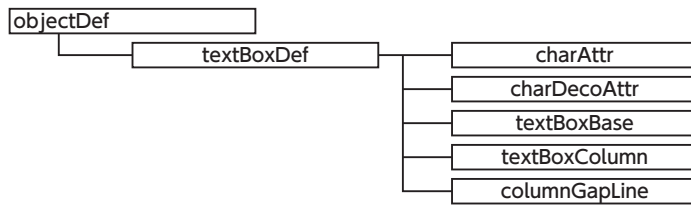
No.	属性名	属性値	省略	説明
1	blIndependence	boolean	不可	方向点の独立状態。true(独立), false(非独立)
2	posFirstDirX	STAR	不可	方向点 1 の横座標
3	posFirstDirY	STAR	不可	方向点 1 の縦座標
4	posAnchorX	STAR	不可	頂点の横座標
5	posAnchorY	STAR	不可	頂点の縦座標
6	posSecondDirX	STAR	不可	方向点 2 の横座標
7	posSecondDirY	STAR	不可	方向点 2 の縦座標



2-3-4 テキストボックス

◆要素 <textBoxDef> テキストボックス定義

ユーザーズガイド「4-3-3 テキストボックスの設定」を参照してください。



• XML サンプル

```

<objectDef>
  <textBoxDef idText="2">
  </textBoxDef>
</objectDef>
  
```

No.	属性名	属性値	省略	説明
1	idText	int	不可	適用テキスト管理番号

No.	要素名	値	省略	説明
1	charAttr		不可	文字属性
2	charDecoAttr		可	文字修飾属性
3	textBoxBase		不可	テキストボックス設定
4	textBoxColumn		不可	テキストボックス段組設定
5	columnGapLine		可	テキストボックス段間野設定

注意 テキストボックスの連結情報は XML には含まれません。

XML エクスポートではテキストボックスの連結情報は出力されず、テキスト内容は連結先頭のボックスに関連付けられます。

◆要素 <charAttr> 文字属性

• XML サンプル

```
<textBoxDef idText="2">
  <charAttr nWritingDirection="horizontal" fontName="A-OTF リュウミン Pr6 L-KL" charSize="32500" bAbsHeightWidth="false"
    height="1000" width="1000" nCharPitchType="beta" nLineFeedType="line-feed" lineFeed="60000"
    nameCompMode="標準組版モード" nameColor="ブラック" shadeColor="1000" angleSlant="0"/>
</textBoxDef>
```

No.	属性名	属性値	省略	初期値	説明
1	nWritingDirection	EnumValue	可	horizontal	組方向。horizontal(横組), vertical(縦組)
1	fontName	string	可	MS 明朝	書体名
2	charSize	STAR	可	32500 (13Q)	文字サイズ
3	bAbsHeightWidth	boolean	可	false	文字幅・文字高チェック true(文字幅・文字高), false(比率)
4	height	STAR PERCENT	可	32500 1000	文字高サイズ 文字高比率
5	width	STAR PERCENT	可	32500 1000	文字幅サイズ 文字幅比率
6	nCharPitchType	EnumValue	可	beta	字間タイプ。beta(ベタ), jiokuri(字送り)
7	charPitch	STAR	可	32500 (13Q)	字送り量
8	nLineFeedType	EnumValue	可	line-feed	行間タイプ。line-feed(行送り), line-gap(行間), line-gap-eject(段末追い出し)
9	lineFeed	STAR	可	60000 (24Q)	行間(行送り)量
10	nameCompMode	string	可	標準組版 モード	組版モード名
11	nameColor	string	可	ブラック	文字カラー名
12	shadeColor	PERCENT	可	1000	文字カラー濃度
13	angleSlant	ANGLE	可	0	斜体角度

◆要素 <charDecoAttr> 文字修飾属性

• XML サンプル

```
<textBoxDef idText="2">
  <charDecoAttr bOutline="true" nameColorOutline="ブラック" shadeColorOutline="1000" widthOutline="0"
    nShadowType="shadow" nameColorShadow="ブラック" shadeColorShadow="1000" lengthShadow="0" angleShadow="0"/>
</textBoxDef>
```

No.	属性名	属性値	省略	初期値	説明
1	bOutline	boolean	可	false	袋文字チェック
2	nameColorOutline	string	可	ブラック	袋文字のカラー名
3	shadeColorOutline	PERCENT	可	1000	袋文字のカラー濃度
4	widthOutline	STAR	可	0	袋文字の幅
5	nShadowType	EnumValue	可	none	影の種類。none(なし), shadow(影), solid(立体)
6	nameColorShadow	string	可	ブラック	影のカラー名
7	shadeColorShadow	PERCENT	可	1000	影のカラー濃度
8	lengthShadow	STAR	可	0	影の距離
9	angleShadow	ANGLE	可	0	影の角度

◆要素 <textBoxBase> テキストボックス設定

• XML サンプル

```
<textBoxDef idText="2">
  <textBoxBase nVertJustification="head" nColumnSetting="margin" marginTop="0" marginBottom="0" marginLeft="0"
marginRight="0"/>
</textBoxDef>
```

No.	属性名	属性値	省略	初期値	説明
1	nVertJustification	EnumValue	可	head	行方向揃え head (行頭揃え), center (中央揃え), end (行末揃え), justify (均等揃え)
2	nColumnSetting	EnumValue	可	margin	段組設定。margin (マージン), char-num (字数), column-size (段サイズ)
6	marginTop	STAR	可	0	天アキ
7	marginBottom	STAR	可	0	地アキ
8	marginLeft	STAR	可	0	左アキ
9	marginRight	STAR	可	0	右アキ

◆要素 <textBoxColumn> テキストボックス段組設定

• XML サンプル

```
<textBoxDef idText="2">
  <textBoxColumn numColumn="1" spaceColumnGap="0"/>
</textBoxDef>
```

No.	属性名	属性値	省略	初期値	説明
1	numColumn	int	可	1	段数。1 以上の整数
2	numCharColumnGap	decimal	可	0	段間、字数。0~1000.000 までの小数値 <textBoxBase nColumnSetting = ">が 「char-num」の場合に有効
3	spaceColumnGap	STAR	可	0	段間、数値 <textBoxBase nColumnSetting = ">が 「margin」 「column-size」の場合に有効
4	numChar	decimal	不可	—	字数。小数値 <textBoxBase nColumnSetting = ">が 「char-num」の場合に有効
5	numLine	decimal	不可	—	行数。小数値 <textBoxBase nColumnSetting = ">が 「char-num」の場合に有効
6	width	STAR	不可	—	段幅 <textBoxBase nColumnSetting = ">が 「column-size」の場合に有効
7	depth	STAR	不可	—	段深さ <textBoxBase nColumnSetting = ">が 「column-size」の場合に有効

◆要素 <columnGapLine> テキストボックス段間罫設定

• XML サンプル

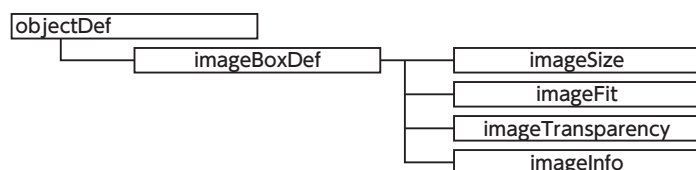
```
<textBoxDef idText="2">
  <columnGapLine nameLine="実線" widthLine="1000" nameLineColor="ブラック" shadeLineColor="1000" minLength="0"
    spaceBefore="0" spaceAfter="0" spaceObject="0" spaceHead="0"/>
</textBoxDef>
```

No.	属性名	属性値	省略	初期値	説明
1	nameLine	string	可	実線	段間罫の線種名
2	widthLine	STAR	可	1000	段間罫の線幅
3	nameLineColor	string	可	ブラック	段間罫のカラー名
4	shadeLineColor	PERCENT	可	1000	段間罫のカラー濃度
5	minLength	STAR	可	0	段間罫の最小長さ
6	spaceBefore	STAR	可	0	段間罫の(版面) 前のアキ
7	spaceAfter	STAR	可	0	段間罫の(版面) 後のアキ
8	spaceObject	STAR	可	0	段間罫のオブジェクトとのアキ
9	spaceHead	STAR	可	0	段間罫の見出しとのアキ

2-3-3 画像ボックス

◆要素 <imageBoxDef> 画像ボックス定義

ユーザズガイド「4-2-3 画像ボックスの設定」を参照してください。



• XML サンプル

```

<objectDef nContentType="image-box">
  <imageBoxDef>
    <imageSize posX="0" posY="0" width="0" height="0" angleRotate="0" rateHorizontal="1000" rateVertical="1000"/>
    <imageFit nFitType="none" bHorzFlip="false" bVertFlip="false"/>
    <imageTransparency bBgTransparency="true" nameColorImage="ブラック" shadeColorImage="1000" />
    <imageInfo path="C:\doc\Sample.jpg" width="0" height="0"/>
  </imageBoxDef>
</objectDef>

```

No.	要素名	値	省略	説明
1	imageSize		不可	画像サイズ
2	imageFit		不可	画像フィット設定
3	imageTransparency		可	モノクロ画像の背景透過設定
4	imageInfo		可	画像ファイル情報

◆要素 <imageSize> 画像サイズ

No.	属性名	属性値	省略	初期値	説明
1	posX	STAR	可	0	左上横移動量
2	posY	STAR	可	0	左上縦移動量
3	width	STAR	不可	—	画像幅
4	height	STAR	不可	—	画像高さ
5	angleRotate	ANGLE	可	0	回転角度
6	rateHorizontal	PERCENT	可	1000	横比率
7	rateVertical	PERCENT	可	1000	縦比率

◆要素 <imageFit> 画像フィット設定

No.	属性名	属性値	省略	初期値	説明
1	nFitType	EnumValue	可	none	フィット種類 none (なし), small (小さい), large (大きい)
2	bHorzFlip	boolean	可	false	水平反転チェック
3	bVertFlip	boolean	可	false	垂直反転チェック
4	nHorzAlign	EnumValue	可	none	画像配置の水平方向揃え none (なし), left (左揃え), center (左右中央), right (右揃え)
5	nVertAlign	EnumValue	可	none	画像配置の垂直方向揃え none (なし), top (上揃え), center (上下中央), bottom (下揃え)

◆要素 <imageTransparency> モノクロ画像の背景透過設定

No.	属性名	属性値	省略	初期値	説明
1	bBgTransparency	boolean	可	true	モノクロ画像の背景を透過 true(する), false(しない)
2	nameColorImage	string	可	ブラック	モノクロ画像の前景のカラー名
3	shadeColorImage	PERCENT	可	1000	カラー濃度

◆要素 <imageInfo> 画像ファイル情報

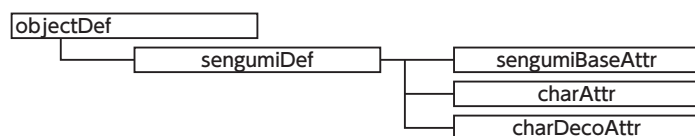
No.	属性名	属性値	省略	初期値	説明
1	path	string	不可	—	ファイルパス
2	numPdfPage	int	可	—	PDF ページ番号。 画像ファイルが PDF、AI では 1 以上の整数(初期値 1)。それ以外の画像ファイルでは 0 を指定。
3	width	STAR	可	0	実横サイズ。0 の場合、画像から計算
4	height	STAR	可	0	実縦サイズ。0 の場合、画像から計算

2-3-5 線組

◆要素 <sengumiDef> 線組定義

ユーザズガイド「4-1-4 線組の作成」を参照してください。

図形オブジェクトに線組を設定した場合のXMLデータは、要素<objectDef>の属性 nContentType の値が"shape"から、"sengumi"に変更され、要素<sengumiDef>が追加されます。



• XML サンプル

```

<objectDef nContentType="sengumi">
  <sengumiDef idText="2">
    <sengumiBaseAttr posStart="0" posEnd="0" nAdjustPosition="normal" nJustification="head" nBaseLine="top"/>
    <charAttr/>
    <charDecoAttr/>
  </sengumiDef>
</objectDef>

```

No.	属性名	属性値	省略	説明
1	idText	int	不可	適用テキスト管理番号

No.	要素名	値	省略	説明
1	sengumiBaseAttr		不可	線組の基本属性
2	charAttr		不可	文字属性
3	charDecoAttr		可	文字修飾属性

◆要素 <sengumiBaseAttr> 線組の基本属性

No.	属性名	属性値	省略	初期値	説明
1	posStart	STAR	可	0	開始位置 直線・長方形・ベジェの場合、有効
2	posEnd	STAR	可	0	終了位置 直線・長方形・ベジェの場合、有効
3	angleStart	ANGLE	可	0	開始相対角度 楕円・楕円弧・扇形・弓の場合、有効
4	angleEnd	ANGLE	可	0	終了相対角度 楕円・楕円弧・扇形・弓の場合、有効
5	nRotateDirection	EnumValue	可	right	字送り方向。right(右回転), left(左回転) 楕円・楕円弧・扇形・弓の場合、有効
6	nAdjustPosition	EnumValue	可	normal	行頭行末位置。normal(通常), center(文字中央)
7	nJustification	EnumValue	可	head	文字の揃え head(行頭揃え), center(中央揃え), end(行末揃え), justify(均等揃え)
8	nBaseLine	EnumValue	可	top	文字基準点。top(上), center(中), baseline(ベースライン), bottom(下)

◆要素 <charAttr> 文字属性

<textBoxDef>の要素<charAttr>を参照してください。

◆要素 <charDecoAttr> 文字修飾属性

<textBoxDef>の要素<charDecoAttr>を参照してください。

2-3-6 表組

◆要素 <tableAttr>

ユーザズガイド「第5章 表」を参照してください。

•XML サンプル

```
<objectDef>
  <tableAttr angleRotate="0" nTextWrap="both" spaceTextWrapTop="0" spaceTextWrapBottom="0" spaceTextWrapLeft="0"
    spaceTextWrapRight="0" bLock="false" bNonPrint="false" bVertLineFront="false" nWritingDirection="horizontal"
    bNumCharLine="false" bPaintOverprint="false" bLineOverprint="false"/>
</objectDef>
```

No.	属性名	属性値	省略	初期値	説明
1	angleRotate	ANGLE	可	0	回転角度
2	nTextWrap	EnumValue	可	none	テキスト回り込みタイプ none (無し), both (両端), left (左), right (右), top-bottom (上下)
3	spaceTextWrapTop	STAR	可	0	上アキ量
4	spaceTextWrapBottom	STAR	可	0	下アキ量
5	spaceTextWrapLeft	STAR	可	0	左アキ量
6	spaceTextWrapRight	STAR	可	0	右アキ量
7	bLock	boolean	可	false	ロック状態。true (ロック), false (非ロック)
8	bNonPrint	boolean	可	false	印刷属性 (印刷しない) チェック true (印刷禁止), false (印刷)
9	bVertLineFront	boolean	可	false	表示順序 (横野線/縦野線) チェック true (縦野線が上位), false (横野線が上位)
10	nWritingDirection	EnumValue	可	本文による	基本組方向。horizontal (横組), vertical (縦組)
11	bNumCharLine	boolean	可	false	段組 (字数と行数/段サイズ) チェック true (字数と行数), false (段サイズ)
12	bPaintOverprint	boolean	可	false	印刷属性 (塗りオーバープリント) チェック
13	bLineOverprint	boolean	可	false	印刷属性 (野線オーバープリント) チェック

◆要素 <tableFloatSetting> 浮動表設定

<tableFloatSetting>は、浮動表のみ指定可能です。

•XML サンプル

```
<objectDef>
  <tableFloatSetting nPosCharDir="head" posCharDir="0" spaceBefore="0" spaceAfter="0" bHeader="true" numHeaderLine="1"
    nHeaderRepeat="column"/>
</objectDef>
```

No.	属性名	属性値	省略	初期値	説明
1	nPosCharDir	EnumValue	可	head	字詰め方向位置 head (行頭揃え), center (中央揃え), end (行末揃え), inside (内揃え), outside (外揃え)
2	posCharDir	STAR	可	0	字詰め方向位置の調整値
3	spaceBefore	STAR	可	0	前アキ量
4	spaceAfter	STAR	可	0	後アキ量
5	bHeader	boolean	可	false	表ヘッダーを自動発生させるチェック
6	numHeaderLine	int	可	1	表ヘッダー行数。1以上の整数
7	nHeaderRepeat	EnumValue	可	column	表ヘッダーの繰り返し条件。column (段毎), page (ページ毎), odd-page (奇数ページ毎), even-page (偶数ページ毎)

◆要素 <tableImportTextCellOrder> 表テキストの取り込み順序

• XML サンプル

```

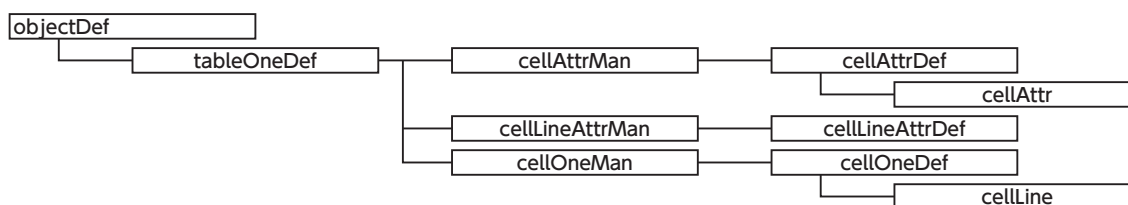
<objectDef>
  <tableImportTextCellOrder bUserSetting="true">
    <cellNoList>4 1 2 3</cellNoList>
  </tableImportTextCellOrder>
</objectDef>

```

No.	属性名	属性値	初期値	省略	説明
1	bUserSetting	boolean	可	false	流し込み順指定の有無

No.	要素名	値	省略	説明
1	cellNoList	int	可	セル番号リスト。セル番号を半角 SP 区切り

◆要素 <tableOneDef> 1 表組ブロックの定義



• XML サンプル

```

<objectDef>
  <tableOneDef posTopLeftX="0" posTopLeftY="0" posBottomRightX="272729" posBottomRightY="255604">
  </tableOneDef>
</objectDef>

```

No.	属性名	属性値	省略	説明
1	posTopLeftX	STAR	不可	表組ブロック左上横座標
2	posTopLeftY	STAR	不可	表組ブロック左上縦座標
3	posBottomRightX	STAR	不可	表組ブロック右下横座標
4	posBottomRightY	STAR	不可	表組ブロック右下縦座標

No.	要素名	値	省略	説明
1	cellAttrMan		不可	表組のセル属性管理
2	cellLineAttrMan		不可	表組のセル野線属性管理
3	cellOneMan		不可	表組のセル管理

◆要素 <cellAttrMan> 表組のセル属性管理

• XML サンプル

```

<tableOneDef>
  <cellAttrMan>
    <cellAttrDef idCellAttrDef="1">
      <cellAttr/>
    </cellAttrDef>
  </cellAttrMan>
</tableOneDef>

```

No.	要素名	値	省略	説明
1	cellAttrDef		不可	表組のセル属性定義

◆要素 <cellAttrDef> 表組のセル属性定義

No.	属性名	属性値	省略	説明
1	idCellAttrDef	int	不可	セル属性定義番号。1 以上の整数

No.	要素名	値	省略	説明
1	cellAttr		不可	表組のセル属性

◆セル属性定義番号

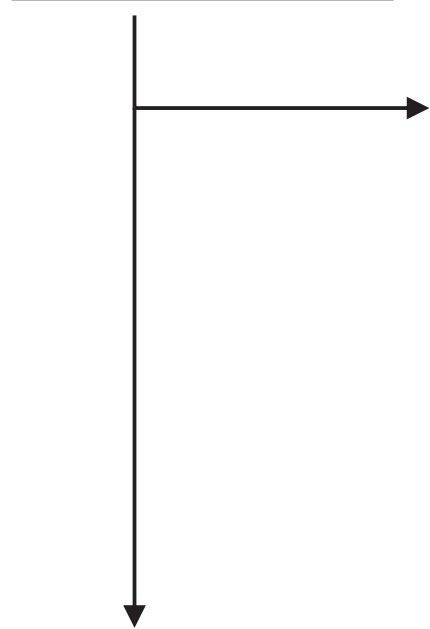
- 表オブジェクトのセルに適用されるセル属性を参照するために利用します。
- 表オブジェクトの1表ブロックで一意的識別番号を割り付けます。
- セル属性定義番号の参照元要素
表オブジェクトの1表ブロックの1セル定義要素 (idCellAttrDef 属性)

◆セル罫線属性定義番号

- 表オブジェクトのセル罫線に適用される罫線属性を参照するために利用します。
- 表オブジェクトの1表ブロックで一意的識別番号を割り付けます。
- セル罫線属性定義番号の参照元要素
表オブジェクトの1表ブロックのセル罫線情報要素 (idCellLineAttrDef 属性)

固定表

あいう	かきく
さしす	たちつ



textman <テキスト管理>

textDef <テキスト定義> 1
あいう

textDef <テキスト定義> 2
かきく

textDef <テキスト定義> 3
さしす

textDef <テキスト定義> 4
たちつ

docPageObjectDef <n ページ目のオブジェクト定義>

objectDef <1つの固定表組オブジェクト定義>

tableAttr <表基本属性>
基本組方向やテキスト回り込み など

tableOneDef <1表組ブロックの定義>
表の全体の大きさや位置

cellAttrMan <セル属性の管理>

cellAttrDef
セル属性定義番号 1 2 3
-cellAttr
<セル属性> 文字 文字 文字

cellLineAttrMan <セル罫線属性の管理>

cellLineAttrDef
セル罫線属性定義番号 1 2 3
<セル罫線属性> 1 2 3

cellOneMan <セルの管理>

cellOneDef <セル定義>
セル番号 1 2 3 4
適用セル属性定義番号 1 2 1 3
適用テキスト管理番号 1 2 3 4
適用セルスタイル名
セル4点の座標 など

cellLine <セル罫線情報>
適用セル罫線属性定義番号
上下左右斜めのタイプ など
上線 1 左線 1
右線 2 下線 2

MC-Smart XML 仕様書 V1.30

67

◆要素 <cellAttr> 表組のセル属性

• XML サンプル

```
<cellAttrDef idCellAttrDef="1">
  <cellAttr bAbsHeightWidth="false" charSize="32500" height="1000" width="1000" nCharPitchType="beta"
    fontName="A-OTF リュウミン Pr6 L-KL" nameColor="ブラック" shadeColor="1000" angleSlant="0" angleRotate="0"
    nLineFeedType="line-feed" lineFeed="60000" nameCompMode="標準組版モード" bAutoAdjustText="false"
    nWritingDirection="horizontal" nJustification="head" nVertJustification="head" bSlantLineFront="true" marginTop="0"
    marginBottom="0" marginLeft="0" marginRight="0" bLockAutoSize="false" bLockInputText="false"/>
</cellAttrDef>
```

No.	属性名	属性値	省略	初期値	説明
1	bAbsHeightWidth	boolean	可	false	文字幅・文字高チェック true(文字幅・文字高), false(比率)
2	charSize	STAR	可	32500 (13Q)	文字基本サイズ bAbsHeightWidth が「false」の場合、有効
3	height	STAR PERCENT	可	32500(13Q) 1000	文字高サイズ 文字高比率
4	width	STAR PERCENT	可	32500(13Q) 1000	文字幅サイズ 文字幅比率
5	nCharPitchType	EnumValue	可	beta	字間タイプ。beta(ベタ), jiokuri(字送り)
6	charPitch	STAR	可	32500 (13Q)	字送り量 nCharPitchType が「jiokuri」の場合、有効
7	fontName	string	可	MS 明朝	書体名
8	nameColor	string	可	ブラック	文字カラー名
9	shadeColor	PERCENT	可	1000	文字カラー濃度
10	angleSlant	ANGLE	可	0	斜体角度
11	angleRotate	ANGLE	可	0	回転角度
12	nLineFeedType	EnumValue	可	line-feed	行間タイプ。line-feed(行送り), line-gap(行間)
13	lineFeed	STAR	可	0	行間(行送り)量
14	nameCompMode	string	可	標準組版 モード	組版モード名
15	bAutoAdjustText	boolean	可	false	文字自動変形チェック
16	maxTsumeAutoAdjustText	int	可	0	文字自動変形最大詰め量。0~999 の整数
17	rateMaxAutoAdjustText	PERCENT	可	500	文字自動変形最大変形率
18	minSizeAutoAdjustText	STAR	可	25500 (1Q)	文字自動変形最小サイズ
19	bTurnAutoAdjustText	boolean	可	false	文字自動変形折り返しチェック
20	nWritingDirection	EnumValue	可	本文による	基本組方向。horizontal(横組), vertical(縦組)
21	nJustification	EnumValue	可	head	文字の字詰め方向揃え。 head(最終行行頭揃え), center(最終行中央揃え), end(最終行行末揃え), justify(最終行均等揃え)
22	nVertJustification	EnumValue	可	head	行方向の配置。head(頭揃え), center(中央揃え), end(末揃え), justify(均等揃え)
23	bSlantLineFront	boolean	可	true	文字と斜線の表示順番 true(斜線上位), false(文字上位)
24	marginTop	STAR	可	0	天アキ量
25	marginBottom	STAR	可	0	地アキ量
26	marginLeft	STAR	可	0	左アキ量
27	marginRight	STAR	可	0	右アキ量
28	nPaintType	EnumValue	可	color	塗り、パターン種別 color(カラー), pattern(パターン)
29	namePaintColor	string	可	なし	塗りカラー(パターン)名
30	shadePaintColor	PERCENT	可	1000	塗りカラー(パターン)濃度

No.	属性名	属性値	省略	初期値	説明
31	bLockAutoSize	boolean	可	false	自動拡張禁止チェック。true (禁止), false (許可)
32	bLockInputText	boolean	可	false	文字禁止チェック。true (禁止), false (許可)

◆要素 <cellLineAttrMan> 表組のセル罫線属性管理

• XML サンプル

```
<tableOneDef>
  <cellLineAttrMan>
    <cellLineAttrDef idCellLineAttrDef="1"/>
  </cellLineAttrMan>
</tableOneDef>
```

No.	要素名	値	省略	説明
1	cellLineAttrDef		不可	表組のセル罫線属性定義

◆要素 <cellLineAttrDef> 表組のセル罫線属性定義

• XML サンプル

```
<cellLineAttrMan>
  <cellLineAttrDef idCellLineAttrDef="1" nameLine="実線" widthLine="1000" nameLineColor="ブラック" shadeLineColor="1000"
    nLineAlignment="center" nLineCap="round" bCrossStartLine="true" bCrossEndLine="true"/>
</cellLineAttrMan>
```

No.	属性名	属性値	省略	初期値	説明
1	idCellLineAttrDef	int	不可	—	セル罫線属性定義番号。1 以上の整数
2	nameLine	string	可	実線	線種名
3	widthLine	STAR	可	1000	線幅 (太さ)
4	nameLineColor	string	可	ブラック	罫線カラー名
5	shadeLineColor	PERCENT	可	1000	罫線カラー濃度
6	nLineAlignment	EnumValue	可	center	線幅の位置 center (中心), inside (内側), outside (外側)
7	nLineCap	EnumValue	可	flat	端点タイプ flat (平ら), round (丸), square (四角)
8	rTopLeftCorner	STAR	可	0	左上の角丸半径
9	rTopRightCorner	STAR	可	0	右上の角丸半径
10	rBottomRightCorner	STAR	可	0	右下の角丸半径
11	rBottomLeftCorner	STAR	可	0	左下の角丸半径
12	nTopLeftRoundType	EnumValue	可	none	左上の角丸タイプ none (なし), normal (丸 (外側)), reverse (丸 (内側)), slant (斜め), square (角)
13	nTopRightRoundType	EnumValue	可	none	右上の角丸タイプ none (なし), normal (丸 (外側)), reverse (丸 (内側)), slant (斜め), square (角)
14	nBottomRightRoundType	EnumValue	可	none	右下の角丸タイプ none (なし), normal (丸 (外側)), reverse (丸 (内側)), slant (斜め), square (角)
15	nBottomLeftRoundType	EnumValue	可	none	左下の角丸タイプ none (なし), normal (丸 (外側)), reverse (丸 (内側)), slant (斜め), square (角)
16	bCrossStartLine	boolean	可	true	横罫線：左端／縦罫線：上端 true (表示), false (非表示)
17	bCrossEndLine	boolean	可	true	横罫線：右端／縦罫線：下端 true (表示), false (非表示)

◆要素 <cellOneMan> 表組のセル管理

• XML サンプル<tableOneDef>

```
<cellOneMan>
  <cellOneDef idCellNumber="1" ~/>
</cellOneMan>
</tableOneDef>
```

No.	要素名	値	省略	説明
1	cellOneDef		不可	表組のセル野線属性定義

◆要素 <cellOneDef> 表組のセル野線属性定義

• XML サンプル

```
<cellOneMan>
  <cellOneDef idCellNumber="1" posTopLeftX="0" posTopLeftY="0" posBottomRightX="200000" posBottomRightY="200000"
    idCellAttrDef="1" idText="2" bLockColSize="false" bLockRowSize="false" minSizeRow="200000">
    <cellLine ~/>
  </cellOneDef>
</cellOneMan>
```

No.	属性名	属性値	省略	初期値	説明
1	idCellNumber	int	不可	—	セル番号。1 以上の整数
2	posTopLeftX	STAR	不可	—	セル左上横座標 (tableOneDef 左上から相対座標)
3	posTopLeftY	STAR	不可	—	セル左上縦座標 (tableOneDef 左上からの相対座標)
4	posBottomRightX	STAR	不可	—	セル右下横座標 (tableOneDef 左上から相対座標)
5	posBottomRightY	STAR	不可	—	セル右下縦座標 (tableOneDef 左上から相対座標)
6	idCellAttrDef	int	可	—	適用セル属性定義番号。1 以上の整数
7	idText	int	不可	—	適用テキスト管理番号
8	nameCellStyle	string	可	なし	適用されているセルスタイル名
9	bLockColSize	boolean	可	false	列サイズ変更禁止 true (禁止), false (許可)
10	bLockRowSize	boolean	可	false	行サイズ変更禁止 true (禁止), false (許可)
11	minSizeRow	STAR	可	—	行方向へ自動的に伸縮できる最小サイズ XML エクスポートのみ使用

No.	要素名	値	省略	説明
1	cellLine		可	セルの野線情報。上下左右、斜線の情報。

idCellAttrDef と nameCellStyle との関係

- nameCellStyle 属性でセルスタイル名を指定した場合、
idCellAttrDef 属性の指定に関係なく、指定されたセルスタイルが適用されます。ただし、セルスタイルはインポートされな
いため、インポートする MC-Smart 文書で定義されているセルスタイルが適用されます。同名のセルスタイルが定義されて
いない場合、idCellAttrDef 属性で指定された「セル属性定義番号」で定義された属性となります。
- nameCellStyle 属性でセルスタイル名を指定せず、idCellAttrDef 属性を指定した場合、
idCellAttrDef 属性で指定された「セル属性定義番号」で定義された属性となります。
- nameCellStyle 属性も idCellAttrDef 属性も指定しない場合、
すべて初期値のセル設定となります。

◆要素 <cellLine> セルの罫線情報

• XML サンプル

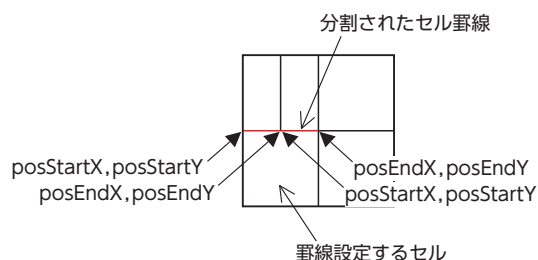
```

<cellOneDef ~>
  <cellLine idCellLineAttrDef="1" nLinePosType="top"/>
  <cellLine idCellLineAttrDef="1" nLinePosType="left"/>
</cellOneDef>

```

No.	属性名	属性値	省略	初期値	説明
1	idCellLineAttrDef	int	可	—	適用セル罫線属性定義番号。1以上の整数 省略時、セル罫線属性はすべて初期値で生成する
2	nLinePosType	EnumValue	不可	—	罫線位置タイプ top(上線), left(左線), right(右線), bottom(下線), slash(右上がり線), back-slash(右下がり線) 重複指定した場合は、先優先
3	posStartX	STAR	可	セル座標	開始横座標 セル罫線が分割されている場合のみ
4	posStartY	STAR	可	セル座標	開始縦座標 セル罫線が分割されている場合のみ
5	posEndX	STAR	可	セル座標	終了横座標 セル罫線が分割されている場合のみ
6	posEndY	STAR	可	セル座標	終了縦座標 セル罫線が分割されている場合のみ

【例】セル罫線が分割されている場合



• XML サンプル

```

<cellOneDef ~>
  <cellLine idCellLineAttrDef="1" nLinePosType="top" posStartX="0" posStartY="200000" posEndX="100000" posEndY="200000"/>
  <cellLine idCellLineAttrDef="1" nLinePosType="top" posStartX="100000" posStartY="200000" posEndX="200000"
posEndY="200000"/>
  <cellLine idCellLineAttrDef="1" nLinePosType="left"/>
  <cellLine idCellLineAttrDef="1" nLinePosType="right"/>
  <cellLine idCellLineAttrDef="1" nLinePosType="bottom"/>
</cellOneDef>

```

4 テキスト

2-4-1 テキスト管理

▶ 要素 <textMan>

- XML サンプル

```
<textMan>
  <textDef idText="1" nameSection="S1">
    <mclParag class="標準" type="normal" level="0" ref-flg="true">
      <mcl class="glyph-form" type="end"/>あいうえお
      <mcl class="j" nameColor="赤" shadeColor="100%">かきくけこ</mcl>
    </mclParag>
  </textDef>
</textMan>
```

No.	要素名	値	省略	説明
1	textDef		不可	テキスト定義

◆ 要素 <textDef> テキスト定義

No.	属性名	属性値	省略	説明
1	idText	int	不可	テキスト管理番号。1以上の整数
2	nameSection	string	－	適用セクション名。本文テキストの場合のみ、指定
3	nameObject	string	－	適用オブジェクト名 テキストボックス、固定表、浮動表、線組のテキストの場合のみ、指定。表の場合、各セルのオブジェクト名を記述します

No.	要素名	値	省略	説明
1	mclParag	string	可	MCL テキスト段落

◆テキスト管理番号

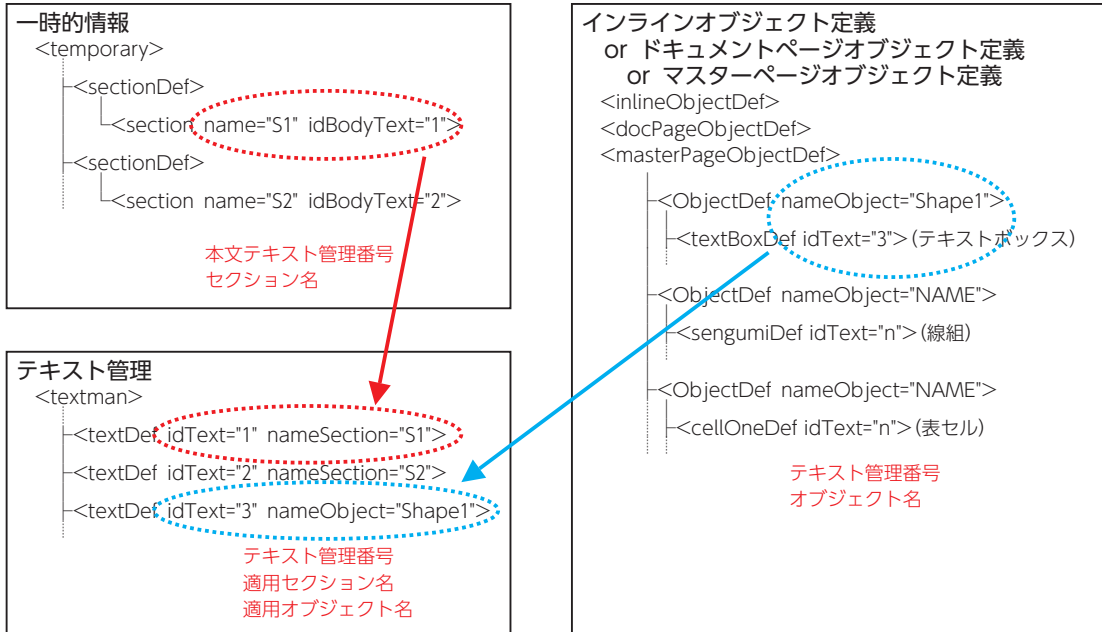
- テキストの内容と表示領域を関連付けるために利用します。
- 文書で一意的識別番号を割り付けます。
- テキスト管理番号の参照元要素

[ページ構成] セクション要素 (idBodyText 属性)

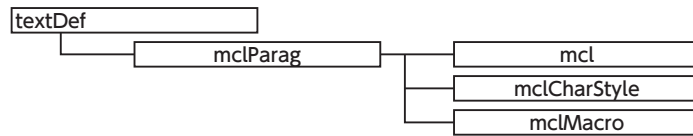
[オブジェクトリスト] テキストボックス定義要素 (idText 属性)

[オブジェクトリスト] 線組定義要素 (idText 属性)

[オブジェクトリスト] 表オブジェクトの 1 セル定義要素 (idText 属性)



2-4-2 段落



▶ 段落、段落スタイルの指定

• MC-Smart サンプル

<"段落スタイル名">あいうえお

• XML サンプル

```

<mclParag class="段落スタイル名" type="normal" level="0" ref-flg="false">
  <mcl class="glyph-form" type="end"/>
  あいうえお
</mclParag>

```

◆ 親要素 <textDef>

◆ 要素 <mclParag> 段落

MC-Smart の本文テキストでは段落スタイルの指定を省略した場合、MC-Smart の仕様に従って前段落の段落スタイル参照するなどして、何らかの段落スタイルが適用されます。

XML エクスポートでは、MC-Smart の参照仕様に関係なく XML データを解析できるように、適用される段落スタイル名を class 属性に設定し、ref-flg 属性を true に設定します。

XML インポートでは、ref-flg 属性が true の場合は、段落スタイルの指定を削除して省略状態でテキストをインポートします。

No.2~5 の属性は、XML データ加工するための参考とするものです。XML エクスポートでは無視され、適用される段落スタイルの定義内容に従います。

No.	属性名	属性値	省略	初期値	説明
1	class	string	不可	—	適用段落スタイル名
2	type	EnumValue	—	—	段落スタイルの種類 normal(通常), continue(継続), head(見出し), head-dogyo(同行見出し), head-dannuki(段抜き見出し), kogumi(小組), kogumi-end(小組終了), table(表開始), table-row-h(表ヘッダー行), table-row(表行), table-cell(こま), kumikae(組替え), kumikae-end(組替え終了), kumikae-break(組替え区切り), comment(コメント)
3	level	int	—	—	階層レベル。0~9 の整数。
4	numJoinCol	int	—	—	字詰方向のこま合成数。1 以上の整数 こま合成を設定したこまスタイルを使用している場合、出力されます。
5	numJoinRow	int	—	—	行方向のこま合成数。1 以上の整数 こま合成を設定したこまスタイルを使用している場合、出力されます。
6	ref-flg	boolean	可	true	参照フラグ。true(参照する)、false(段落スタイルが指定されているので、参照しない)

No.	要素名	値	省略	説明
1	mclCharStyle	string	—	文字スタイルを指定したテキスト。複数使用可
2	mclMacro	string	—	マクロスタイルを指定したテキスト 複数使用可
3	mcl	string もしくは空要素	—	MCL コマンドを指定したテキスト、または文字属性指定 複数使用可

mclParag 要素の内容

段落内容のテキスト文字列と、スタイル指定、文字属性指定、MCL コマンドの XML 要素を記述できます。ただし、コメント段落スタイルが適用されている場合、段落内容はすべて CDATA セクションで記述します。
要素内容中の子要素は順不同であり、必要な数だけ必要とする箇所に記述できます。必要がなければ記述しません。

2-4-3 文字スタイル

▶ 文字スタイルの指定

- MC-Smart サンプル
 <S 文字スタイル名>あいうえお</S>
- XML サンプル
 <mclCharStyle class="文字スタイル名">あいうえお</mclCharStyle>

◆ 要素 <mclCharStyle> 文字スタイル

No.	属性名	属性値	省略	説明
1	class	string	不可	スタイル名

2-4-4 マクロスタイル

▶ マクロスタイルの指定

```
<mclMacro class="マクロ名" content="マクロ展開情報">~</mclMacro>
```

• MC-Smart サンプル

テキスト：文字色を<M カラー 引数="青">マクロスタイル</J>で指定する。

```
マクロスタイル：MACRO カラー(引数="ブラック"){
    <J color="@ 引数;",100%>
}
```

• XML サンプル

文字色を

```
<mclMacro class="カラー" content="start">
  <macroArg name="引数">
    <mcl class="glyph-form" type="end"/>
    青
  </macroArg>
</mclMacro>
<mcl class="j" nameColor="青" shadeColor="100%">
  <mclMacro class="カラー" content="end"/>
  マクロスタイル
</mcl>
で指定する。
```

◆要素 <mclMacro> マクロスタイル

No.	属性名	属性値	省略	説明
1	class	string	不可	マクロスタイル名
2	content	EnumValue	不可	マクロスタイル展開情報 none(マクロ展開なし), start(マクロ展開あり、開始), end(マクロ展開終了)

No.	要素名	値	省略	説明
1	macroArg	string	可	マクロスタイル引数

マクロスタイル展開情報

XML エクスポートでは、XML データの二次利用を簡易にするため、マクロ定義を参照しなくても解釈できるように、マクロスタイル要素に定義内容も付加(展開)して出力しています。次のように展開します。

- content 属性が start と end の mclMacro 要素を、展開範囲の前後に挿入します。

XML インポートでは、このように展開する必要はありません。データ中に展開情報がある場合には、content 属性が start または none 指定のマクロスタイル名と引数のみ取り込みます。

◆要素 <macroArg> マクロスタイル引数

```
<macroArg name="引数名">~</macroArg>
```

No.	属性名	属性値	省略	説明
1	name	string	不可	マクロスタイル引数名

2-4-5 文字

ユーザズガイド「7-2-6 文字の属性変換」を参照してください。

◆文字属性

•XML サンプル

```
<mclParag class="標準" type="normal" level="0" ref_flg="true">
  <mcl class="glyph-form" type="ital"/>
  italic
  <mcl class="glyph-form" type="end"/>
  <mcl class="glyph-form" type="twid"/>
  123
</mclParag>
```

No.	属性名	属性値	省略	説明
1	class	EnumValue	不可	テキスト。glyph-form
2	type	EnumValue	不可	文字属性の種類 fwid (全角幅, ￥_f), hwid (半角幅, ￥_h), ital (イタリック, ￥_i), pwid (プロポーショナル, ￥_p), twid (3 分幅, ￥_t), qwid (4 分幅, ￥_q), vert (縦組字形, ￥_v), vrt2 (縦組回転字形, ￥_w), zero (ゼロスラッシュ, ￥_z), symbol (シンボル字形, ￥_s), end (属性解除, ￥/)

◆ユニコード

•XML サンプル

```
<mcl class="unicode" type="utf32" code="00000025"/>
```

No.	属性名	属性値	省略	説明
1	class	EnumValue	不可	ユニコード。unicode
2	type	EnumValue	不可	utf32
3	code	string	不可	16 進数 8 桁のユニコード

◆CID 外字

•XML サンプル

```
<mcl class="cid" num="00006"/>
```

No.	属性名	属性値	省略	説明
1	class	EnumValue	不可	CID 外字。cid
2	num	int	不可	10 進数 5 桁の CID 番号

◆MDS 外字

•XML サンプル

```
<mcl class="mdsgaiji" code="6002633"/>
```

No.	属性名	属性値	省略	説明
1	class	EnumValue	不可	MDS 外字。mdsgaiji
2	code	string	不可	10 進数 7 桁の MDS 外字コード

◆ベル改行

• XML サンプル

```
<mcl class="bellkg"/>
```

No.	属性名	属性値	省略	説明
1	class	EnumValue	不可	ベル改行。bellkg

◆数式文字

• XML サンプル

```
<mcl class="math-char" type="mls">~</mcl>
```

No.	属性名	属性値	省略	説明
1	class	EnumValue	不可	標準数式文字。math-char
2	type	EnumValue	不可	mls (数式 Light, ￥_mls), mli (数式イタリック Light, ￥_mli), mrs (数式 Regular, ￥_mrs), mri (数式イタリック Regular, ￥_mri), mbs (数式 Bold, ￥_mbs), mbi (数式イタリック Bold, ￥_mbi), mgrs (数式 G Regular, ￥_mgrs), mgri (数式イタリック G Regular, ￥_mgri), mgbs (数式 G Bold, ￥_mgbs), mgbi (数式イタリック G Bold, ￥_mgbi)

◆Type1 互換数式文字

• XML サンプル

```
<mcl class="math-char" type="m0">~</mcl>
```

No.	属性名	属性値	省略	説明
1	class	EnumValue	不可	数式文字。math-char
2	type	EnumValue	不可	m0 (ローマン, ￥_m0), m1 (イタリック, ￥_m1), m2 (ボールド, ￥_m2), m3 (ボールドイタリック, ￥_m3), m4 (シンボル, ￥_m4), mA (文字, ￥_mA), mB (記号, ￥_mB), mC (約物, ￥_mC), mD (アクセント, ￥_mD)

▶ その他の文字

種類	XML サンプル
ルビ文字	親文字<rt>ルビ</rt>
欧文スペース	<sp/>
タブ文字	<tab/>
山形括弧(開く)	￥<
山形括弧(閉じる)	￥>

欧文スペース、タブ文字

XML インポート時に、段落内で使用しているスペース文字 (U+0020)、タブ文字 (U+0009) が欠落する場合があるため、sp 要素、tab 要素に置き換えてください。

2-4-6 MCL コマンド

ユーザズガイド「8-2 MCL コマンド」を参照してください。

MCL コマンド要素の属性の省略について

class 属性は省略不可です。

その他の属性を省略した場合は、XML インポートした結果も省略したままです。各属性の説明で「省略した場合」を説明している場合は、MC-Smart の組版仕様にあたります。

MCL コマンド要素の属性の順序について

XML エクスポートでは、最初に class 属性(コマンドの種類)を出力し、コマンドパラメータをテキストの記述順に出力します。XML インポートでパラメータ情報を読み込みテキストに変換するとき、エクスポート時のコマンドパラメータの記述と異なる順で読み込む場合があり、コマンドパラメータの順番が変わることがあります。

◆文字設定コマンド class="j"

• MCL コマンドサンプル

```
<J f="A-OTF UD 新ゴ Pro L" size=20Q h=80% w=120% jkr=BETA emjkr=100 color="ブラック",100% slnt=10do rot=30do  
posi=BASE>あいうえお</J>
```

• XML サンプル

```
<mcl class="j" fontName="A-OTF UD 新ゴ Pro L" charSize="20Q" height="80%" width="120%" nCharPitchType="beta"  
emPitch="100" nameColor="ブラック" shadeColor="100%" angleSlant="10do" angleRotate="30do" nBaseLine="baseline">あいう  
えお</mcl>
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。j
2	bHonbun	boolean	すべてを本文属性にするチェック
3	fontName	string	書体名。または、body-text (本文属性)
4	charSize	STRNUM	文字サイズ
5	height	STRNUM	文字高
6	width	STRNUM	文字幅
7	nCharPitchType	EnumValue	字間タイプ。beta (ベタ), jiokuri (字送り), current (現在の値)
8	charPitch	STRNUM	字送り量。字送りタイプが「jiokuri」の場合、省略不可
9	emPitch	int	字間 (EM 比) 量。-500~500 の整数値
10	nameColor	string	文字カラー名。No.10~11 のグループで省略可
11	shadeColor	STRPER	文字カラー濃度
12	angleSlant	STRANGLE	斜体角度
13	angleRotate	STRANGLE	回転角度
14	nBaseLine	EnumValue	基準点。top (上), center (中), baseline (ベースライン), bottom (下)
15	bOutline	boolean	袋文字チェック
16	nameColorOutline	string	袋文字のカラー名。袋文字が「true」の場合、省略不可
17	shadeColorOutline	STRPER	袋文字のカラー濃度。袋文字が「true」の場合、省略不可
18	widthOutline	STRNUM	袋文字の幅。袋文字が「true」の場合、省略不可
19	nShadowType	EnumValue	影文字。none (なし), shadow (影), solid (立体)
20	nameColorShadow	string	影文字のカラー名。影文字が「shadow」「solid」の場合、省略不可
21	shadeColorShadow	STRPER	影文字のカラー濃度。影文字が「shadow」「solid」の場合、省略不可
22	lengthShadow	STRNUM	影文字の距離。影文字が「shadow」「solid」の場合、省略不可
23	angleShadow	STRANGLE	影文字の角度。影文字が「shadow」「solid」の場合、省略不可
24	bTsumeOtf	boolean	OpenType の情報で詰めをするチェック

No.	属性名	属性値	説明
25	bTsumeFace	boolean	字面詰めをするチェック
26	tsume	STRPER	字面詰め量。字面詰めをするが「true」の場合、省略不可
27	bFullWidthKana	boolean	全角かな詰めチェック
28	bFullWidthAlphanum	boolean	全角英数字詰めチェック
29	nFullWidthPunc	EnumValue	全角約物処理。none(なし), hwid(2分), hqwid(2分4分(¾幅)), pwid(プロポーショナル)
30	nameTsumeMoji	string	詰め文字設定名

◆行設定コマンド class="g"

• MCL コマンドサンプル

```
<G honbun l=30Q ind_l=1ji ind_r=1ji ind_s=3ji ind_h=2ji jst=QL ind_tl=1 ind_tr=1 mode="標準組版モード">あいえお</G>
```

• XML サンプル

```
<mcl class="g" bHonbun="true" indentLineStart="1ji" indentLineEnd="1ji" indentTopLine="3ji" indentMondo="2ji"
indentPosLineStart="1" indentPosLineEnd="1" nJustification="head" nameCompMode="標準組版モード"
nLineFeedType="line-feed" lineFeed="30Q">あいえお</mcl>
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。g
2	bHonbun	boolean	すべてを本文属性にするチェック
3	indentLineStart	STRNUM	インデント左／上
4	indentLineEnd	STRNUM	インデント右／下
5	indentTopLine	STRNUM	インデント先頭行
6	indentMondo	STRNUM	インデント間隔
7	indentPosLineStart	int	位置指定字下げ。0～10 までの整数、0 は指定解除
8	indentPosLineEnd	int	位置指定字上げ。0～10 までの整数、0 は指定解除
9	nJustification	EnumValue	文字の揃え。head(行頭揃え), center(中心揃え), end(行末揃え), justify(均等揃え)
10	nameCompMode	string	組版モード名。または、body-text(本文属性)
11	nLineFeedType	EnumValue	行間タイプ line-feed(行送り), line-gap(行間), line-gap-eject(段末追い出し)
12	lineFeed	STRNUM	行間(行送り)量。行間タイプが「省略なし」の場合、省略不可

◆原点命令コマンド class="posi"

• MCL コマンドサンプル

```
<POSI no=1 mode=PRE>
```

• XML サンプル

```
<mcl class="posi" nPosNo="1" nMode="front"/>
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。posi
2	nPosNo	int	原点命令予約 No.。1～10 の整数値
3	nMode	EnumValue	前／後付モード。front(前付), back(後付)

◆タブ属性コマンド class="tab"

• MCL コマンドサンプル

```
<TAB unit=J><TL jst=QL posi=10 line="実線",0.1mm,"ブラック",100%><TL jst=RPERIOD posi=20><TL jst="a" posi=30>
</TAB>
```

• XML サンプル

```
<mcl class="tab" nType="ji">
  <mcl class="tablist" nTabNo="10"nAlign="left" nameLine="実線" widthLine="0.1mm" nameLineColor="ブラック"
  shadeLineColor="100%"/>
  <mcl class="tablist" nAlign="roman-period" nTabNo="20"/>
  <mcl class="tablist" nAlign="ji" character="a" nTabNo="30"/>
</mcl>
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。tab
2	nType	EnumValue	タブ単位。manual(字), point(ポイント), q(級数), mm(ミリメートル), inch(インチ), ji(字数) 省略不可
3	charSize	STRNUM	文字サイズ。nType が「manual」の場合、省略不可

◆タブリストコマンド class="tablist"

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。tablist
2	nTabNo	STRNUM	タブ位置。実数値。タブ属性コマンドの属性 nType が「manual」「ji」以外の場合は、nType で設定した単位をつけて指定。 省略不可
3	nAlign	EnumValue	タブの配置(揃え) left(左/上揃え), center(中揃え), right(右/下揃え), ji(任意文字揃え), roman-period(ピリオド,ローマン), italic-period(ピリオド,イタリック), hwid-period(ピリオド,半角), twid-period(ピリオド,3分), qwid-period(ピリオド,4分), roman-comma(カンマ,ローマン), italic-comma(カンマ,イタリック), hwid-comma(カンマ,半角), twid-comma(カンマ,3分), qwid-comma(カンマ,4分), roman-equal(イコール,ローマン), italic-equal(イコール,イタリック), hwid-equal(イコール,半角), twid-equal(イコール,3分), qwid-equal(イコール,4分) 省略不可
4	character	string	タブ揃え文字。1文字。nAlign が「ji」の場合のみ指定
5	nameLine	string	野線名。No.5~8のグループで省略可
6	widthLine	STRNUM	線幅、または飾り野線のサイズ
7	nameLineColor	string	野線カラー名
8	shadeLineColor	STRPER	野線カラー濃度
9	nCharLineType	EnumValue	文字野の種類。dash(ミシン野), wave(ブル野), dot(リーダー野), half-dot(2分リーダー野)。No.9~12のグループで省略可
10	charSize	STRNUM	文字野のサイズ
11	nameCharLineColor	string	文字野のカラー名
12	shadeCharLineColor	STRPER	文字野のカラー濃度

補足 線、文字野タイプのどれかを指定してください。

◆アンダーラインコマンド

• MCL コマンドサンプル

```
<UL2 aki=1Q line="実線",0.1mm,"ブラック",100%>アンダーライン</UL2>
```

```
<UL2 aki=1Q type=MIS,"ブラック",100%>アンダーライン(文字罫)</UL2>
```

```
<ULM aki=1Q line="実線",0.1mm,"ブラック",100% paint=COLOR r=5mm allr=Y join=Y>アンダーライン(罫巻き)</ULM>
```

• XML サンプル

```
<mcl class="ul2" space="1Q" nameLine="実線" widthLine="0.1mm" nameLineColor="ブラック" shadeLineColor="100%">アンダーライン</mcl>
```

```
<mcl class="ul2" space="1Q" nCharLineType="dash" nameCharLineColor="ブラック" shadeCharLineColor="100%">アンダーライン(文字罫)</mcl>
```

```
<mcl class="ulm" space="1Q" nameLine="実線" widthLine="0.1mm" nameLineColor="ブラック" shadeLineColor="100%" bSameTopLeftRadius="true" rTopLeftCorner="5mm" bJoin="true" bAllRound="true" nPaintType="color">アンダーライン(罫巻き)</mcl>
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類 ul1 (上線), ul2 (下線), ul3 (中心線), ul4 (ベース線), ul5 (上下線), ulm (罫巻き)
2	space	STRNUM	文字と罫の間隔
3	nameLine	string	線種名。No.3～6 のグループで省略可
4	widthLine	STRNUM	線幅、または飾り罫線のサイズ
5	nameLineColor	string	線カラー名
6	shadeLineColor	STRPER	線カラー濃度
7	nCharLineType	EnumValue	文字罫の種類。dash (ミシン罫), wave (ブル罫), dot (リーダー罫), half-dot (2 分リーダー罫) nameLine が「省略」の場合、省略不可 No.7～9 のグループで省略可
8	nameCharLineColor	string	文字罫のカラー名
9	shadeCharLineColor	STRPER	文字罫のカラー濃度
10	charSize	STRNUM	文字罫の文字サイズ
11	bSameTopLeftRadius	boolean	角丸の一括指定チェック
12	rTopLeftCorner	STRNUM	角丸半径、左上 No.12～15 をグループで省略すると、角丸なし
13	rTopRightCorner	STRNUM	角丸半径、右上
14	rBottomRightCorner	STRNUM	角丸半径、右下
15	rBottomLeftCorner	STRNUM	角丸半径、左下
16	bJoin	boolean	行をまたがる罫巻を閉じるチェック
17	bAllRound	boolean	行端に角丸をつけるチェック No.12～15 のいずれかが「省略なし」の場合、有効
18	nPaintType	EnumValue	塗り、パターン種別。color (カラー), pattern (パターン)
19	namePaintColor	string	塗りカラー (パターン) 名。No.19～20 のグループで省略可
20	shadePaintColor	STRPER	塗りカラー (パターン) 濃度

- 補足** • 線、文字罫タイプのどちらかを指定してください。
• 文字罫タイプを指定した場合に、文字罫文字サイズが使用できます。

◆ インデックスコマンド

• MCL コマンドサンプル

```
X<IDX1 up=10Q>2</IDX1>
```

• XML サンプル

```
X<mcl class="idx1" upValue="10Q">2</mcl>
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類 idx1 (インデックス), idx2 (インデックス・インデックス), idx3 (インデックス・サフィックス), didx (上付き表示), sfx1 (サフィックス), sfx2 (サフィックス・インデックス), sfx3 (サフィックス・サフィックス)
2	upValue	STRNUM	アップ量

補足 上記以外のパラメータは文字設定と同じです。

◆ 罫巻コマンド class ="maki"

• MCL コマンドサンプル

```
<MAKI jaki=10Q gaki=10Q line="実線",0.1mm,"ブラック",100% paint=COLOR r=5mm>罫巻</MAKI>
```

• XML サンプル

```
<mcl class="maki" spaceCharDir="10Q" spaceLineDir="10Q" nameLine="実線" widthLine="0.1mm" nameLineColor="ブラック"
shadeLineColor="100%" nPaintType="color" bSameTopLeftRadius="true" rTopLeftCorner="5mm">罫巻</mcl>
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。maki
2	spaceCharDir	STRNUM	文字との間隔 字詰方向
3	spaceLineDir	STRNUM	文字との間隔 行方向
4	nameLine	string	線種名。No.4～7 のグループで省略可
5	widthLine	STRNUM	線幅、または飾り罫線のサイズ
6	nameLineColor	string	線カラー名
7	shadeLineColor	STRPER	線カラー濃度
8	nPaintType	EnumValue	塗り、パターン種別。color (カラー), pattern (パターン)
9	namePaintColor	string	塗りカラー (パターン) 名。No.9～10 のグループで省略可
10	shadePaintColor	STRPER	塗りカラー (パターン) 濃度
11	bSameTopLeftRadius	boolean	角丸の一括指定チェック
12	rTopLeftCorner	STRNUM	角丸半径、左上 No.12～15 をグループで省略すると、角丸なし
13	rTopRightCorner	STRNUM	角丸半径、右上
14	rBottomRightCorner	STRNUM	角丸半径、右下
15	rBottomLeftCorner	STRNUM	角丸半径、左下

補足 上記以外のパラメータは文字設定と同じです。

◆縦中横コマンド class="tayo"

• MCL コマンドサンプル

```
<TAYO aki=10Q>縦中横</TAYO>
```

• XML サンプル

```
<mcl class="tayo" space="10Q">縦中横</mcl>
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。tayo
2	space	STRNUM	文字間のアキ

補足 上記以外のパラメータは文字設定と同じです。

◆割注コマンド class="wari"

• MCL コマンドサンプル

```
<WARI par=0 l=0>割注</WARI>
```

• XML サンプル

```
<mcl class="wari" nParenType="round" lineGap="0">割注</mcl>
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。wari
2	nParenType	EnumValue	パーレンの種類。none(なし), round((), パーレン), brace({}), ブレース, tortoise([], 亀甲括弧)
3	lineGap	STRNUM EnumValue	行間指定 数値入力, または、0(ベタ), 1/4moji(4 分アキ), 1/3moji(3 分アキ), 1/2moji(2 分アキ), 3/4moji(2 分 4 分アキ)

補足 上記以外のパラメータは文字設定と同じです。

◆割り込み枠コマンド class="wrfrm"

• MCL コマンドサンプル

```
<WRFRM kumi=V mes=50mm base=HAN post=PR jjst=CENTER jpos=10Q gjst=CENTER gpos=10Q>あいうえお</WRFRM>
```

• XML サンプル

```
<mcl class="wrfrm" nWritingDirection="vertical" length="50mm" nBaseType="hanmen" nPosType="end-right"
nPosCharDir="center" posCharDir="10Q" nPosLineDir="center" posLineDir="10Q">あいうえお</mcl>
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。wrfrm
2	nWritingDirection	EnumValue	組方向。horizontal(横組), vertical(縦組)
3	length	STRNUM	行長
4	nBaseType	EnumValue	基点の基準。position(位置), hanmen(版面), inline(インライン)
5	nPosType	EnumValue	基点の配置。head-left(行頭、左側), end-right(行末、右側), outside(外側), inside(内側), current(現在の位置)
6	nPosCharDir	EnumValue	字詰方向の基点に対する枠の揃え top(頭揃え), center(中央揃え), bottom(末揃え)
7	posCharDir	STRNUM	字詰方向の位置調整
8	nPosLineDir	EnumValue	行方向の基点に対する枠の揃え top(頭揃え), center(中央揃え), bottom(末揃え)
9	posLineDir	STRNUM	行方向の位置調整

補足 上記以外のパラメータは文字設定、行設定と同じです。

◆くいこみ数字コマンド class ="kks"

• MCL コマンドサンプル

```
<KKS f="MOKuikomi FigA">12345</KKS>
```

• XML サンプル

```
<mcl class="kks" fontName="MOKuikomi FigA">12345</mcl>
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。kks
2	bHonbun	bool 値	すべてを本文属性にするチェック
3	fontName	string	書体名、または body-text (本文属性)
4	charSize	STRNUM	文字サイズ、または body-text (本文属性)
5	height	STRNUM	文字高
6	width	STRNUM	文字幅
7	nameColor	文字列	カラー名。No.7～8 のグループで省略可
8	shadeColor	STRPER	カラー濃度
9	nBaseLine	EnumValue	基準点 top (上), center (中), baseline (ベースライン), bottom (下)

◆組方向指定コマンド class ="kumi"

• MCL コマンドサンプル

```
<KUMI>組方向指定</KUMI>
```

• XML サンプル

```
<mcl class="kumi">組方向指定</mcl>
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。kumi

◆延ばし禁止コマンド class ="xnbs"

• MCL コマンドサンプル

```
<XNBS>延ばし禁止</XNBS>
```

• XML サンプル

```
<mcl class="xnbs">延ばし禁止</mcl>
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。xnbs

◆注釈コマンド class ="note"

• MCL コマンドサンプル

```
<NOTE no=1 jpos=10mm gpos=10mm>注釈文字列</NOTE>
```

• XML サンプル

```
<mcl class="note" numStart="1" posCharDir="10mm" posLineDir="10mm" id="1">注釈文字列</mcl>
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。note
2	bldMarkAuto	boolean	合印を自動発生するチェック。省略時：true
3	numStart	int	開始番号。1～999 の整数値
4	bNoteAuto	boolean	脚注を自動発生するチェック。省略時：true
5	posCharDir	STRNUM	字詰方向の配置
6	posLineDir	STRNUM	行方向の配置

◆柱コマンド class ="hsr[n]"

• MCL コマンドサンプル

```
<HSR1>柱文字列</HSR1>
```

• XML サンプル

```
<mcl class="hsr1">柱文字列</mcl>
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。hsr[n] (n : 1~20 の整数)

◆グループルビ 親文字コマンド class ="ruby"

• MCL コマンドサンプル

```
<RUB>グループ<RUB2 mode=JIS aki=10Q kinsoku=Y>るび</RUB>
```

• XML サンプル

```
<mcl class="ruby">
```

```
  グループ<mcl class="ruby2" nRubyType="jis" space="10Q" bKinsoku="true"/>るび
```

```
</mcl>
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。ruby
2	bHonbun	boolean	すべてを本文属性にするチェック
3	fontName	string	書体名、または body-text (本文属性)
4	charSize	STRNUM	文字サイズ、または body-text (本文属性)
5	height	STRNUM	文字高
6	width	STRNUM	文字幅
7	nameColor	string	カラー名。No.7~8 のグループで省略可
8	shadeColor	STRPER	カラー濃度

◆グループルビ 区切りコマンド class ="ruby2"

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。ruby2
2	bHonbun	boolean	すべてを本文属性にするチェック
3	fontName	string	書体名、または body-text (本文属性)
4	charSize	STRNUM	文字サイズ、または body-text (本文属性)
5	height	STRNUM	文字高
6	width	STRNUM	文字幅
7	nameColor	string	カラー名。No.7~8 のグループで省略可
8	shadeColor	STRPER	カラー濃度
9	nRubyType	EnumValue	ルビ種類。kintou (均等ルビ), group (グループルビ), manual (手動ルビ), center (中心付ルビ), jis (JIS ルール)
10	space	STRNUM	親文字との間隔
11	bKinsoku	boolean	ルビ文字間禁則処理チェック

◆ 熟語ルビコマンド class="jkg"

- MCL コマンドサンプル

```
<JKG>熟じゆく語ご</JKG>
```

- XML サンプル

```
<mcl class="jkg">
  熟<rt>じゆく</rt>語<rt>ご</rt>
</mcl>
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。jkg

◆ 下付きルビモード class="urub"

- MCL コマンドサンプル

```
<URUB>下付きルビ</URUB>
```

- XML サンプル

```
<mcl class="urub">下付きルビ</mcl>
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。urub

◆ 圏点コマンド class="textEmphasis"

- MCL コマンドサンプル

```
<KTN kind=2 pos=AFTER jpos=5Q gpos=5Q>あいうえお</KTN>
```

- XML サンプル

```
<mcl class="textEmphasis" nKentenKind="small-black-circle" nPosition="after" posCharDir="5Q" posLineDir="5Q">あいうえお</mcl>
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。textEmphasis
2	bHonbun	boolean	すべてを本文属性にするチェック
3	fontName	string	書体名、または body-text (本文属性)
4	charSize	STRNUM	サイズ、または body-text (本文属性)
5	height	STRNUM	文字高
6	width	STRNUM	文字幅
7	nameColor	string	文字カラー名。No.12~13 のグループで省略可
8	shadeColor	STRPER	文字カラー濃度
9	nKentenKind	EnumValue	圏点の種類 sesame (ゴマ), white-sesame (白ゴマ), black-circle (黒丸), white-circle (白丸), black-triangle (黒三角), white-triangle (三角), bullseye (蛇の目), double-circle (二重丸), small-black-circle (ビュレット), small-white-circle (白ビュレット)
10	nCharSet	EnumValue	圏点に使用する文字 直接入力の場合は、任意の一文字, ユニコード指定の場合は、U+8 桁以内の 16 進数ユニコード, CID 指定の場合は、CID+5 桁以内の 10 進数 CID 番号
11	nPosition	EnumValue	位置。before (上/右), after (下/左)
12	posCharDir	STRNUM	字詰方向位置調整
13	posLineDir	STRNUM	行方向位置調整

◆文字合成コマンド class="gou"、class="gou2"

• MCL コマンドサンプル

```
<GOU up=10Q>○<GOU2 up=10Q>合</GOU>
```

• XML サンプル

```
<mcl class="gou" upValue="10Q">
  ○<mcl class="gou2" upValue="10Q"/>合
</mcl>
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。gou, gou2
2	upValue	STRNUM	アップ量

◆振り分けコマンド class="furi"、class="furi2"

• MCL コマンドサンプル

```
<FURI pos=TOP mes=20mm>振り分け1<FURI2>振り分け2</FURI>
```

• XML サンプル

```
<mcl class="furi" length="20mm" nPosLineDir="top">
  振り分け1<mcl class="furi2"/>振り分け2
</mcl>
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。furi, furi2
2	length	STRNUM	行長
3	nPosLineDir	EnumValue	行方向の揃え。top (頭揃え), center (中揃え), bottom (末揃え)

補足 上記以外のパラメータは文字設定、行設定と同じです。

◆分数コマンド class="bun"、class="bun2"

• MCL コマンドサンプル

```
<BUN aki=10Q jaki=10Q line="実線",0.1mm,"ブラック",100%>1<BUN2 aki=10Q>2</BUN>
```

• XML サンプル

```
<mcl class="bun" spaceFracLine="10Q" overhangFracLine="10Q" nameLine="実線" widthLine="0.1mm"
  nameLineColor="ブラック" shadeLineColor="100%">
  1<mcl class="bun2" spaceFracLine="10Q"/>2
</mcl>
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。bun, bun2
2	spaceFracLine	STRNUM	分数野との間隔
3	overhangFracLine	STRNUM	分数野の張り出し
4	nameLine	string	分数野の野線名。No.4~7 のグループで省略可
5	widthLine	STRNUM	分数野の線幅、または飾り野線のサイズ
6	nameLineColor	string	分数野のカラー
7	shadeLineColor	STRPER	分数野のカラー濃度

補足 上記以外のパラメータは文字設定と同じです。

◆ 罫線コマンド class ="keisen"

• MCL コマンドサンプル

```
<KEISEN line="実線",0.1mm,"ブラック",100% pos=TOPLEFT jlen=10mm glen=10mm>
```

• XML サンプル

```
<mcl class="keisen" lengthCharDir="10mm" lengthLineDir="10mm" nameLine="実線" widthLine="0.1mm"
nameLineColor="ブラック" shadeLineColor="100%" nPosStart="top-left"/>
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。keisen
2	lengthCharDir	STRNUM	字詰方向長さ
3	lengthLineDir	STRNUM	行方向長さ
4	nameLine	string	罫線名。No.4～7 のグループで省略可
5	widthLine	STRNUM	線幅
6	nameLineColor	string	罫線カラー名
7	shadeLineColor	STRPER	罫線カラー濃度
8	nPosStart	EnumValue	罫線の開始位置 top-left (上左), top-center (上中), top-right (上右), center-left (中左), center (中中), center-right (中右), bottom-left (下左), bottom-center (下中), bottom-right (下右)

▶ 相対罫

◆ 相対罫線コマンド class ="rline"

• MCL コマンドサンプル

```
<RLINE vno=1 jst=QL burasage=5Q jpos=10Q gpos=20Q>
```

• XML サンプル

```
<mcl class="rline" lineDirNo="1" nPosition="head" hanging="5Q" posCharDir="10Q" posLineDir="20Q"/>
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。rline
2	charDirNo	int	字詰方向番号。1～100 の整数値
3	lineDirNo	int	行方向番号。1～100 の整数値 charDirNo が「省略」の場合、省略不可
4	nPosition	EnumValue	配置。head (頭揃え), center (中央揃え), end (末揃え)
5	hanging	STRNUM	はみ出し量
6	posCharDir	STRNUM	字詰方向位置調整量
7	posLineDir	STRNUM	行方向位置調整量
7	nameLine	string	罫線名。No.7～10 のグループで省略可
8	widthLine	STRNUM	線幅、または飾り罫線のサイズ
9	nameLineColor	string	罫線カラー名
10	shadeLineColor	STRPER	罫線カラー濃度

補足 字詰方向番号、行方向番号のどちらかを指定してください。

◆ 相対罫巻きコマンド class="rmaki"

• MCL コマンドサンプル

```
<RMAKI hno=1 vno=1 burasage=5Q jpos=10Q gpos=20Q paint=COLOR r=5mm allr=Y join=Y>
```

• XML サンプル

```
<mcl class="rmaki" charDirNo="1" lineDirNo="1" hanging="5Q" posCharDir="10Q" posLineDir="20Q" nPaintType="color"
bSameTopLeftRadius="true" rTopLeftCorner="5mm" bAllRound="true" bJoin="true"/>
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。rmaki
2	charDirNo	int	字詰方向番号。1～100 の整数値
3	lineDirNo	int	行方向番号。1～100 の整数値
4	hanging	STRNUM	はみ出し量
5	posCharDir	STRNUM	字詰方向位置調整量
6	posLineDir	STRNUM	行方向位置調整量
7	nameLine	string	罫線名。No.7～10 のグループで省略可
8	widthLine	STRNUM	線幅
9	nameLineColor	string	罫線カラー名
10	shadeLineColor	STRPER	罫線カラー濃度
11	nPaintType	EnumValue	塗り、パターン種別。color(カラー), pattern(パターン)
12	namePaintColor	string	塗りカラー(パターン)名。No.12～13 のグループで省略可
13	shadePaintColor	STRPER	塗りカラー(パターン)濃度
14	bSameTopLeftRadius	boolean	角丸罫一括指定チェック
15	rTopLeftCorner	STRNUM	角丸半径、左上 No.15～18 すべて省略すると、角丸なし
16	rTopRightCorner	STRNUM	角丸半径、右上
17	rBottomRightCorner	STRNUM	角丸半径、右下
18	rBottomLeftCorner	STRNUM	角丸半径、左下
19	bAllRound	boolean	段端に角丸をつけるチェック No.14～17 のいずれかが「省略なし」の場合、有効
20	bJoin	boolean	段をまたがる罫巻を閉じるチェック

◆ 相対斜線コマンド class="rsya"

• MCL コマンドサンプル

```
<RSYA hno=1 vno=1 jpos=10Q gpos=20Q>
```

• XML サンプル

```
<mcl class="rsya" charDirNo="1" lineDirNo="1" posCharDir="10Q" posLineDir="20Q"/>
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。rsya
2	charDirNo	int	字詰方向番号。1～100 の整数値
3	lineDirNo	int	行方向番号。1～100 の整数値
4	posCharDir	STRNUM	字詰方向位置調整量
5	posLineDir	STRNUM	行方向位置調整量
6	nameLine	string	罫線名。No.6～9 のグループで省略可
7	widthLine	STRNUM	線幅、または飾り罫線のサイズ
8	nameLineColor	string	罫線カラー名
9	shadeLineColor	STRPER	罫線カラー濃度

◆ 相対罫字詰終了コマンド class ="rjend"

- MCL コマンドサンプル

```
<RJEND hno=1 jpos=10Q>
```

- XML サンプル

```
<mcl class="rjend" charDirNo="1" posCharDir="10Q"/>
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。rjend
2	charDirNo	int	字詰方向番号。1～100 の整数値
3	posCharDir	STRNUM	字詰方向位置調整量
4	posLineDir	STRNUM	行方向位置調整量

◆ 相対罫行終了コマンド class ="rgend"

- MCL コマンドサンプル

```
<RGEND vno=1 gpos=20Q>
```

- XML サンプル

```
<mcl class="rgend" lineDirNo="1" posLineDir="20Q"/>
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。rgend
2	lineDirNo	int	行方向番号。1～100 の整数値
3	posCharDir	STRNUM	字詰方向位置調整量
4	posLineDir	STRNUM	行方向位置調整量

◆BOX 罫線コマンド class ="keibox"

• MCL コマンドサンプル

```
<KEIBOX jlen=10mm glen=10mm r=3mm paint=COLOR kcolor="シアン",100% line="実線",0.1mm,"ブラック",100%>
```

• XML サンプル

```
<mcl class="keibox" lengthCharDir="10mm" lengthLineDir="10mm" bSameTopLeftRadius="true" rTopLeftCorner="3mm"
nPaintType="color" namePaintColor="シアン" shadePaintColor="100%" nameLine="実線" widthLine="0.1mm"
nameLineColor="ブラック" shadeLineColor="100%"/>
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。keibox
2	lengthCharDir	STRNUM	字詰方向
3	lengthLineDir	STRNUM	改行方向
4	bSameTopLeftRadius	boolean	角丸の一括指定チェック
5	rTopLeftCorner	STRNUM	角丸半径、左上
6	rTopRightCorner	STRNUM	角丸半径、右上
7	rBottomRightCorner	STRNUM	角丸半径、右下
8	rBottomLeftCorner	STRNUM	角丸半径、左下
9	nPaintType	EnumValue	塗り、パターン種別。color(カラー), pattern(パターン)
10	namePaintColor	string	塗りカラー (パターン) 名。No.10~11 のグループで省略可
11	shadePaintColor	STRPER	塗りカラー (パターン) 濃度
12	nameLine	string	罫線名。No.12~15 のグループで省略可
13	widthLine	STRNUM	線幅、または文字サイズ
14	nameLineColor	string	罫線カラー名
15	shadeLineColor	STRPER	罫線カラー濃度
16	character	string	飾り罫 文字コード。1 文字 No.16~20 のグループで省略可
17	fontName	string	飾り罫の書体
18	charSize	STRNUM	飾り罫の文字サイズ
19	nameColor	string	飾り罫のカラー名
20	shadeColor	STRPER	飾り罫のカラー濃度
21	nCorner	EnumValue	角のパターン overlap(角で文字を重ねる), on(角に配置する)
22	space	STRNUM	文字間アキ量
23	nAdjustType	EnumValue	割り切れない場合の調整処理 adjust(変形させる), insert-space(アキ挿入), over(オーバー)

補足 罫線、飾り罫タイプのどちらかを指定してください。

◆行間罫コマンド class ="gline"

• MCL コマンドサンプル

```
<GLINE jlen=10mm line="破線",0.1mm,"ブラック",100%>
```

• XML サンプル

```
<mcl class="gline" length="10mm" nameLine="破線" widthLine="0.1mm" nameLineColor="ブラック" shadeLineColor="100%"/>
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。gline
2	length	STRNUM	長さ
3	nameLine	string	罫線名。No.3~6 のグループで省略可
4	widthLine	STRNUM	罫線の線幅、または飾り罫線のサイズ
5	nameLineColor	string	罫線カラー名
6	shadeLineColor	STRPER	罫線カラー濃度

◆フィルルーチンコマンド class ="fil"

• MCL コマンドサンプル(罫線)

```
<FIL line="実線",0.1mm,"ブラック",100%>
```

• XML サンプル

```
<mcl class="fil" nameLine="実線" widthLine="0.1mm" nameLineColor="ブラック" shadeLineColor="100%"/>
```

• MCL コマンドサンプル(飾り罫線)

```
<FIL line="新規ライン",10Q,"ブラック",100%>
```

• XML サンプル

```
<mcl class="fil" nameLine="新規ライン" widthLine="10Q" nameLineColor="ブラック" shadeLineColor="100%"/>
```

• MCL コマンドサンプル(文字罫)

```
<FIL type=BUL,"ブラック",100%>
```

• XML サンプル

```
<mcl class="fil" nCharLineType="wave" nameCharLineColor="ブラック" shadeCharLineColor="100%"/>
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。fil
2	nameLine	string	罫線名。No.2～5 のグループで省略可
3	widthLine	STRNUM	罫線の線幅、または飾り罫線のサイズ
4	nameLineColor	string	罫線カラー名
5	shadeLineColor	STRPER	罫線カラー濃度
6	nCharLineType	EnumValue	文字罫の種類。dash(ミシン罫), wave(ブル罫), dot(リーダー罫), half-dot(2分リーダー罫) nameLine が「省略」の場合、省略不可 No.5～7 のグループで省略可
7	nameCharLineColor	string	文字罫カラー名
8	shadeCharLineColor	STRPER	文字罫カラー濃度

補足 罫線、文字罫タイプのどちらかを指定してください。

◆禁則解除コマンド class ="kinkai"

• MCL コマンドサンプル

```
<KINKAI>
```

• XML サンプル

```
<mcl class="kinkai"/>
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。kinkai

◆アクセントコマンド class ="acc"

• MCL コマンドサンプル

```
<ACC up=100 shift=100 wno=1>
```

• XML サンプル

```
<mcl class="acc" upValue="100" shiftValue="100" nWidthType="1"/>
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。acc
2	upValue	int	アップ量。-1000～1000 の整数値
3	shiftValue	int	シフト量。-1000～1000 の整数値
4	nWidthType	EnumValue	アクセントの幅。0～8 までの整数値

◆ 半指定ハイフン class="hyphen"

- MCL コマンドサンプル

```
<->
```

- XML サンプル

```
<mcl class="hyphen"/>
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。hyphen

▶ スペース

- MCL コマンドサンプル

```
<em wid=0Q>
```

- XML サンプル

```
<mcl class="em" width="0Q"/>
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類 em(全角固定スペース), bk(全角バックスペース), dm(全角ダミースペース), sp(欧文スペース), rd(ルビ全角ワードスペース), rb(ルビ全角バックスペース)
2	width	STRNUM	幅指定

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類 en(半角固定スペース), tk(3分固定スペース), mi(4分固定スペース), th(5分固定スペース), sm(6分固定スペース), mr(8分固定スペース), b2(半角バックスペース), b3(3分バックスペース), b4(4分バックスペース), d2(半角ダミースペース), d3(3分ダミースペース), s2(半角ワードスペース), s3(3分ワードスペース), s4(4分ワードスペース), rd2(ルビ半角ワードスペース), rd3(ルビ3分ワードスペース), rd4(ルビ4分ワードスペース), rb2(ルビ半角バックスペース), rb3(ルビ3分バックスペース), rb4(ルビ4分バックスペース),

◆改行コマンド class ="kg"

- MCL コマンドサンプル

<KG jst=QL>

- XML サンプル

<mcl class="kg" nJustification="head"/>

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。kg
2	nJustification	EnumValue	文字の揃え。head (行頭揃え), center (中心揃え), end (行末揃え), justify (均等揃え)

◆改段コマンド class ="kd"

- MCL コマンドサンプル

<KD kt=Y>

- XML サンプル

<mcl class="kd" bKaidan="true"/>

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。kd
2	bKaidan	boolean	段先頭時の改段処理チェック

◆改ページコマンド class ="kp"

- MCL コマンドサンプル

<KP kt=Y>

- XML サンプル

<mcl class="kp" bPageBreak="true"/>

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。kp
2	bPageBreak	boolean	ページ先頭時の改ページ処理チェック

◆移動 class ="move"

• MCL コマンドサンプル

```
<MOVE up=10Q aki=100 bnkn=Y>
```

• XML サンプル

```
<mcl class="move" upValue="10Q" space="100" bBunkin="true"/>
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。move
2	upValue	STRNUM	アップ量
3	space	int	文字間のアキ。0～1000 までの整数値
4	bBunkin	boolean	分離禁止チェック

◆マークコマンド class ="mark"

• MCL コマンドサンプル

```
<MARK no=0 base=HAN mode=PRE>
```

• XML サンプル

```
<mcl class="mark" nMarkNo="0" nBasePoint="hanmen" nMode="front"/>
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。mark
2	nMarkNo	EnumValue	番号。0～9 の整数値
3	nBasePoint	EnumValue	基準。hanmen (版面), paper (用紙)
4	nMode	EnumValue	前/後付モード。front (前付き), back (後付き)

◆リターンコマンド class ="return"

• MCL コマンドサンプル

```
<RETURN no=0 fit=JI>
```

• XML サンプル

```
<mcl class="return" nMarkNo="0" nFitType="char-dir"/>
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。return
2	nMarkNo	EnumValue	番号。0～9 の整数値
3	nFitType	EnumValue	位置。char-dir (字詰方向), line-dir (行方向), both (両方向)

◆詰めコマンド class ="tsume"

• MCL コマンドサンプル

```
<TM val=100>
```

• XML サンプル

```
<mcl class="tsume" tsume="100"/>
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。tsume
2	tsume	int	詰め量。-1000 から 1000 の整数 省略不可

◆自動変形コマンド class="athk"

• MCL コマンドサンプル

```
<ATHK jikan=10 henkei=50 small=Y size=5Q turn=Y>
```

• XML サンプル

```
<mcl class="athk" maxTsumeAutoAdjustText="10" rateMaxAutoScaleText="50" bCharSizeDown="true"
minSizeAutoAdjustText="5Q" bTurnAutoAdjustText="true"/>
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。athk
2	maxTsumeAutoAdjustText	int	最大字間詰め量。0～1000 までの整数値
3	rateMaxAutoScaleText	int	最大変形率。0～100 までの整数値
4	bCharSizeDown	boolean	文字縮小チェック
5	minSizeAutoAdjustText	STRNUM	縮小サイズ。bCharSizeDown が「true」の場合、有効
6	bTurnAutoAdjustText	boolean	折り返しチェック

◆自動変形無視コマンド class="xathk"

• MCL コマンドサンプル

```
<XATHK>あいうえお</XATHK>
```

• XML サンプル

```
<mcl class="xathk">あいうえお</mcl>
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。xathk

◆インラインオブジェクトコマンド class="inl"

• MCL コマンドサンプル

```
<INL type=IMG path="C:¥¥Sample¥¥ 絵柄1.jpg" pw=50% ph=50% rot=10do adv=10Q gex=N>
```

• XML サンプル

```
<mcl class="inl" nType="image" filepath="C:¥¥Sample¥¥ 絵柄1.jpg" rateWidth="50%" rateHeight="50%" angleRotate="10do"
posRowMove="10Q" nAutoLineFeedType="none" id="0"/>
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。inl
2	nType	EnumValue	種類。image (画像ファイル), object (オブジェクト) 省略不可
3	filepath	string	画像ファイル名、またはオブジェクト名 省略不可
4	width	STRNUM	オブジェクトの変形幅
5	height	STRNUM	オブジェクトの変形高さ
6	rateWidth	STRPER	オブジェクトの変形幅倍率
7	rateHeight	STRPER	オブジェクトの変形高さ倍率
8	angleRotate	STRANGLE	回転角度
9	posRowMove	STRNUM	行方向の移動量
10	nAutoLineFeedType	EnumValue	行方向の行幅自動拡張 none (なし), body (本文の行送り), current (現在の行送り)

▶ 行方向ジャスト

◆ 行アキコマンド class ="gyoaki"

- MCL コマンドサンプル

```
<GYOAKI>
```

- XML サンプル

```
<mcl class="gyoaki"/>
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。gyoaki

◆ 複行アキ開始コマンド class ="fgyoaki"

- MCL コマンドサンプル

```
<FGYOAKI gyokan = 10Q>
```

- XML サンプル

```
<mcl class="fgyoaki" lineFeed="10Q"/>
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。fgyoaki
2	lineFeed	STRNUM	行間量

◆ 複行アキ終了コマンド class ="fgyoaki-end"

- MCL コマンドサンプル

```
</FGYOAKI>
```

- XML サンプル

```
<mcl class="fgyoaki-end"/>
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。fgyoaki-end

◆ 行アキ禁止コマンド class ="xgyoaki"

- MCL コマンドサンプル

```
<XGYOAKI>
```

- XML サンプル

```
<mcl class="xgyoaki"/>
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。xgyoaki

◆ 行アキ禁止終了コマンド class ="xgyoaki-end"

- MCL コマンドサンプル

```
</XGYOAKI>
```

- XML サンプル

```
<mcl class="xgyoaki-end"/>
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。xgyoaki-end

▶ 浮動枠

◆ ページ基準浮動枠 class="pfudo"

• MCL コマンドサンプル

```
<PFUDO src="楕円1" jorg=E v=10Q gorg=C adv=10Q around=UPDOWN>
```

• XML サンプル

```
<mcl class="pfudo" src="楕円1" nPosCharDir="end" posCharDir="10Q" nPosLineDir="center" posLineDir="10Q"
nAround="updown" id="0"/>
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。pfudo
2	src	string	オブジェクト登録名 省略不可
3	nPosCharDir	EnumValue	字詰方向位置の基準。head (行頭), end (行末)
4	posCharDir	STRNUM	字詰方向位置の距離
5	nPosLineDir	EnumValue	行方向位置の基準。head (段頭), center (中心), end (段末)
6	posLineDir	STRNUM	行方向位置の距離
7	bOikomi	boolean	枠の追い込みチェック。省略時: true true (最初に出現したページ), false (追い出されたページ)
8	nAround	EnumValue	テキストの回り込み。square (四角), updown (上下), none (なし)

◆ 段基準浮動枠 class="dfudo"

• MCL コマンドサンプル

```
<DFUDO src="楕円1" jorg=E sadj=10Q eadj=10Q around=UPDOWN>
```

• XML サンプル

```
<mcl class="dfudo" src="楕円1" nPosCharDir="end" posStart="10Q" posEnd="10Q" nAround="updown" id="0"/>
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。dfudo
2	src	string	オブジェクト登録名 省略不可
3	nPosCharDir	EnumValue	字詰方向位置。head (行頭), end (行末)
4	posStart	STRNUM	行方向調整の段頭までの距離
5	posEnd	STRNUM	行方向調整の段末までの距離
6	bOikomi	boolean	枠の追い込みチェック。省略時: true true (最初に出現した段), false (追い出されたページの段頭)
7	nAround	EnumValue	テキストの回り込み。square (四角), updown (上下), none (なし)

▶ その他

◆ コメントコマンド class="cm"

- MCL コマンドサンプル

<C コメント>

- XML サンプル

```
<mcl class="cm"><![CDATA[ コメント ]]></mcl>
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。cm

◆ 索引| class="index"

- MCL コマンドサンプル

<C 索引|="大" よみ="よみ" キー="きー" 印刷="印刷" 関係=0 ノンブル=Y 分類="分類 1 " m=Y>あいうえお<C /索引|>

- XML サンプル

```
<mcl class="index" nType="dai" readWord="よみ" keyWord="きー" printWord="印刷" nLevel="0" bNombre="true"
strCategory="分類 1 " bMain="true" id="1">
あいうえお
</mcl>
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。index
2	nType	EnumValue	索引 ID dai(大), zuhyo(図表), jikou(事項), chu(中), jinbutsu(人物), sho(小), a~j(A~J) 省略不可
3	readWord	string	よみ
4	keyWord	string	キー
5	printWord	string	印刷
6	nLevel	EnumValue	関係。0~9 の整数値
7	bNombre	boolean	ノンブルを出力しないチェック
8	strCategory	string	分類
9	bMain	boolean	メインチェック
10	id	int	通し番号。エクスポートのみ

2-4-7 数式コマンド

class 属性は省略不可です。その他の属性を省略した場合は、XML インポートした結果も省略したままです。
特に記述がない場合、MC-Smart の組版仕様により、属性の省略時は設定なしになります。

▶ 数式 mcl="math"

ユーザズガイド「9-4-1 数式」を参照してください。

• コマンドサンプル

```
<MATH mprm="標準数式" mitl=1bai>abc</MATH>
```

• XML サンプル

```
<mcl class="math" nameMathParam="標準数式" nameMathItalicParam="body-text">
```

```
<mcl class="math-char" type="mli">abc</mcl>
```

```
<mcl class="glyph-form" type="end"/>
```

```
</mcl>
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。math (標準数式), type1-math (type1 互換数式)
2	nameMathParam	string	数式パラメータ設定名、または body-text (本文属性)
3	nameMathItalicParam	string	数式イタリック設定名、または body-text (本文属性)

▶ 分数 class="mbn"

ユーザズガイド「9-4-2 分数」を参照してください。

• コマンドサンプル

```
<MATH><MBN l_w=0.1mm sl_w=0.1mm aki=1mm up=1mm l_ex=5mm sl_ex=5mm l_min=10mm n_up=1mm d_up=1mm>a<MBNS>b<MBNM>c</MBN></MATH>
```

• XML サンプル

```
<mcl class="math">
```

```
<mcl class="mbn" widthLine="0.1mm" widthSubLine="0.1mm" space="1mm" upValue="1mm" overhang="5mm" overhangSub="5mm" minLength="10mm" spaceFracLineNumr="1mm" spaceFracLineDnom="1mm">
```

```
a<mcl class="mbns"/>b<mcl class="mbnm"/>c
```

```
</mcl>
```

```
</mcl>
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。mbn
2	widthLine	STRNUM	分数罫の太さ (メイン)
3	widthSubLine	STRNUM	分数罫の太さ (サブ)
4	space	STRNUM	分数式前後のアキ
5	upValue	STRNUM	分数式の縦移動量
6	overhang	STRNUM	分数罫の張り出し (メイン)
7	overhangSub	STRNUM	分数罫の張り出し (サブ)
8	minLength	STRNUM	分数罫の最短長さ
9	spaceFracLineNumr	STRNUM	分数罫と分子の間隔
10	spaceFracLineDnom	STRNUM	分数罫と分母の間隔

◆分数メイン区切り class="mbnm"

◆分数サブ区切り class="mbns"

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。mbnm, mbns

▶ ルート class="mrt"

ユーザズガイド「9-4-3 ルート」を参照してください。

• コマンドサンプル

```
<MATH><MRT L_w=0.1mm aki=1mm up=25%>a<MRTP size=50% aki=0.5mm up=75%>2</MRT></MATH>
```

• XML サンプル

```
<mcl class="math">
  <mcl class="mrt" widthLine="0.1mm" space="1mm" upValue="25%">
    a<mcl class="mrtp" size="50%" space="0.5mm" upValue="75%"/>2
  </mcl>
</mcl>
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。mrt
2	widthLine	STRNUM	根号罫の太さ
3	space	STRNUM	根号式前後のアキ
4	upValue	STRNUM	根号式の縦移動量
5	spaceLineUp	STRNUM	罫と根号文字上部の間隔
6	spaceLine	STRNUM	罫開始点と根号文字のアキ
7	overhang	STRNUM	罫終了点と根号文字のアキ
8	minLength	STRNUM	根号罫の最短長さ

◆ルート乗根 class="mrtp"

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。mrtp
2	size	STRNUM	乗根のサイズ
3	space	STRNUM	乗根の後アキ
4	upValue	STRNUM	乗根の縦位置

▶ 上／下付き class="mx"

ユーザズガイド「9-4-4 上／下付き」を参照してください。

• コマンドサンプル

```
<MATH><MX L_w=0.1mm L_up=50%>a<MA size=50% aki=1mm up=1mm>2</MX></MATH>
```

• XML サンプル

```
<mcl class="math">
  <mcl class="mx" widthLine="0.1mm" spaceLineUp="50%">
    a<mcl class="ma" size="50%" space="1mm" upValue="1mm"/>2
  </mcl>
</mcl>
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。mx
2	widthLine	STRNUM	線の太さ
3	spaceLineUp	STRNUM	上線/下線と文字の間隔
4	overhang	STRNUM	上線/下線の張り出し
5	minLength	STRNUM	上線/下線の最短長さ
6	spaceArcUp	STRNUM	弧と文字の間隔

◆ 上前付き class="ma"

◆ 上後付き class="mc"

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。ma, mc
2	size	STRNUM	上付文字サイズ
3	space	STRNUM	上付文字の前アキ
4	upValue	STRNUM	上付文字の縦移動量

◆ 下前付き class="md"

◆ 下後付き class="mf"

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。md, mf
2	size	STRNUM	下付文字サイズ
3	space	STRNUM	下付文字の前アキ
4	upValue	STRNUM	下付文字の縦移動量

◆ 上中付き class="mb"

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。mb
2	size	STRNUM	上付文字サイズ
3	shiftValue	STRNUM	上中付文字の横移動量
4	space	STRNUM	上中付文字と文字の間隔
5	upValue	STRNUM	上中付文字の行間

◆下中付き class="me"

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。me
2	size	STRNUM	下付文字サイズ
3	shiftValue	STRNUM	下中付文字の横移動量
4	space	STRNUM	下中付文字と文字の間隔
5	upValue	STRNUM	下中付文字の行間

◆ベクトル

• コマンドサンプル

 $\langle \text{MATH} \rangle \langle \text{MX} \rangle \text{ab} \langle \text{MB} \rangle \langle \text{MV1} \rangle \langle \text{MX} \rangle \langle \text{MATH} \rangle$

• XML サンプル

```

<mcl class="math">
  <mcl class="mx">
    ab
    <mcl class="mb"/>
    <mcl class="mv1"/>
  </mcl>
</mcl>

```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類 mv1(右ベクトル), mv2(左ベクトル), mv3(右 2 重ベクトル), mv4(左 2 重ベクトル), mv5(バー), mv6(2 重バー)

▶ 約物指定 class="msp"

ユーザズガイド「9-4-5 約物」を参照してください。

• コマンドサンプル

```
<MATH><MSP bai=1.5 up=1mm auto=Y>(abc)</MATH>
```

• XML サンプル

```
<mcl class="math">
  <mcl class="msp" ratio="1.5" upValue="1mm" bAuto="true"/>(abc)
</mcl>
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。msp
2	ratio	STRNUM	拡大縮小率
3	upValue	STRNUM	縦移動量
4	bAuto	boolean	約物を自動拡大するチェック

◆ 数式約物拡大 class="mspa"

• コマンドサンプル

```
<MATH><MSPA ex=10%><MSP auto=Y>(abc)<MSP auto=Y></MSPA></MATH>
```

• XML サンプル

```
<mcl class="math">
  <mcl class="mspa" overhang="10%">
    <mcl class="msp" bAuto="true"/>(abc<mcl class="msp" bAuto="true"/>)
  </mcl>
</mcl>
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。mspa
2	overhang	STRPER	上下の張り出し量

▶ 行列 class="mtx"

ユーザースタイルガイド「9-4-6 行列」を参照してください。

• コマンドサンプル

```
<MATH><MTX jst=QC posi=TOP posno=1 L_aki=5mm L_up=5mm rjst=QL jjst=QL>a<MTXJ>c<MTXG>b<MTXJ>d</MTX>
</MATH>
```

• XML サンプル

```
<mcl class="math">
  <mcl class="mtx" nJustification="center" nVertJustification="head" nPosNo="1" spaceLine="5mm" spaceLineUp="5mm"
    nJustificationRow="head" nJustificationJust="head">
    a<mcl class="mtxj"/>c<mcl class="mtxg"/>b<mcl class="mtxj"/>d
  </mcl>
</mcl>
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。mtx
2	nJustification	EnumValue	行列の列方向揃え head (行頭揃え), center (中心揃え), end (行末揃え)
3	nVertJustification	EnumValue	行列の行方向揃え head (頭揃え), center (中揃え), end (末揃え)
4	nPosNo	int	行列の揃え位置。1 以上の整数値
5	spaceLine	STRNUM	行列の列間隔
6	spaceLineUp	STRNUM	行列の行間隔
7	nJustificationRow	EnumValue	共通の列方向揃え head (行頭揃え), center (中心揃え), end (行末揃え)
8	nJustificationJust	EnumValue	成分の列方向揃え head (行頭揃え), center (中心揃え), end (行末揃え)

◆ 行区切り class="mtxg"

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。mtxg
2	nJustificationJust	EnumValue	成分の列方向揃え head (行頭揃え), center (中心揃え), end (行末揃え)

◆ 列区切り class="mtxj"

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。mtxj
2	nJustificationRow	EnumValue	共通の列方向揃え head (行頭揃え), center (中心揃え), end (行末揃え)
3	nJustificationJust	EnumValue	成分の列方向揃え head (行頭揃え), center (中心揃え), end (行末揃え)

◆行列行区切り罫 class="mtxgline"

• コマンドサンプル

```
<MATH><MTX><MTXGLINE len=2 gpos=1mm spos=1mm epos=1mm>a<MTXJ>c<MTXG>b<MTXJ>d</MTX></MATH>
```

• XML サンプル

```
<mcl class="math">
  <mcl class="mtx">
    <mcl class="mtxgline" length="2" nameLine="実線" widthLine="0.1mm" nameLineColor="ブラック" shadeLineColor="100%"
      posLineDir="1mm" posStart="1mm" posEnd="1mm"/>
    a<mcl class="mtxj"/>c<mcl class="mtxg"/>b<mcl class="mtxj"/>d
  </mcl>
</mcl>
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。mtxgline
2	length	int	行区切り罫の列数。1 以上の整数
3	nameLine	string	線種名。No.3～6 のグループで省略可
4	widthLine	STRNUM	線幅
5	nameLineColor	string	線カラー名
6	shadeLineColor	STRPER	線カラー濃度
7	posLineDir	STRNUM	行方向の配置位置調整
8	posStart	STRNUM	字詰方向開始点位置調整
9	posEnd	STRNUM	字詰方向終了点位置調整

◆行列列区切り罫 class="mtxcline"

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。mtxcline
2	length	int	列区切り罫の行数。1 以上の整数
3	nameLine	string	線種名。No.3～6 のグループで省略可
4	widthLine	STRNUM	線幅
5	nameLineColor	string	線カラー名
6	shadeLineColor	STRPER	線カラー濃度
7	posCharDir	STRNUM	字詰方向の配置位置調整
8	posStart	STRNUM	行方向開始点位置調整
9	posEnd	STRNUM	行方向終了点位置調整

▶ 打ち消し線 class="mnot"

ユーザースタイルガイド「9-4-7 打ち消し線」を参照してください。

• コマンドサンプル

```
<MNOT type=SL jaki=1mm gaki=1mm line="実線",0.1mm,"ブラック",100%>abc</MNOT></MATH>
```

• XML サンプル

```
<mcl class="math">
  <mcl class="mnot" nType="slash" spaceCharDir="1mm" spaceLineDir="1mm" nameLine="実線" widthLine="0.1mm"
    nameLineColor="ブラック" shadeLineColor="100%">abc</mcl>
</mcl>
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。mnot
2	nType	EnumValue	打ち消し線の種類 slash(スラッシュ), back-slash(バックスラッシュ), cross(クロス), horizontal(水平線), vertical(垂直)
3	spaceCharDir	STRNUM	字詰方向アキ量
4	spaceLineDir	STRNUM	行方向アキ量
5	nameLine	string	線種名。No.5～8 のグループで省略可
6	widthLine	STRNUM	線幅
7	nameLineColor	string	線カラー名
8	shadeLineColor	STRPER	線カラー濃度

▶ 長い矢印 class="marrow"

ユーザースタイルガイド「9-4-8 長い矢印」を参照してください。

• コマンドサンプル

```
<MATH>a<MARROW type=R bai=100%>b</MATH>
```

• XML サンプル

```
<mcl class="math">
  a<mcl class="marrow" nType="right" ratio="100%"/>b
</mcl>
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。marrow
2	nType	EnumValue	数式矢印の種類 right(右向き矢印), left(左向き矢印), left-right(左右の矢印), right-double(右向きの2重矢印), left-double(左向きの2重矢印), left-right-double(左右の2重矢印), right-bar(縦棒付き右向き矢印), left-bar(縦棒付き左向き矢印), right-bar-double(縦棒付き右向き2重矢印), left-bar-double(縦棒付き左向き2重矢印), pair-right-left(右向きと左向きの矢印), pair-right-left-half(右向きと左向きの半矢印), pair-left-right-half(左向きと右向きの半矢印)
3	ratio	STRPER	数式矢印の長さ

▶ 数式揃えマーク class="mmark"

ユーザズガイド「9-4-9 数式揃え」を参照してください。

• コマンドサンプル

```
<MATH><MMARK no=1 base=HAN>abc</MATH>
```

• XML サンプル

```
<mcl class="math">
  <mcl class="mmark" nMarkNo="1" nBasePoint="hanmen"/>abc
</mcl>
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。mmark
2	nMarkNo	int	番号。0～9 の整数値
3	nBasePoint	EnumValue	基準。hanmen (版面), paper (用紙)

◆ 数式揃え class="mreturn"

• コマンドサンプル

```
<MATH><MRETURN no=1>xyz</MATH>
```

• XML サンプル

```
<mcl class="math">
  <mcl class="mreturn" nMarkNo="1"/>xyz
</mcl>
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	MCL コマンドの種類。mreturn
2	nMarkNo	int	番号。0～9 の整数値

2-4-8 その他のコマンド

◆レイアウトインライン class ="!inl"

ユーザーズガイド「3-2-9 レイアウトインライン」を参照してください。

• コマンドサンプル

```
<!INL type=FNAME figname="Shape1">
```

• XML サンプル

```
<mcl class="!inl" nType="fname" nameObject="Shape1" id="0" />
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	コマンドの種類。!inl
2	nType	EnumValue	種類。fname(レイアウトインライン) 省略不可
3	nameObject	string	オブジェクト名称 省略不可

◆浮動表 class ="flowtable"

ユーザーズガイド「5-1-2 浮動表の作成」の浮動表の構成についてを参照してください。

• コマンドサンプル

```
<!TBLROW figname="Shape1" idx=1>
```

```
<!TBLROW figname="Shape1" idx=2>
```

• XML サンプル

```
<mclParag class="標準" type="normal" level="0" ref-flg="true">
```

```
<mcl class="flowtable" nameObject="Shape1" id="1"/>
```

```
</mclParag>
```

```
<mclParag class="標準" type="normal" level="0" ref-flg="true">
```

```
<mcl class="flowtable" nameObject="Shape1" id="2"/>
```

```
</mclParag>
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	コマンドの種類。flowtable
2	nameObject	string	浮動表のオブジェクト名称 Shape###(### は 10 進数の数字) 省略不可
3	id	int	浮動表の行番号。1 以上の整数 省略不可

◆ブックマーク class ="bm"

• XML サンプル

```
<mcl class="bm"/>
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	コマンドの種類。bm

◆ ノンブル class ="!nom"

ユーザーズガイド「3-6-5 ノンブル・ページ番号」を参照してください。

• コマンドサンプル

```
<!NOM no=1 type=2 wid=2,QL>
```

• XML サンプル

```
<mcl class="!nom" nNombreNo="1" nCharKind="half" numDigits="2" nPosType="fore"/>
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	コマンドの種類。!nom
2	nNombreNo	EnumValue	ノンブル番号。1～20 の整数値
3	nCharKind	EnumValue	文字種類 roman(ローマン), italic(イタリック), half(半角), full(全角), kanji(漢数字), greek-small(ローマ数字小文字), greek-large(ローマ数字大文字)
4	numDigits	int	幅を確保する桁数。1～5 の整数値 nCharKind が [half, full, kanji] の場合、有効 No.4～5 のグループで省略可
5	nPosType	EnumValue	桁揃え。fore(前), center(中), back(後), zero(ゼロ付加)

◆ 柱 class ="!has"

ユーザーズガイド「3-6-6 柱」を参照してください。

• コマンドサンプル

```
<!HAS no=1>
```

• XML サンプル

```
<mcl class="!has" nHashiraNo="1"/>
```

No.	属性名	属性値	説明
1	class	EnumValue	コマンドの種類。!has
2	nHashiraNo	EnumValue	柱番号。1～20 の整数値 MC-B ² 互換の固定柱は 1000 を設定する

2-4-9 MCL コマンド仮終了

MC-Smart 文書で MCL コマンドの指定が「てれこ」になっている場合、MCL コマンド仮終了タグを使用します。
XML エクスポートでは、以下のように XML の入れ子構造を生成します。

- ① 親のペアコマンドの終了タグ位置に、空要素の MCL コマンド仮終了タグを配置します。
- ② 親のペアコマンドの XML 要素の終了タグを、子のペアコマンドの XML 要素の終了タグの直後に配置します。

【例】 てれこのコマンド指定

```
<MCL 親開始> ~ <MCL 子開始> ~ </MCL 親終了> ~ </MCL 子終了> ~
```

↓ XML エクスポート

```
<XML 親開始> ~ <XML 子開始> ~ <XML 仮終了 /> ~ </XML 子終了></XML 親終了> ~
```

• コマンドサンプル

```
<J color="マゼンタ",50%>あいう<UL2 line="実線",0.1mm,"ブラック",100%>えお</J>かき</UL2>
```

親のペアコマンド<J></J>

子のペアコマンド<UL2></UL2>

• XML サンプル

```
<mcl class="j" nameColor="マゼンタ" shadeColor="50%">
```

あいう

```
<mcl class="ul2" nameLine="実線" widthLine="0.1mm" nameLineColor="マゼンタ" shadeLineColor="100%">
```

えお

```
<mclend class="j" />
```

かき

```
</mcl>
```

```
</mcl>
```

◆要素 <mclend>

No.	属性名	属性値	省略	説明
1	class	EnumValue	不可	親となる MCL コマンドの種類

補足 class 属性の値は、親のペアコマンドの要素の class 属性と同じ値を指定します。値が異なる場合、XML インポートで MCL コマンドが正しく出力されません。



より多くの人へ適切に情報を伝えられるよう配慮したユニバーサルデザインフォントを採用しています。空間に余裕のある文字で視認性・可読性に優れており、誤読を防ぐシンプルな形状で読みやすさと高いデザイン性を備えています。見えにくい条件下での検証を繰り返すことで、視力や環境に左右されることなく幅広い年齢の方にとって認識しやすいよう設計されています。

MC-Smart XML仕様書 Version1.30

発行日：2015年5月 第4版

発行：株式会社 モリサワ

本社：〒556-0012 大阪市浪速区敷津東 2-6-25

TEL. 06-6649-2151 (代表)

東京本社：〒162-0822 東京都新宿区下宮比町 2-27

TEL. 03-3267-1231 (代表)